

# 地域と学校が連携・協働した 実践事例集



石川県教育委員会

# はじめに

近年、都市化・過疎化の進行、急激な少子高齢化・グローバル化の進展など、社会環境が大きく変化する中で、価値観やライフスタイルの多様化を背景に、地域におけるつながりの希薄化による地域や家庭の教育力の低下、家庭の孤立化など、様々な課題が指摘されています。

また、いじめ・不登校や特別な支援が必要な子供たちの増加など、学校の抱える課題がより一層複雑化・困難化するとともに、教職員の業務が増加し、長時間労働が深刻な状況になっています。

このような実態を踏まえると、これまで以上に学校・家庭・地域がそれぞれの立場から子供の教育に責任を持ち、相互に連携・協力しながら、社会全体で子供の成長をしっかりと支えていくことが大切であります。このため、本県では「石川の教育振興基本計画」において、「学校・家庭・地域が一体となって取り組む体制づくり」を施策の方針の一つとして掲げ、その実現に向けて取り組みの充実を図っているところです。

こうした中、県の社会教育委員の会議において、平成28年度から2年間にわたり、「地域と学校の連携・協働の在り方」について、協議を進めてまいりました。

会議では、地域と学校の連携・協働をさらに進めるためには、社会教育関係団体等の地域の団体や住民のネットワークをより一層深めることが大切であり、そのためには、県内各地で行われている特色ある取組を事例集としてまとめ、地域の団体と学校及び行政が情報を共有する必要があるとされ、このたび、本実践事例集を作成いたしました。

地域と学校の連携・協働の充実は、地域や家庭の教育力の向上とともに、教職員が子供と向き合う時間の確保にもつながります。それぞれの地域や学校の実情に応じた形態で活動を実践されるにあたり、本実践事例集を参考に、その充実を図っていただければ幸いです。

最後に、本実践事例集の発刊にあたり、ご指導いただいた県社会教育委員の皆様をはじめ、貴重な事例の提供を賜りました市町教育委員会、学校及び社会教育関係団体の皆様に心から感謝申し上げます。

平成30年3月

石川県教育委員会  
教育長 田中 新太郎

No.	活動名（概要）	実施主体（◎）連携団体（○）					ページ
		市 町	学 校	公 民 館	P T A	地 域 の 団 体	
001	「愛のひと声こだま運動」 防災無線で挨拶と家庭での会話を地域全体に呼びかけるとともに、小中学校玄関前であいさつ運動を実施	◎	○			○	12
002	「感性のびのびジオ・サタデー」 白山手取川ジオパークを通じた体験学習	◎				○	13
003	「保育園開放『なかよしの日』での子育て支援・相談活動」 保育園開放の「なかよしの日」に家庭教育サポーターが出向き、親子とふれ合いながら子育て相談を実施	◎				○	14
004	「宝たちビジネスアカデミー事業」 模擬株式会社を設立し、商品開発、販売、決算等の一連の流れを体験する機会を提供	◎	○				15
005	「志賀っ子学習教室」 放課後に、宿題などの学習支援や折り紙などの昔の遊びを行う場を提供	◎	○			○	16
006	「能登高校魅力化プロジェクト」 小中高を対象に学力の向上とともに、地域住民が伝統文化・産業等を教え、ともに地域の課題解決を考える	◎	○			○	17
007	「きびだんご作り」 地域の伝統食「きび」について、栽培に取り組む地域の方から学び、調理実習を実施	○	◎			○	18
008	「農林21号を育てよう」 幻の米「水稻農林21号」を復活させるため、地域の研究者と協力し、米作りを実施		◎			○	19
009	「松々レンジャーズ」 環境保全のため、地域の方々と協力し、松林の清掃・保全活動や松葉の堆肥を使った野菜栽培等を実施		◎		○	○	20
010	「地震・土砂災害時の防災訓練 ～保育園児といっしょに」 地域・中学校・保育園が連携し、避難訓練を実施		◎	○		○	21
011	「春の山菜採り遠足」 保護者や地域の方とともに山菜を収穫、調理、食べることで、地域の食文化を学び、継承		◎		○	○	22
012	「地域人材活用」 保護者や地域の方が授業等に外部講師として参加し、子供たちを指導		◎			○	23
013	「三馬小学校学校支援地域本部事業（三馬むかし探検）」 校区の史跡をめぐり、歴史について聞き取ったことを地域に発信		◎	○	○	○	24
014	「アサギマダラプロジェクト」 アサギマダラの生態等を教えてもらい、地域に呼び込むため、好物の植物の植栽などの環境整備を実施		◎			○	25
015	「学びの回廊」 職員室前廊下の自習スペースで、ボランティア（元教員等）が生徒からの質問に答えるなど自習をサポート		◎			○	26
016	「花鉢プレゼント」 民生委員と連携し、独り暮らしのお年寄りに花鉢をプレゼントし、交流		◎			○	27
017	「『中能登音頭』を親子でおどり、地域の文化を伝えていこう」 地域の文化を理解・伝承するため、5・6年生を対象に地域の方々が見守りを指導し、運動会で親子で披露		◎		○	○	28
018	「久田和紙づくり」 保存会の方から地域に伝わる和紙づくりを学び、体験。伝統文化の理解・継承を図る		◎	○		○	29
019	「三木っ子いきいき塾」 公民館において、土曜日に地域の方を講師として、やきもの・切り絵などの体験教室を実施		○	◎	○	○	30
020	「東日本大震災で設置された避難所の再現訓練」 小中学校、公民館など地域ぐるみの防災訓練		○	◎	○	○	31

※地域の団体…子ども会、婦人会、青年団、町内会、老人クラブなど

No.	活動名（概要）	実施主体（◎）連携団体（○）					ページ
		市町	学校	公民館	PTA	地域の団体	
021	「絆!新豎納涼盆踊り 2017」 地域の方・子供が協力した灯のオブジェで会場をつくり、盆踊り・小中学生の発表等により地域全体で交流		○	◎	○	○	32
022	「新神田校下 避難訓練&クリーンキャンペーン」 各種団体や学校が連携して、地域全体での避難訓練を行い、その後、地域の清掃活動を実施		○	◎		○	33
023	「金石町公民館文化祭・フェスタかないわ」 公民館とPTAの行事を同時に開催することで地域全体で交流			◎	◎	○	34
024	「能登島子ども会議」 小学5・6年生が小学生の視点から地域課題について話し合い、発表		○	◎		○	35
025	「公民館体験合宿」 公民館で寝食をともにしながら通学し、放課後には和紙づくり・星空観察などを体験		○	◎	○	○	36
026	「生徒会&PTA ビブリオバトル!」 在校生、保護者、教職員、卒業生などが参加する知的書評合戦		○		◎		37
027	「松南食育フェア」 地域の特産品を学び、レシピを考案・発信するなど、学校と連携した地域の食文化の継承を展開		○		◎	○	38
028	「元気な『あがたっ子』を育てる運動」 実態調査をもとに、夏休み早寝チャレンジ・朝ごはんレシピ紹介等を行い、親子で生活習慣づくりを実施		○		◎		39
029	「緑の芝生で楽しもう!」 PTA・各種団体や学校等が連携し、芝生の苗植え・水やり・芝刈りを行い、地域のつながりを構築	○	○		◎	○	40
030	「親子地域ボランティア」 親子で独居老人宅の除雪や公民館の環境整備等を実施		○	○	◎	○	41
031	「第33回なかよし学校」 自然の家で宿泊しながら学校に通うことで、異学年との共同生活を体験		○		◎		42
032	「すずかけ塾」 宿題に取り組む子供たちを地域のボランティアが見守り・指導		○			◎	43
033	「読書を通し、地域ぐるみで子供たちを育てよう」 毎月「小松市民読書の日」を中心に、小学校で図書ボランティアが朝の読み聞かせを実施		○	○	○	◎	44
034	「はくれない森の放課後」 学校近くの雑木林を子供たちの居場所にした、昆虫採集や木の実集めなどの自然教室		○			◎	45
035	「たくましい白山っ子まつり」 幼小中高の子供たちの発表、子供が中心となって行うお茶などの体験コーナー、屋台などを併せたお祭り		○			◎	46
036	「四十万小学校 5年生笹寿司教室」 親子の料理教室により、郷土料理の笹寿司を伝承		○			◎	47
037	「通学路の安全マップ作り」 親子・見守り隊などが協力して通学路の安全マップを作成。親子で通学路を歩き、一緒に危険箇所を確認		○		○	◎	48
038	「通学合宿in永光寺」 お寺で共同生活をしながら、学校に通学し、自立心や社会性を育成	○	○		○	◎	49
039	「さつまいも苗植え」 地域のお年寄りとともに、さつまいもの苗植えを行い、交流		○		○	◎	50
040	「世代交流事業（大浜大豆で豆腐づくり、昔遊び）」 地域の方々と小学生が昔遊びや豆腐作りを行い、交流		○	○		◎	51

※地域の団体…子ども会、婦人会、青年団、町内会、老人クラブなど

No.	活動名（概要）	実施主体（◎）連携団体（○）					ページ
		市町	学校	公民館	PTA	地域の団体	
041	「青少年健全育成大会」 学校・家庭・地域の連携を推進し、地域全体で子供を育む機運を醸成	◎	○		○	○	52
042	「放課後子ども教室」 放課後において、地域ボランティアが子供たちにクッキングや昔遊び・工作などの体験の場を提供	◎	○			○	52
043	「金沢子ども週間『絆』フェア」 工作体験や笹寿しづくり体験など、親子で体験できる様々な活動を提供	◎				○	53
044	「青少年の国際交流」 青少年を海外に派遣し、国際感覚を磨き、国際化に対応した人材を育成	◎	○				53
045	「わらべうたの会」 親子を対象にパネルシアター、歌、手遊び、読み聞かせ等を行い、本に親しむ機会を提供	◎				○	54
046	「わいわい元気あそびフェスティバル」 ニュースポーツやスタンプラリーなど親子で楽しめる体験の場を提供	◎	○			○	54
047	「図書館ボランティア活動」 図書館などの施設で、読み聞かせ・工作などを行い、体験の機会を提供。子供との交流を図る	◎				○	55
048	「山中漆器で卒業証書入れを作ろう」 地元の技術者に習い、伝統産業を学習・体験し、卒業作品を制作		◎		○	○	55
049	「お魚調理教室」 地元の方を講師に迎え、獲れた魚を手開き・調理し、地元産業を学習		◎			○	56
050	「保育実習」 保育園児とのふれ合いを通して、幼児との関わり方などを学習		◎			○	56
051	「職場体験活動」 進路を考えるきっかけとするため、中学生を対象とした職場体験を実施		◎		○	○	57
052	「環境教室」 生ゴミからたい肥を作るなど有効活用の方策を学び、各家庭でのエコ活動を展開		◎		○	○	57
053	「目指せ あいさつ5万人（運動）」 PTAの全面協力のもと、家庭・地域が一体となって学校周辺であいさつ運動を展開		◎		○	○	58
054	「体験学習講座」 地域の方々が講師となり、押し花・三味線・獅子舞などの文化活動を実施		◎			○	58
055	「学校支援ボランティア活動」 学校の要望に応じ、地域の方々が読み聞かせや登下校時の見守りを実施		◎		○	○	59
056	「大豆づくり・稲作指導」 地域の方に大豆づくりや米作りを指導してもらい、植え・育て・収穫することで、地域の産業を体感		◎			○	59
057	「道徳『みまもり隊』での講話」 道徳の時間に、交通ボランティアのお話を聞き、安全に登校できることへの感謝の気持ちを伝える		◎			○	60
058	「農作業体験」 地域の農家の方に米作りを教えてもらい、体験することで、農業について学習		◎			○	60
059	「ビニル水田作り」 砂丘におけるビニル水田での米作りを、地域の方から学び、地元独自の稲作を体験		◎			○	61
060	「朝読書時の読み聞かせ」 朝読書の時間に、図書ボランティア等が本の読み聞かせを実施		◎			○	61

※地域の団体…子ども会、婦人会、青年団、町内会、老人クラブなど

No.	活動名（概要）	実施主体（◎）連携団体（○）					ページ
		市町	学校	公民館	PTA	地域の団体	
061	「児童劇団 三郎左衛門一座」 劇の指導・衣装づくりなど地域の方の協力による、郷土の偉人を題材にした劇の練習・上演		◎	○		○	62
062	「地域の宝 学校林伐採見学ツアー」 代々引き継がれてきた学校林の整備を親子・地域の方とともに体験し、交流		◎		○	○	62
063	「木津桃の里プロジェクト」 地元特産の木津桃栽培を地元農家に教わり、郷土の文化・産業について学習・体験		◎			○	63
064	「特産ぶどうを地域の人と一緒に育てよう」 地元特産のぶどう栽培を地元農家に教わり、郷土の文化・産業について学習・体験		◎			○	63
065	「履き物そろえ」 学校から履き物をきちんとそろえる取組が始まり、地域の公民館等にもポスター等を掲示し拡大		◎	○		○	64
066	「金津の森FABプロジェクト」 学校林を題材に木材加工の最新技術に触れたり、ものづくりの楽しさを体験		◎			○	64
067	「地域の歴史文化・ふるさと学習」 小中学校で地域の歴史に詳しい方々を招き、末森合戦などのふるさと学習を実施		◎			○	65
068	「版画教室」 学校の図工の時間に、技能豊かな地域の方が、地域が推進する版画を指導		◎			○	65
069	「育てて食べる活動」 野菜を育て、食べる活動を通じ、地域の方々と交流するとともに、自然を愛する心などを育成		◎			○	66
070	「ひとり暮らし ふれあいの集い」 お年寄りを学校に招待し、歌の披露、プレゼント渡しを行い、昔遊びを教えてもらうなど楽しく交流		◎			○	66
071	「わく・ワーク職場体験学習」 進路を考えるきっかけとするため、中学生を対象とした職場体験を実施		◎		○	○	67
072	「防犯パトロール」 登下校時に地域・学校・PTA・警察等が連携し、子供の安全の見守りを実施		◎		○	○	67
073	「穴水小学校・地域合同防災訓練」 小学校と地域住民が合同に地震の第1次・第2次避難まで実施	○	◎			○	68
074	「働く職業人からの講話」 将来の仕事やふるさとについて考える機会とするため、地域で働く職業人の講話を実施	○	◎			○	68
075	「地域の史跡めぐり」 ふるさと案内人に案内していただきながら、地域の史跡をめぐり、ふるさとを再発見	○	◎			○	69
076	「のとてまり栽培」 ふるさとの特産品「のとてまり」の栽培について地域の方に栽培方法を学び、栽培体験・調理実習を実施	○	◎			○	69
077	「能登ワイン収穫体験」 ぶどうの収穫体験・オリジナルワインボトルづくりなどを通じて、町の産業を学び、ふるさとのよさを体験	○	◎			○	70
078	「親子でボラ茶漬け」 古くから伝わるボラ漁について学習し、親子で調理したボラ茶漬けを試食	○	◎			○	70
079	「農業体験」 地域の方に米作りを学び、田植えから稲刈りまでを体験	○	◎			○	71
080	「ランプシェード作り」 地域の方に指導を受けながら、ランプシェードを製作し、地域のイベント「曾良の盆灯」に展示	○	◎			○	71

※地域の団体…子ども会、婦人会、青年団、町内会、老人クラブなど

No.	活動名（概要）	実施主体（◎）連携団体（○）					ページ
		市 町	学 校	公 民 館	P T A	地 域 の 団 体	
081	「トマト栽培・収穫、調理」 地元の生産者にトマト栽培を学び、収穫したトマトを使った調理実習を実施	○	◎			○	72
082	「かきの養殖見学」 地元の特産品の「かき」について学習し、かき剥きを体験	○	◎			○	72
083	「鹿波獅子太鼓体験」 保存会のメンバーから郷土芸能である「鹿波獅子太鼓」を指導してもらい、発表会で披露	○	◎			○	73
084	「かぶら寿しづくり」 地元の生産者に、かぶらの切り方や漬け方を指導してもらい、かぶら寿し作りを体験・試食	○	◎			○	73
085	「中居鋳物づくり・中居たたら唄」 地元保存会に、鋳物づくりで唄われた「たたら唄」を習い、文化祭で披露。鋳物で校章作りも体験	○	◎			○	74
086	「新1年生の下校指導」 新1年生が集団下校する際、付き添いながら交通安全指導・見守りを実施		◎			○	74
087	「小学校・地区レクリエーション大会」 小学校の運動会と地区のレクリエーション大会を合同開催し、子供からお年寄りまで幅広く交流		◎	○		○	75
088	「ぎりこ太鼓教室」 地域の祭り太鼓の指導者に教えてもらい、地域文化の伝承と郷土愛を育成		◎			○	75
089	「地震・津波 避難訓練」 学校・保育所・地域の方々が連携し、津波に対する合同避難訓練を実施		◎	○		○	76
090	「わく・ワーク職場体験」 進路を考えるきっかけとするため、中学生を対象とした職場体験を実施		◎		○	○	76
091	「青年団とそばづくり」 青年団や地域の方とそばづくり・そば打ち体験を行い、地域の産業とそれに携わる方の生き方を学ぶ		◎			○	77
092	「ピオトープ田での稲作」 地域の方の協力により、ピオトープ田での米作りや水生生物観察を行い、自然の豊かさなどを学習		◎			○	77
093	「田んぼづくり」 地域の方に米作りを学び、収穫した米で作った餅や赤飯をお世話になった地域の方にメッセージを添え配付		◎		○		78
094	「茶道教室」 地域の方に茶道部の活動を支援してもらうとともに、地域の行事に出向きお茶会を実施		◎			○	78
095	「イカ釣り船団見送り」 児童・教員を含め地域全体で船の出航を見送ることで、郷土を愛する心を育む		◎			○	79
096	「宇出津っ子ロードレース」 全校児童参加で行うマラソン大会を地域全体で盛り上げ、地域でも子供を育む意識を高める	○	◎		○	○	79
097	「よさこいで地域を盛り上げよう」 地域の方に指導いただいた「よさこい踊り」を地域行事で披露		◎	○		○	80
098	「針伏山ウォーキング」 地域の方の案内のもと、地域に残るフナの原生林を歩き、交流		◎	○			80
099	「料理教室」 地域の方に教えてもらい、いしり料理やあえのこと料理の調理体験を行い、ふるさとの味・郷土料理を伝承		◎			○	81
100	「猿鬼大会応援カカシづくり」 地元イベントを盛り上げるため、老人会や婦人会の協力で、カカシづくりを行い、地域のつながりを構築		◎			○	81

※地域の団体…子ども会、婦人会、青年団、町内会、老人クラブなど

No.	活動名（概要）	実施主体（◎）連携団体（○）					ページ
		市町	学校	公民館	PTA	地域の団体	
101	「おはなしパレット」 朝学習や昼休みに、ボランティア「読みます隊」が本の読み聞かせを実施		◎		○	○	82
102	「寺井地区クリーンデー」 地域の方々と協力し、環境美化ボランティア活動を実施		○	◎	○	○	82
103	「地域全体での資源回収」 公民館を中心にPTA・学校が連携し、資源回収を実施		○	◎	○	○	83
104	「新春書初め席書大会」 新年を迎え心新たに書初めに取り組み、技術の向上・交流を図る			◎		○	83
105	「金ヶ崎地区 新入生歓迎会」 小学校に入学する新1年生（保護者も）を招待し、交流			◎		○	84
106	「公民館地域間交流」 他の地域の子供とお互いに交流し、その地域の魅力を体感			◎		○	84
107	「まんだらウォーク」 小学5・6年生が地域住民とともに郷土の史跡などを探索		○	◎		○	85
108	「朝の声かけ運動」 地域の方々が、校門前で子供たちにあいさつや一声かけて交流するとともに交通安全を指導		○	◎			85
109	「河原田ジュニア検定」 郷土の歴史・文化への知識を深めてもらうため、学習会を行い、その成果を図る「ジュニア検定」を実施			◎		○	86
110	「お年寄りとの交流」 小学校の各学年が公民館で、学習発表や伝承遊び、梅干しづくりなどを行い、お年寄りと交流		○	◎		○	86
111	「若山 庭まつり・キリコと盆踊りの夕べ」 伝承の唄・踊りなどを地域の方から指導してもらい、地域の行事で披露		○	◎		○	87
112	「親子凧作り教室・さわやかなろし凧揚げまつり」 凧の絵を子供が描き、親子で凧作りを行い、地域の凧揚げ行事に参加することで、地域の方々や親子で交流		○	◎		○	87
113	「宝立キリコ太鼓」 公民館での笛・太鼓教室を通して、伝統文化を継承し、郷土を愛する心を育成		○	◎		○	88
114	「子ども和太鼓教室」 地域の伝統芸能を継承するため、公民館で太鼓教室を実施し、地域の行事で披露		○	◎		○	88
115	「二俣いやさか踊り」 地元保存会より、いやさか踊りの指導を受け、「二俣紙すきの里まつり」などの行事で披露		○	◎		○	89
116	「左義長」 地域の行事に子供たちも学校で取り組んだ書初めを持参・参加することで、伝統行事を体験・継承		○	◎	○		89
117	「親子クッキング」 地元の特産物を学び、親子で特産物を生かした調理を行い、交流		○		◎	○	90
118	「学校周辺でのあいさつ運動」 PTAと生徒会が連携し、学校玄関等であいさつ運動を実施		○		◎		90
119	「体験講話」 地域で活躍されている方の体験談を通して、文化や生き方等を学習		○		◎		91
120	「環境整備作業」 親子や地域の方々が学校敷地内の環境整備を実施		○		◎	○	91

※地域の団体…子ども会、婦人会、青年団、町内会、老人クラブなど



No.	活動名（概要）	実施主体（◎）連携団体（○）					ページ
		市 町	学 校	公 民 館	P T A	地 域 の 団 体	
121	「丘の子サタデー」 親子でおやつについて考え、クッキングを実施することで、食育について学習		○		◎	○	92
122	「親子地引き網体験」 地域で伝承されてきた地引き網を親子で体験する中で、親子がふれあい、地域のよさを体感		○		◎	○	92
123	「親子見附海岸ボランティア活動」 親子での見附海岸清掃活動を通して、ボランティア精神を培い、郷土を愛する心を育成		○		◎	○	93
124	「学校周辺環境整備」 親子で学校の窓ふき・草刈りなどを行い、学校を愛する心の醸成と親子のふれ合いの機会とする		○		◎		93
125	「読み聞かせボランティア」 ボランティアが読み聞かせを行うことで、児童の読書活動を推進		○		◎	○	94
126	「金沢子ども竹灯り2016」 親子で「平和への祈り」をテーマに竹灯ろうを制作し、町中に設置。平和の願いとともに、地域で交流		○	○	◎	○	94
127	「校庭キャンプ」 運動場を利用して1泊2日のキャンプを実施。親子でカレーづくりやキャンプファイヤーなどを体験・交流		○		◎	○	95
128	「1キロ大作戦」 普段保護者の送迎が多い登校時に、全員が友達と歩いて登校することを呼びかけ・実施		○		◎	○	95
129	「親子奉仕作業」 親子で協力して、学校周辺の環境整備を行うとともに、親子の交流を図る		○		◎		96
130	「登校時の安全指導」 横断歩道・交差点等で、子供たちの安全を守り、挨拶などの声かけを実施		○			◎	96
131	「読み聞かせ・劇の上演」 地域の方が本の読み聞かせや、平和集会時に戦争と平和に関する劇を上演		○			◎	97
132	「美川っ子教室（はりんご教室）」 手取川とその周辺に生息するはりんご（トミヨ）に代表される魚や動植物などの観察を通じ、自然に親しむ		○			◎	97
133	「本の読み聞かせ」 図書ボランティアが休み時間に読み聞かせや紙芝居を実施		○			◎	98
134	「下校時の見守り活動」 地域の見守り隊の方々が下校時の子供の見守りを実施		○			◎	98
135	「わら細工に挑戦」 地域の方々が講師となり、わら細工を指導		○	○		◎	99
136	「昔遊び体験」 地域のお年寄りに昔遊びを覚えてもらうとともに、楽しく交流		○			◎	99
137	「子どもを褒めて育てる地域づくり」 子供が地域の方々と共に清掃活動などを通して、自己肯定感を育成		○		○	◎	100
138	「子ども提灯太鼓行列」 百万石行列に併せ、子供が提灯を持って市役所周辺を行進	○				◎ ○	100
139	「放課後子ども教室」 地域の方に、ちよんがり踊りなどを教えてもらったり、昔のお正月遊びを行うなど、体験の機会を提供		○			◎	101
140	「登下校時安全指導」 小学校の登下校時に子供たちの安全指導を実施		○	○		◎	101

※地域の団体…子ども会、婦人会、青年団、町内会、老人クラブなど

No.	活動名（概要）	実施主体（◎）連携団体（○）					ページ
		市 町	学 校	公 民 館	P T A	地 域 の 団 体	
141	「小中学校登下校安全指導」 登下校の安全見守り及び交通安全指導		○			◎	102
142	「加茂っ子キャンプ教室」 テント泊をしながら、地域の住民と釜炊き体験、きもだめし、昔の遊びなどを体験					◎ ○	102
143	「羽咋市子ども相撲大会」 市内小学校児童が相撲に取り組み、対戦を通じて交流	○	○			◎ ○	103
144	「キッズ大冒険in立山」 立山登山などの集団活動を通じた、子供相互の交流・社会性の育成	○				◎	103
145	「消防団との交流会」 児童の防災意識の向上を図るため、消火器体験・放水体験などを行い、地域の消防団と交流		○			◎	104
146	「お話ボランティアによるお話会」 子供が集まる施設で、地域のお話会のボランティアが絵本の読み聞かせ、紙芝居、工作などを実施	○				◎	104
147	「朝読書タイムの読み聞かせ」 学校の朝読書タイムに図書館ボランティアが学校に出向き、読み聞かせを実施		○			◎	105
148	「春休み宿題合宿」 入学を控えた園児は折り紙やひらがな練習、小学生は宿題に取り組み、地域の大人に教えてもらい交流		○	○		◎	105
149	「下校時などの安全見守り」 小学校周辺や交差点などでの下校時の安全見守りや学校行事における警備を実施		○			◎	106
150	「社会体育大会」 幼児からお年寄りまで、様々な競技に参加することを通して交流		○	○		◎	106
151	「防犯サツマイモづくり」 防犯農園で警察署等と一緒に子供たちがサツマイモの苗植え、水やり・草むしり・収穫を行い、交流		○	○		◎	107
152	「山野草を食べる会」 地域の人と親子と一緒に、山菜を採り・調理・食することを通して、親子で地域の自然を学ぶとともに交流			○		◎	107
153	「経念の虫送り」 伝統行事に参加し、地域の歴史に触れるとともに、地域の方々と交流				○	◎	108
154	「本の読み聞かせ」 図書ボランティアが朝読書や長期休業の機会に読み聞かせを実施		○			◎	108
155	「親子ホタル観察会」 ホタルが生息する水路等を親子で観察するとともに、地域の自然や環境について学習		○			◎	109
156	「登下校の見守り活動」 登下校時に、地域の方が地域の各所で子供たちの安全の見守りを実施		○			◎	109
157	「里山の環境教育」 里山の間伐材を利用した木工作・椎茸植菌や、山野草の学習会などを実施		○	○		◎	110
158	「西谷すぎのご塾」 放課後の時間に学習支援やボール遊び、郷土カルタづくりなどを実施		○	○		◎	110
159	「お年寄りと子供のつどい」 保育園児や小学校児童がお年寄りと昔遊びやもちつき・柿の葉寿司づくりなどで交流		○	○		◎	111
160	「菖蒲湯まつり 代っ子みこし」 地域のまつりに子供みこしを担ぎ参加することで、地域文化を学び、郷土を愛する心を育成				○	◎ ○	111

※地域の団体…子ども会、婦人会、青年団、町内会、老人クラブなど

No.	活動名（概要）	実施主体（◎）連携団体（○）					ページ
		市 町	学 校	公 民 館	P T A	地 域 の 団 体	
161	「宇出津っ子見守り隊」 地域の方が登下校時にあいざつ運動・交通安全指導・見守り活動を実施		○		○	◎	112
162	「地域の防災」 子供からお年寄りまで地域全体で町内を巡回し、危険箇所を確認、防災意識を高める					○ ◎	112
163	「『かなざわ食育かるた』体験」 学校が開催するフェスタの中で「食育かるた」の遊びを通して、食育について学ぶ機会を提供		○		○	◎	113
164	「交通安全教室」 小学校の新1年生を対象に、紙芝居等を通して交通安全を指導するとともに、毎日の見守りを実施		○			◎	113
165	「こども合宿」 地元の太鼓体験・豆腐作り体験などを通して、郷土の文化を学び、子供・青年世代が交流					◎	114
166	「サンタ宅配便」 青年団員がサンタクロースとなり、希望のあった家庭にプレゼントを届け、子供たちと交流					◎	114
167	「健康クラブとふれあい会」 地域のお年寄りとゲーム・ダンスを一緒に行い、交流		○		○	◎	115
168	「流しそうめん交流会」 地域の方が作成した竹細工で、流しそうめんを行い、三世代で交流			○		◎	115
169	「もちつき大会」 保育園児・小学生が、地域の方と協力して、杵・臼を使ったもちつきを行い、交流		○			◎	116
170	「おしごとたいけん」 地元企業の協力による、子供たちが仕事選び・働く・お金をもらう・遊ぶといった、楽しく学ぶ仕事体験		○			◎	116

※地域の団体…子ども会、婦人会、青年団、町内会、老人クラブなど

**地域と学校が連携・協働した**

---

**実践事例170**

---

## 活動のポイント

## 愛のひと声で子供の健やかな成長を

実施主体	川北町教育委員会事務局
学校規模	町内全域
活動期日	毎年6月初旬～中旬ならびに9月初旬～中旬（9月は県の重点月間にあわせて実施）
活動場所	町内全域
参加者	町内在住の幼児、児童、生徒、町内各種団体の役員・代表、保育所・学校ならびに教育委員会職員
連携団体	各種スポーツ少年団、壮年団、女性協議会、老人クラブ、民生委員など
活動のねらい	・「かわきたの明日の子どもを育てる町民会議」が推進母体となり、「心の教育」推進活動の一環として、挨拶・対話運動に取り組むことで、心身ともに健やかな子供たちの育成をめざす。
活動を始めたきっかけ	かわきたの明日の子供を育てる町民会議が、県のグッドマナーキャンペーンに合わせて町でも活動をしようと考えて始まった。
活動の概要	○6月と9月の活動期間では、各種スポーツ団体に所属している子供たちや団体の関係者が、毎日朝と夜の防災無線の放送で、挨拶と家庭での会話についての呼びかけを行う。 ○9月は、石川県グッドマナー月間にあわせて、地区の街頭や小学校・中学校の玄関にてあいさつ運動を実施。
よかった点・参加者の感想など	◇町の催しや地域の活動時、保育所の幼児の送迎時など大人も子供も大きな声で挨拶を交わしている。 ◇元気よくあいさつを交わすことで、子供の健やかな成長に大きく寄与している。
改善したらよい点・苦労した点など	◆18年間継続している活動なので、新しく居住する人が増加しても浸透していけたらと思う。 →地域の様々な団体を通して、新しい住民に対する呼びかけを強化していきたい。
連絡先	川北町教育委員会事務局社会教育課 ☎076-277-1111



元気よくあいさつをする地域の住民と子供たち

## 活動のポイント

## 土曜日に行われる本物に触れ合う体験活動

実施主体	白山市教育委員会事務局 生涯学習課
学校規模	白山市 19 小学校
活動期日	年間を通して8回程度、各回日帰り
活動場所	白山市内全域
参加者	小学4年生～小学6年生 各回20人
連携団体	市内企業、地域グループ等
活動のねらい	・市内各地域の自然や文化、歴史への理解を深め、白山手取川ジオパークを通じた「水と人々の関わり」をテーマとした体験学習を実施することで、本物にふれ合う感動を味わい楽しさを体感することで、子供たちが豊かな感性を育み成長することに寄与する。
活動を始めたきっかけ	白山市教委が、子供たちの感性を育むために、自然等に関わる週末の体験活動を企画したいと考えた。
活動の概要	○ 実施日／実施場所／主な活動内容 ① 5月27日(土)／白山ろく地域(河内)／革細工、滝探し ② 6月24日(土)／白山ろく地域(鳥越)／湧水めぐり、中流域の石探し ③ 10月28日(土)／白山ろく地域(白峰)／炭焼き作業、まち歩き ④ 11月18日(土)／美川地域／伏流水めぐり、海岸の石探し ⑤ 12月16日(土)／松任地域／古地図散策、和菓子づくり ⑥ 1月20日(土)／白山ろく地域(尾口)／スノートレッキング(ぶなもり) ⑦ 2月17日(土)／白山ろく地域(白峰)／スノートレッキング(レンジャー) 特別編 7月22日(土)、23日(日)／市内全域／子供ジオ博士
よかった点・参加者の感想など	◇年間を通して四季を感じながら白山市内の自然や文化に親しむことができる。
改善したらよい点・苦労した点など	◆市内には身近に親しむことができる自然や歴史、文化スポットが多々あり、また、地域や企業の協力も得られている。そのため、子供たちからの申し込みが多く、回数を増やし参加の機会を増やしているが、予算や安全面の確保などの関係で、実施運営にあたっての体制が追いついていない状況がある。
連絡先	白山市教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 076-274-9572



河原での石探し



和菓子職人の仕事に見入る子供たち

## 活動のポイント

## 保育園開放日に、地域住民が子育て相談

実施主体	野々市市家庭教育サポーター
学校規模	野々市市内15保育園
活動期日	保育園開放「なかよしの日」(年5回実施)
活動場所	市内保育園
参加者	未就園児親子
連携団体	市内保育園
活動のねらい	・家庭教育サポーターが、保育園に出向き、保護者と関わりながら活動する中で、気軽に保護者の悩みや不安を相談できる機会を提供する。
活動を始めたきっかけ	親が身近な人から子育てを学ぶ機会が少なくなり、子育てに不安を抱えるなど、家庭の教育力の低下が懸念される中、身近な場所で気軽に子育てについて話をしたり、交流したりする機会を設けるため野々市市が実施している。
活動の概要	<p>○市内各保育園(15園)で年5回開催される園開放事業「なかよしの日」に家庭教育サポーター(各2・3名程度)が出向き、参加親子とふれあいながら不安や悩みを聞くことで、保護者が気軽に相談できる環境を提供。</p> <p>○家庭教育サポーターは、H19から実施。家庭教育サポーター養成講座を受講し活動意欲のある方をサポーターとして認定しており、H29は27名が登録。</p> <p>○主な活動は、「なかよしの日」での相談活動のほか、子育て関係機関でのイベントを記した「ののいちこどもカレンダー」の作成、親子で参加できる「なかよし子育て大集合!」の開催(3月開催)など。</p>
よかった点・参加者の感想など	<p>◇参加者からは「いろいろなアドバイスや手助けをしてもらって安心して参加できる。」との言葉をいただいている。</p> <p>◇中には「上の子供のときにもお世話になった。」とサポーターの顔を覚えてくださっている方もおり、継続して利用され、気軽に相談できる機会になっていると考えている。</p> <p>◇家庭教育サポーターの認知度もあがっており、気軽に話せる相談相手になっている。</p>
改善したらよい点・苦勞した点など	<p>◆来てくれる保護者が気軽に相談しやすいように、なるべく前年と同じサポーターが同じ園に行くように心がけているが、辞められるサポーターや新たにサポーターとなる方もいるので、なかなか難しい。</p> <p>→できる限り、調整を行う。</p>
連絡先	野々市市教育委員会事務局生涯学習課 ☎076-227-6116



子育て相談

## 活動のポイント

## 地域で育む子どもたちの「自分力」

実施主体	宝達志水町教育委員会事務局 生涯学習課
学校規模	押水第一小学校（91人）、宝達小学校（71人）、相見小学校（135人）、志雄小学校（140人）、樋川小学校（111人）
活動期日	7月～11月
活動場所	生涯学習センター「さくらドーム21」
参加者	町内小学生4～6年生 約25人
連携団体	町内各小学校
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商売体験を通じて、家庭でのしつけや学校での勉強などにより、蓄えた力「自分力」を最大限に発揮することによって、達成感を味わい、自分の可能性に気付いてもらう。</li> <li>・ 学校での学習の意義の再認識や、社会、株式、税金、金利等の仕組みを学ぶ機会を創出することで、未来の町を担う「人財」を育成する。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	町の教育委員会事務局生涯学習課が、七尾市商工会議所のノウハウを参考に、子供たちの「自分力」を最大限に発揮し、体験を通じて達成感を味わうことのできる事業として、H28年度から実施した。
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体の流れ、ルール説明（児童・保護者）</li> <li>○アクティブセミナー合宿（1泊2日）：販売プラン（販売商品、売り上げ目標など）の作成、プレゼン（商品説明）</li> <li>○販売実践に向けて：各会社の進捗状況の確認と販売実践に向けての確認・把握</li> <li>○販売実践：準備の成果を披露</li> <li>○まとめセミナー：決算書の作成、自分たちの給与と株主への配当金の計算、全体のまとめ</li> </ul>
よかった点・参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇子供たちは、つらかったこと（メンバーでもめたり喧嘩したり）もあったが、全体的に楽しかった、お金を稼ぐことの大変さがわかったなど前向きな意見が多かった。</li> <li>◇保護者からは、子供たちの「自主性」「自分力」の向上が見られよかったなど、この事業に対して良い印象を持っている方が多かった。</li> </ul>
改善したらよい点・苦労した点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保護者から、事業期間の長さや連絡内容の遅さ・不備などの指摘があった。</li> <li>◆活動が長期にわたるため、子供たちのモチベーションを持続させる必要がある。 →計画日程を再度見直し、内容の精選をはかる。</li> </ul>
連絡先	宝達志水町生涯学習センター（「さくらドーム21」内） ☎ 0767-29-8320



販売食品の仕込み



販売実践



## 活動のポイント

## 地域の方々と作る安心・安全な居場所

実施主体	志賀町
学校規模	志賀町立志賀小学校（614人）
活動期日	平成28年4月1日～平成29年3月31日（スクールバス運行時）
活動場所	志賀小学校
参加者	スクールバス待ちの児童（1～3年生児童）
連携団体	（放課後子ども教室1チーム：コーディネーター、教育活動サポーター）、志賀小学校
活動のねらい	・平成28年度に統合・新設した志賀小学校では、スクールバスで下校する児童が多いためバスを待つ子供たちの居場所づくりとして立ち上げた。
活動を始めたきっかけ	低学年児童の一部（兄弟との合同帰宅児童）が高学年の下校スクールバス時間を待つ間、その児童を見守り、安心して過ごせる場所を提供するという課題が学校にあった。その学校の課題を解決するために、教育委員会（生涯学習課）が児童を見守りいただく方々を募集し、「志賀っ子楽習教室」を立ち上げた。
活動の概要	○スクールバスを待つ一部の低学年児童を対象に、宿題の見守り、折り紙・かるた等の昔遊びを行う。
よかった点・参加者の感想など	◇低学年の居場所を作ることで、子供たちが安心して放課後を過ごしている。
改善したらよい点・苦労した点など	◆一斉下校日を除き、週4日開催するため、人員が不足している。 →協力者を増やすことや、学校と負担を分担していく方を模索している。
連絡先	志賀町教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 0767-32-9350



宿題の見守り



折り紙遊び

## 活動のポイント

## 地域を挙げて能登高校の魅力を高める

実施主体	能登町
学校規模	石川県立能登高等学校（198人）
活動期日	通年
活動場所	能登高校及び能登町全域
参加者	能登高校生徒及び町内小中学生、町民、町内団体・企業、地域おこし協力隊、能登町職員
連携団体	能登高校を応援する会
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内唯一の高校である能登高校を魅力的な高校とし、町外からも生徒が集まるような学校となる事で地域の発展と活性化をもたらす。</li> <li>・地域の課題に取り組むことにより問題解決能力を養い、町を背負って立つ人財を育てる。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	制服代の補助などの支援は以前から行っていたが、生徒数の増加にはなかなか繋がらなかった。そこで、より生徒や保護者に選ばれる高校にするために町がプロジェクトを立ち上げた。
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成26年度から、町の補助金と有志からの寄付を利用して能登高校内に公営塾「鳳雛塾」を開設。大学受験勉強や公務員試験講座等を行っている。</li> <li>○平成28年度からは、小中高生を対象に町営塾「まちなか鳳雛塾」を開始。学力以外に地域を愛し、地域を背負う人財を育てるため、「能登学講座」を開講している。これは、地域の伝統文化や産業を学びつつ、地域の課題を知りその解決策を考えるもので、地域住民に講師を依頼し実践教育を行っている。</li> <li>○地元信金と能登高校が連携し、地域の課題解決のためにビッグデータを利用して地域振興策を立案した。（経産省と内閣官房が提供する地域経済分析システム（REASAS）を活用した取組）</li> <li>○情報発信が重要となる現代において自ら情報を発信できる人間となれるよう、メディアキャンプに取り組んでいる。</li> </ul>
よかった点・参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇公営塾、町営塾の取り組みでは進学実績も向上しており、これを踏まえた生徒保護者の進路選択でも能登高校の比率が伸びている。高校が安定して生徒を確保し存続していくことは、移住定住を促進している当町にとって欠かせない事であり、今後も良い結果を期待している。</li> <li>◇参加した生徒や成果発表を聞いた町民からは「プレゼンテーション能力の向上や自信に繋がった」「生徒の学ぶ力が向上している」と好評を得ている。</li> </ul>
改善したらよい点・苦労した点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ホームページ・ポスターの作成、広報誌掲載、有線TVの利用など様々なPR活動を行った結果、取材依頼が増えていることもあり、町外の認知度は高まっていると思われる。しかし、町内の認知度がまだまだ低いと、生徒、保護者の認知度をもっと高めたい。</li> <li>→現在行っている広報活動を、より強化していきたい。</li> </ul>
連絡先	能登町役場総務課秘書室 ☎ 0768-62-8501



鳳雛塾学習風景



REASAS ワークショップ

## 活動のポイント

## それぞれの地区の自然や伝統を学ぶふるさと学習

実施主体	穴水町立向洋小学校、穴水町教育委員会事務局
学校規模	穴水町立向洋小学校（50人）
活動期日	平成28年11月21日（月）5・6限
活動場所	向洋小学校
参加者	向洋小学校3年生、教職員
連携団体	沖波きび生産組合
活動のねらい	・地域の伝統食である「きび」や、「きび」を地元の特産物にしようとするみなさんの活動を学び、ふるさとを知ってもらう。
活動を始めたきっかけ	平成20年度に4地区の小学校が統合され、それぞれの地区の自然や伝統（人・物・事）を学ぶことを総合的な学習の時間に取り入れた。
活動の概要	○「きび」についての学習・・・総合的な学習の時間に調べ学習を行う。 ○きびだんご作り・・・沖波きび生産組合の方の指導のもと、きびだんご作りを行う。
よかった点・参加者の感想など	◇きびだんごを初めて食べる子供が多く、「おいしい」と地域に伝わる食文化の良さを感じることができた。 ◇ふるさと教育の一環で、地域の方にゲストティーチャーとして来ていただき、子供たちが地域を知る良い機会になっている。 ◇過疎化が進み、担い手不足の事を子供たちにも知ってもらう。
改善したらよい点・苦労した点など	◆児童数の減少により、活動自体が小規模になっている。 →親子事業にしたり、他の小学校と合同事業にすることも検討する。 ◆食育は子供たちにとって大切であり、作るだけでなく、「きび」の実物を見せたい。 →写真で「きび」の穂を見せているが、できれば実物を見せるなど、体験を大切にしたい。
連絡先	穴水町教育委員会事務局 ☎ 0768-52-3710



きびだんごの生地作り



お団子をゆでる

## 活動のポイント

## 地域と学校が連携した「幻のコメ」復活への栽培

実施主体	加賀市立湖北小学校
学校規模	加賀市立湖北小学校（146人）
活動期日	6月～10月
活動場所	小学校ピオトープ内の水田
参加者	湖北小学校5年児童 H28：35名 H29：27名
連携団体	かが有機農法研究会
活動のねらい	・戦時中に開発された品種で、一時は栽培が途絶えていた『幻の米』『水稻農林21号』の復活に向けた取組を地元農家の方々と行うことで、地域とのつながりを深め、環境について学ぶ機会としている。
活動を始めたきっかけ	平成27年に地元の農家を含む「かが有機農法研究会」の願いを受け、学校がこれまで取り組んできた米作りを発展させ、環境にやさしい農業の在り方を考えるとともに、次世代につながる食育を実践していきたいと考え取組を始めた。
活動の概要	○地元の農家の指導を受けながら、5年生が「総合的な学習の時間」として実施。 ○年間の活動内容 6月 校舎前に広がるピオトープ内にある水田に農林21号の苗を植える。 夏 農薬や化学肥料を使わず、有機肥料を与えたり、草むしりをしたりして成長を見守る。 9月 稲刈りを行い、収穫したものは種もみとして研究会のメンバーの農家に渡す。 11月 種もみから育てたお米をいただき、収穫を祝う会を開く。
よかった点・参加者の感想など	◇農薬・化学肥料を使わず、田んぼの手入れ（定期的な草むしり・給食の残菜等から作った肥料の使用など）を行い、はさ掛けや足踏み式脱穀機の体験など、経験したことのないことが多く、米を育てることの大変さや感謝していただくことの大切さを感じていた。 ◇食への関心を高め、環境教育にもつなげることができた。 ◇研究会の方に指導を続けていただくことで、地域の方とのつながりが深まっていった。
改善したらよい点・苦勞した点など	◆本校の水田が「農林21号」作りに適していることや、研究会の方の思いを受け止め、取組が継続していけるように、年間の活動記録等をまとめておくとよい。 →学校において取り組んだ内容を記録として保存することで、取組の継続を図る。
連絡先	加賀市立湖北小学校 ☎0761-74-0369



稲刈りの様子



脱穀の様子

## 活動のポイント

## 未来につなげるふるさとの自然

実施主体	能美市立根上中学校
学校規模	能美市立根上中学校（494人）
活動期日	平成22年度より
活動場所	能美市根上地区：根上松・源平古戦場跡の松林及び海岸付近の松林
参加者	根上中学校生徒
連携団体	いしかわ能美の松原サポートクラブ、根上森林連合会、高坂・根上緑を守る会、NEXCO中日本金沢支社、根上中学校PTA
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松林の清掃活動を通して、環境保全・再生のための実践力向上を目指す。</li> <li>・総合的な学習の時間や生徒会のボランティア活動を通して、生徒・PTA・地域住民が連携してふるさとの自然や文化の保護・育成のために取り組む。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	能美の松原サポートクラブが、環境教育の一環として松林の保全活動をしようと、学校側に提案したことから始まった。
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1年次…地域探訪学習や能美の松原サポートクラブによる環境保全講話を聴き、地域の環境の現状と保全のあり方を学ぶ。</li> <li>○2・3年次…サポートクラブや森林連合会からアドバイスを受けながら、下草刈りや松葉かきといった保全活動に取り組む。</li> <li>○ボランティア活動 市社会福祉協議会とタイアップし「We are 松々レンジャーズ～大きな松を育てマツ～」という活動を主催。また、保全活動で集めた松葉を堆肥として利用し、レタスやさつまいもを栽培・収穫する活動に取り組んでいる。収穫した作物は給食に利用され、地産地消や食育に寄与している。</li> <li>○海岸の松林に面している高速道路防音壁に、夏休み中に美術部員が松林を入れた壁画を描いている。（NEXCO中日本の「高速道路美化促進事業助成」を受けている。）</li> <li>○美化活動で整備された松林を前に野外会場を設け、本校吹奏楽部や地域の団体による「能美の松原コンサート」を実施。</li> </ul>
よかった点・参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇松葉を堆肥化する方法がサポートクラブにより開発され、その堆肥で育てた農作物が給食で提供された。自分たちの活動が自分たちに返ってくることで、成就感や自己存在感、自己有用感につながり、ボランティア活動が好循環している点で、今後のモチベーションにもつながる期待感がある。</li> <li>◇卒業式で、3年生が在校生に向けて「松々レンジャーズの活動をしっかり続けていってほしい」と言うなど、子供たちに根付いた活動になっている。</li> </ul>
改善したらよい点・苦勞した点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆松林は手入れを怠るとすぐに荒れてしまうため、保全活動を続けていくことが何より重要である。上記のように生徒たちは熱心に取り組んでいるが、地域住民の中にはまだまだ無関心な人がある。 →環境問題に関心のある若い住人が積極的に参加してくれるので、こういった人を取り込んでいって活動を広めていきたい。</li> </ul>
連絡先	能美市立根上中学校 ☎ 0761-55-0160



松葉かきのようす



生徒が描いた壁画

## 活動のポイント

## 地域で連携して「もしも」のときに備えよう

実施主体	白山市立鳥越中学校
学校規模	白山市立鳥越中学校（81人）
活動期日	平成28年10月12日（水）
活動場所	鳥越中学校 とりごえ保育園
参加者	鳥越中学校100名、とりごえ保育園児75名、公民館職員3名、白山消防署員7名
連携団体	鳥越中学校、とりごえ保育園、とりごえ公民館、白山消防署
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震による土砂災害を想定した避難訓練を体験する。</li> <li>・中学生に「小さい子供たちを引き取り一緒に避難する」という意識を付ける。</li> <li>・全職員、全生徒が、冷静、沈着、迅速で安全な行動がとれるようにする。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	本校は、地域に密着した学校であり、生徒の「ふるさとを大切にしよう」という思いの強い学校である。そこで、最近多発している大規模災害に備えて、地域と連携した避難訓練を行いたいと学校側が提案し取り組むことになった。
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校では、訓練開始までに各担任がプリントを使って避難訓練の概要（避難経路・集合場所・集合体系・避難の際の心がけ等）について指導する。特に、小さい子供の目線に立って行動できるように意識付けをしておく。</li> <li>○災害に遭ったと想定し各自が避難する。 3年生は保育園へ行き、手を引いて園児を誘導する。</li> <li>○全員の避難完了後、校長講評、保育園長講評、消防署からの講話をいただき、解散する。 3年生は園児を保育園まで送り届ける</li> </ul>
よかった点・参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇学校と保育園が連携した防災訓練にするために、関係機関と何度も協議を重ね、より具体性のある防災計画を立てることができた。</li> <li>◇実際に土砂災害が起きたときに、1番行動できるのは中学生である。そこで、二次避難場所に行く際に園児の手を引いて避難するという訓練はとても大切であったと考える。さらに、公民館の方々や消防署の方々との連携をとって行えたことも大きい。</li> <li>◇普段から、地域の高齢者や小さい子供たちと中学生が触れ合う機会を持つことが、災害の際の安心につながることを学んだ。</li> <li>◇中学生が園児の目線に立って、声かけしたり、靴を履かせたりする等、状況や相手に合わせて行動することができた。中学生にとって大きな学びになった。</li> </ul>
改善したらよい点・苦労した点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆今度も継続していくためには、保育園や小学校、地域への防災啓発としての公民館との連携、消防署からの指導助言が不可欠である。</li> <li>→普段からの連携を大切にしながら、地域の防災としての学校の役割も考えていきたい。</li> <li>→参加団体が多くなれば細かな調整が重要になるので、打ち合わせを重ねることでもうまく運営していきたい。</li> <li>また、今回は小学校が都合により参加できなかったため、今後は、小学校も交えて実施したい。</li> </ul>
連絡先	白山市立鳥越中学校 ☎ 076-254-2319



園児と避難する3年生



避難場所での様子

## 活動のポイント

## 地域の人と自然の良さをを感じる体験活動

実施主体	白山市立白嶺小学校
学校規模	白山市立白嶺小学校（43人）
活動期日	5月11日（木）
活動場所	一里野温泉スキー場
参加者	小学校全校生徒43名 保護者8名 地域ボランティア7名
連携団体	
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域にある山菜について知る。</li> <li>・ たてわり班で仲良く行動し学校生活への楽しみを持つ。</li> <li>・ 地域や保護者の人と交流し、感謝の気持ちを育む。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	学校が、子供たちに地域の自然に親しむ活動を体験させたいと考え、地域に協力を求め、実施した。
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一里野温泉スキー場の斜面を利用し山菜を班で探す。</li> <li>○たてわり班にはそれぞれ保護者や地域の人が付き、山菜のガイドをする。</li> <li>○採ってきた山菜を地域のボランティアの人に天ぷらにしてもらい味わう。</li> <li>○食べた後、児童が考えたレクリエーションを地域の人と楽しむ。</li> </ul>
よかった点・参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域のおじいちゃんやおばあちゃんも手伝ってくれ、地域に支えられている学校であることがよくわかる。</li> <li>◇山菜の知識が豊富な地域や保護者の人が積極的に活動に参加していただき、山菜の見極め方、種類や食べ方など丁寧にお話ししながら活動できた。（職員は山菜の知識が乏しいので大変助かる）</li> <li>◇班による野外活動であり、安全確保の面で多くの大人の方の関わりがあるので良かった。</li> </ul>
改善したらよい点・苦勞した点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保護者と地域ボランティアの確保が課題である。</li> <li>→参加者に活動内容を、地域で伝えてもらい、協力者を増やす。</li> <li>1年生の保護者には、活動の意義や安全面からも人手がいることを念入りに説明し、取組を理解していただき、協力を募る。</li> </ul>
連絡先	白山市立白嶺小学校 ☎076-256-7144



教えてもらって山菜採り



天ぷら揚げ体験

## 活動のポイント

## 外部講師の活用意図や役割を明確にした地域人材の有効活用

実施主体	野々市市立菅原小学校
学校規模	野々市市立菅原小学校（434人）
活動期日	年間
活動場所	菅原小学校他
参加者	菅原小学校児童、地域の方々他
連携団体	
活動のねらい	・外部講師が参加する授業等によって、子供の関心や意欲を喚起して学習の内容を印象づけたり、専門的な知識・技能にふれたりすることで、学習効果を上げる。
活動を始めたきっかけ	地域には学校のために、何かお手伝いをしたいという地域の方々や保護者が多くいたため依頼した。 近年、新築等により若い世代が増加したため、地域に住んでいながら地域の歴史や伝統、踊り等について知らない保護者や児童が多かったため、地域に昔から住んでいる方々に依頼し、若い世代の保護者や児童に「じょんから踊り」を教えて頂き、運動会で披露するため。 はじめてミシンを使う「5年家庭科」において、教師1人では、糸が絡むなどのトラブルに対応できないため、学校から保護者にサポート役を依頼した
活動の概要	○保護者や地域の方が授業等に外部講師として参加し、子供たちを指導する。 ○外部講師を活用する意図や、授業での役割を学年会等で確認した上で、授業に臨む。
よかった点・参加者の感想など	◇地域人材の活用計画（どの学年、月、教科等、単元で活用するのかが位置付けられている年間計画）があるので、見通しを持って取り組むことができる。 ◇地域人材の連絡先、支援内容等が分かるリスト「地域人材活用計画」を作成し、外部講師を活用している。事業実施後には「活用記録」を作成して、数年間通しての人材記録表としている。
改善したらよい点・苦勞した点など	◆地域人材を集めること。 →学校だより等で保護者に募集する。 地域懇談会の場（年2回）で、学校が望んでいるサポート内容を具体的に示して、支援を依頼する。 口コミや面倒身のよい地域の高齢者に「〇〇に詳しい人がいない？」と直接依頼する。
連絡先	野々市市立菅原小学校 ☎ 076-246-6066



じょんから踊りの練習



家庭科授業のミシン補助



## 活動のポイント

## 地域とともに「地域の歴史・伝統」を受け継ぐ

実施主体	金沢市立三馬小学校支援地域本部
学校規模	金沢市立三馬小学校（704人）
活動期日	年間（三馬小学校では平成26年度から開始）
活動場所	三馬小学校及び学校周辺
参加者	小学校児童、地域のコーディネーター及び学校支援ボランティア
連携団体	小学校、公民館、PTA、地域防災士、地区婦人会
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子供を育てる体制を整える。</li> <li>・子供たちの教育をよりよくするとともに、生涯学習社会の実現・地域の教育力の向上を図る。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	金沢市では、地域全体で子供たちを見守り育成していく学校での枠組みづくりを推進するため、平成20年度より事業を実施している。（平成29年度より「地域学校協働活動事業」へ移行）
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域コーディネーターが学校のニーズを把握し、学校支援ボランティアを派遣。</li> <li>○主な活動として、学習支援（総合的な学習の時間における講師など）、環境整備（図書館の整備や読み聞かせなど）、登下校指導（通学路での安全見守りなど）を実施。</li> <li>○「三馬むかし探検」では、校区の史跡調べを行う際に、現地で地域ボランティアから説明を受けた。また、公民館では、校区の歴史の話を聞いたほか、地域防災士から校区の防災を学んだり、校区婦人会のボランティアから提供された非常食を試食したりするなど、地域の防災についても学習した。</li> </ul>
よかった点・参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇校区の史跡を実際にめぐり、その歴史を地域の方々から詳しく聞くことで、地域のよさを再認識し、子供たちの地域への愛着が一層深まった。</li> <li>◇「地域に残る史跡はこれからも守っていきたい。そのために自分たちができることを考えよう」という思いで、探検してわかったことや、保全のためにできることなどをポスターにまとめ、地域に発信することができた。</li> </ul>
改善したらよい点・苦労した点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆継続した取組であり、これまでも改善などを繰り返してきたことから、地域の方々にも、概ね活動内容を理解していただいております、打合せも大変スムーズに行われています。</li> <li>◆学校でも、取組が継続できるよう学年の引継を行っている。</li> </ul>
連絡先	金沢市教育委員会事務局生涯学習課 ☎076-220-2441



三馬むかし探検



三馬むかし探検

## 活動のポイント

## 学校にアサギマダラを！学校と地域で環境づくり

実施主体	かほく市立外日角小学校 外日角小学校 学校運営協議会
学校規模	かほく市立外日角小学校（383人）
活動期日	年間
活動場所	小学校中庭
参加者	児童、教職員、学校コーディネーター、学校支援ボランティア、老人クラブ、地域住民
連携団体	外日角小学校 学校運営協議会、学校支援ボランティア、地区老人クラブ、町会区
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然や地域について学ぶ活動を通して、子供たちの郷土を愛する心を育む。</li> <li>・児童とともに夢のある活動に取り組むことで、地域の中に明るい話題を提供し、元気になることを目指す。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	学校運営協議会において、アサギマダラを呼び込む活動により、地域の自然について学び、海浜の環境保全にもつなげることができないかといった意見が出されたことから、平成28年より取組を始めた。
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校支援ボランティアの指導により、校舎中庭にアサギマダラの好物の植物を植栽。</li> <li>○児童が地域ボランティアの方々とともに中庭の除草、花植えなどを実施。</li> <li>○地域の方を講師に招き、アサギマダラと学校付近の自然環境についての学習会を実施。</li> <li>○県立自然史資料館の中野・嶋田学芸員を招き、海浜植物に関する親子体験講座を実施。</li> </ul> <p>※アサギマダラ…宝達山から台湾付近までおよそ千キロを移動する日本唯一のわたり蝶</p>
よかった点・参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇児童は、アサギマダラに出会えることを楽しみに中庭の世話をしている。好物の1つであるフジバカマや海浜植物であるスナビキソウなど、自然環境の現状についても関心を持つことができた。</li> <li>◇地域の方が中庭の整備ボランティアなどにたくさん参加され、児童との交流も楽しみにしている。</li> </ul>
改善したらよい点・苦勞した点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保護者のほか、町会区や老人クラブなど、多くの地域の方々に活動を知ってもらえるようにしたい。</li> <li>◆アサギマダラやフジバカマを題材にして、児童と地域の方が交流する様々な方法を考えたい。</li> </ul> <p>→町会区や老人クラブなどの地域の方々に、児童がポットで育てた植物を渡し、地域に植えてもらうことを企画。</p>
連絡先	かほく市立外日角小学校 ☎ 076-283-0040



アサギマダラの好物の植物を植栽



海浜植物についての講座

## 活動のポイント

## ボランティアが生徒の自主学習を支援

実施主体	かほく市立宇ノ気中学校 宇ノ気中学校 学校運営協議会
学校規模	かほく市立宇ノ気中学校（461人）
活動期日	通年
活動場所	宇ノ気中学校
参加者	生徒、教職員、学校コーディネーター、学校支援ボランティア（退職教員、地元企業OBなど）
連携団体	宇ノ気中学校 学校運営協議会、学校支援ボランティア
活動のねらい	・校内に自習スペースを設け、教員や学校支援ボランティアが生徒からの質問に答えることにより、生徒が授業で分からなかったことや疑問をその日のうちに解決できるよう学習支援を行う。
活動を始めたきっかけ	夏休みの補充授業をサポートした学習支援ボランティアが、「自習している生徒の手助けを引き続き行いたい」との思いから、学校に相談したことをきっかけとして、平成26年度より取組を実施している。
活動の概要	○職員室前廊下に机を並べた自習スペース「学びの回廊」に退職教員や地元企業のOBなど地域の方々が学習支援ボランティアとして訪れ、生徒の勉強をサポートしている。 ○生徒が授業で分からなかったことや疑問などを、解決できるよう学校支援ボランティアなどが学習支援を行っている。
よかった点・参加者の感想など	◇参加している生徒は、地域のボランティアからの丁寧な指導を受けることで、授業や塾、家庭学習と違った刺激を受け、一層意欲的に学習に向かうことができている。 ◇学習支援ボランティアの方々からは、「人に教えることで、自分も鍛えられる」「子供たちが頑張っている姿を見ると、自分も元気になれるし、教えることが生きがいにもつながっている」といった声が聞かれた。
改善したらよい点・苦勞した点など	◆地域からの学習支援ボランティアを増やしたい。 →地域に広くボランティア募集（回覧板、ちらし、お便り、ホームページなど）を行い、周知を図る。
連絡先	かほく市立宇ノ気中学校 ☎076-283-0065



「学びの回廊」での自習の様子

## 活動のポイント

## 地域のつながりを大切にした花鉢プレゼント

実施主体	羽咋市立粟ノ保小学校
学校規模	羽咋市立粟ノ保小学校（68人）
活動期日	平成29年7月24日（月）
活動場所	校区の独居老人宅
参加者	粟ノ保小学校4、5、6年 14名 校区の民生委員 12名
連携団体	学校、民生委員
活動のねらい	・学校と地区の民生委員が連携して、校区内に住む独り暮らしのお年寄りに児童が育てた花鉢をプレゼントし、お話をして喜んでもらうことで児童の心を育む。また、地域の方々とのつながりを構築する。
活動を始めたきっかけ	民生委員の方が地域の活性化、地域のつながりを大切にしようという思いがあり、学校と相談し、地域の子供たちと高齢者の方との交流の場を設けることとして、花鉢プレゼントの活動が始まった。
活動の概要	○毎年、夏季休業中、地区の民生委員とともに校区の独居老人宅に訪れ、児童が育てた花鉢をプレゼントし、おじいちゃんやおばあちゃんとお話をしてくる。
よかった点・参加者の感想など	◇毎年行っている活動なので、独り暮らしのお年寄りが楽しみにして待っている。 ◇おじいちゃん、おばあちゃんはプレゼントした花鉢をととても大切に育てているという話を聞き、子供たちはとても嬉しそうである。
改善したらよい点・苦労した点など	◆参加する子供たちの数が年々減少してきており、一人の子供が複数の高齢者を訪問することになっている。 →高学年に加え、中学年の子供たちも参加させることにより、その経験を活かして、活動の継続化を図る。 ◆活動の工夫 →花鉢をプレゼントするだけでなく、子供たち自身が考えて、花鉢にメッセージを書いた札を立てプレゼントし、子供たちの創意工夫を喚起させる。
連絡先	羽咋市立粟ノ保小学校 ☎ 0767-22-0243



花鉢をプレゼント①



花鉢をプレゼント②

## 活動のポイント

## 学校、地域、家庭が一体となった地域文化の継承

実施主体	中能登町立鳥屋小学校児童会
学校規模	中能登町立鳥屋小学校（278人）
活動期日	平成29年5月1日～20日
活動場所	鳥屋小学校の体育館及び運動場
参加者	鳥屋小学校の児童 保護者 地域の方々 約500人
連携団体	ひまわりの会（中能登音頭保存会）
活動のねらい	・運動会プログラムに「中能登音頭」の総踊りを位置付け、児童・保護者・地域の人が参加することで、地域の文化を理解するとともに、親子や地域の方々とのつながりを大切にする機会とする。
活動を始めたきっかけ	学校が、地域との連携を強めるために、年間を通じて取り組んでいる縦割り活動に「中能登音頭」を取り入れた。
活動の概要	○5月上旬、ひまわりの会の講師3～4名が5、6年生に地元の文化「中能登音頭」の踊りを指導する。 ○その後、5・6年生が練習を重ね、児童会のリーダーを中心に1～4年生に踊り方を指導する。 ○児童の全体練習時に、再度、ひまわりの会の講師の方に指導していただく。 ○運動会本番で、全児童と保護者・地域の方々で踊りの輪をつくり、「中能登音頭」の総踊りをする。 ○毎年の運動会で継続して行う。
よかった点・参加者の感想など	◇児童会が中心となり、縦割り活動を生かして企画・運営していく運動会の種目に、地域の文化を取り入れ、児童と保護者、地域の方々がつながる機会となっている。 ◇運動会当日、それぞれの児童の横に保護者が並んで踊ることで、ほのぼのとした親子のつながりが感じられる。 ◇来賓や地域の方々、卒業生も一緒に踊りに参加し、総勢500人ほどの踊りの輪となり、地域住民全体のつながりに広がっている。
改善したらよい点・苦勞した点など	◆「中能登音頭」を踊れない保護者や踊ろうとする思いが弱い保護者に対してどう働きかけるか。 →お便り等によって、取組の目的等の理解とともに周知を図る。
連絡先	中能登町立鳥屋小学校 ☎ 0767-74-0019



保護者と一緒に「中能登音頭」



ひまわりの会の指導を受ける高学年

## 活動のポイント

## 地域の伝統を学ぶふるさと学習

実施主体	能登町立柳田中学校
学校規模	能登町立柳田中学校（73人）
活動期日	平成28年6月1日～平成29年1月18日
活動場所	柳田中学校・小間生公民館・久田地区内
参加者	柳田中学校 1年（24名）2年（25名）3年（28名）
連携団体	小間生公民館・紙工房みわ会
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の伝統文化に関心を持ち、伝統の継承に貢献する。</li> <li>・みわ会の方々との交流活動を通して、ボランティア精神を高める。</li> <li>・地域社会の一員としての自覚を持てるようにする。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	20年以上も前から、3年次に自分の卒業証書のもととなる和紙を自分の手で漉くという活動を行ってきた。地域の伝統文化である和紙づくりを1・2年生でも行いたいという事から、学年に応じて、久田和紙作りをふるさと学習の中心に位置づけた。
活動の概要	<p>○全校：6/ 1 和紙づくり趣旨説明会（公民館長・みわ会会長）</p> <p>○1年：6/ 23 紙すき及びしおり作り：行灯にはる和紙づくり</p> <p>2年：7/ 15 久田和紙でのうちわ作り及びしおり作り</p> <p>3年：作業工程を直接体験し、自分の卒業証書のもととなる和紙を自分の手で漉く。</p> <p>6/20 コウゾウの木の下草刈り、11/16 黒皮・白皮製造、12/7 塵取り、1/18 紙すき及びしおり作り</p> <p>※和紙作りと並行して取り組んだしおり作りのしおりは、4月の修学旅行で3年生が能登町PRのお土産として東京で配布</p>
よかった点・参加者の感想など	<p>◇2年前までは3年生のみの体験であったが、久田和紙作りをふるさと学習の中心に位置づけ全学年で取り組むことで、学校全体で地域の伝統を継承していこうという意識が向上した。</p> <p>◇準備段階から、連携団体である地域の方と学校との連携が密にとれ、和紙づくりを通して学校と地域との関係が近くなった。</p>
改善したらよい点・苦労した点など	<p>◆体験が中心で学習的要素が少ない。</p> <p>→来年度以降は「和紙の歴史」「和紙の種類」「和紙と洋紙の違い」など調べ学習と並行しながら進めていきたい。</p>
連絡先	能登町立柳田中学校 ☎ 0768-76-1215



2年 うちわ作り



3年 紙漉き

## 活動のポイント

## 住民が先生、地域の子供は地域で育てる

実施主体	三木地区まちづくり推進協議会
学校規模	加賀市立三木小学校（36人）
活動期日	4月～3月の第1・第2・第4土曜日 午前半日
活動場所	三木地区会館（三木公民館）、三木小学校、市内全域
参加者	小学1～6年生、保育園児（土曜図書館のみ）
連携団体	小学校、保育園、小学校PTA、地区まちづくり推進協議会、NPO 加賀市観光ボランティア大学
活動のねらい	・子供たちは地域の名人とふれ合うことで、自分のやりたい夢を持ち、人に興味を持ち、好きになり、心を伝えあい、支え合って生きていくことを学ぶとともに、地域の人たちは子供たちの元気や生命力にふれ、生きがいや若さを培うことをねらいとする。
活動を始めたきっかけ	三木地区の人たちが、「地域の子供は地域で育てる」をテーマに、自分の趣味や得意としていることを子供たちに教えることで、子供たちが仲間や地域の方々と一緒になって休日に有意義な活動ができるようにと考え、H21に開設した。
活動の概要	○地域の人々が自分の趣味や特技を生かした「まちの先生」となって教室を開催。子供は年間を通じて1つの教室に通う。 ○教室の内容 三木おもしろ探検隊（三木地区等の市内名所・旧跡を訪れ郷土学習を実施）、グラウンドゴルフ、やきもの、習字、イラスト、切り絵、三味線、親子エアロビ、抹茶、ペーパークイリング、土曜図書館など ○夏休みの終わりには、「夏休みさわやか学習会」を開催し、生活リズムを整え、2学期の準備をしている。
よかった点・参加者の感想など	◇子供が普段ふれあう機会の少ない地域の大人と関わるにより人間関係が広がり、日頃から自然と挨拶をし合うようになるなど、地域のつながりが強まった。 ◇参加している子供たちが、学校でも家庭でもない環境で異年齢との関わり方や自主性を身に付ける機会となっている。 ◇「いきいき塾」開始から9年目に入り、子供たちや地域の大人にも定着している。
改善したらよい点・苦労した点など	◆三木小学校児童数の減少に伴い、実施できる教室も少なくなってきている。 →近隣の地区・小学校にも参加を呼びかけ、対象地区を広げて取組を進めている。
連絡先	加賀市立三木公民館 ☎0761-72-1772



三味線



ペーパークイリング

## 活動のポイント

## 大震災の避難所を再現！地域全体で防災訓練

実施主体	湊自主防災会（白山市立湊公民館）
学校規模	白山市立美川中学校（456人）
活動期日	平成29年7月30日（日）
活動場所	湊小学校
参加者	小中学生を含めた地元住民約220人
連携団体	湊地区自主防災会・湊地区町内会・各種ボランティア団体・子供会 湊小学校・湊小学校PTA・美川中学校・美川中学校育友会
活動のねらい	・大規模災害発生後の避難所運営について、小中学生を含めた地元住民が緊急時の対応を学び、体験し、防災意識の向上を図る。
活動を始めたきっかけ	近年、自然災害が頻発していることから、自主防災会が、地域の防災意識を高めるため、これまでの防災訓練をより実践的な内容にしてH29より実施した。
活動の概要	○仙台市在住の消防庁防災アドバイザー吉田亮一氏（東日本大震災時の避難所責任者を務める）の指導のもと、避難所を再現する訓練を実施。 ○小中学生を含めた住民で班を構成し、各役割を遂行。 ○避難所設営（パイプ椅子・毛布を使った簡易避難所の準備、跳び箱・マットを使った居住スペースの設置など） ○炊き出し（アルファ米を使った炊き出し体験） ○その他、避難者の受付・新聞などの情報の掲示、トイレの設営などを実施
よかった点・参加者の感想など	◇中学生が中心となって活動することで、地域の防災リーダーとしての意識が高まった。 ◇周りの人と協力することで落ち着いて避難所を開設できた。これからも、訓練を重ねることが大切だと思った。（生徒の感想） ◇小中学生といった若い世代の訓練参加は地域防災力の向上につながると思う。（住民の感想） ◇訓練後、参加した生徒の内2名が防災士の資格を取得した。
改善したらよい点・苦勞した点など	◆今後も継続した取組となるような組織づくりが必要。 ◆今年度は再現訓練であったが、今後は、湊地区に合ったものに変えながら継続していくことが必要。 →連携して取り組んだ町内会・学校等と話し合い、検討していく。
連絡先	白山市立美川中学校 ☎076-278-2364



避難所の設営



炊き出し体験



## 活動のポイント

## 地域が連携して行う盆踊り

実施主体	新豎町校下盆踊り実行委員会
学校規模	金沢市立新豎町小学校（112人）
活動期日	平成29年8月11日（金）
活動場所	新豎町小学校運動場、ピロティ
参加者	新豎町小学校児童とその保護者、地域住民、地域施設入所者 約400名
連携団体	新豎町小学校とPTA、親父の会、城南中学校とPTA、町会連合会、公民館、婦人会、少年連盟、防犯委員会、交通安全推進協議会、消防分団 など
活動のねらい	・盆踊りの輪を通して、地域文化に触れ、その歴史を感じるとともに、地域住民の一層の親睦により絆を深め、子供たちの健全育成を図る。
活動を始めたきっかけ	小学校PTAが子供の頃にあった盆踊りを子供たちにも経験させたいとの思いに、OB・OGの地域の方も賛同し、平成23年に実行委員会が立ち上げられ、26年ぶりに復活させた。
活動の概要	○子供たちと地域の方の手作りによる灯のオブジェ作りをPTAや公民館事業と共同開催する。 ○婦人会の協力により、踊り練習会をする。 ○開催当日、城南中学校の吹奏楽部の演奏、新豎町小学校高学年児童によるソーラン演舞、お楽しみビンゴ大会、手作り屋台がある。
よかった点・参加者の感想など	◇地域の中で知り合いが増え、同じ年齢層の連携やつながりも強まり、地域コミュニティに繋がっている。 ◇子供が大人に、大人が子供に関心を持つきっかけになっている。 ◇高齢者の方々から懐かしくて楽しかったという声が聞かれた。
改善したらよい点・苦労した点など	◆踊りよりも屋台などに興味が行き、踊りの輪が大きくなりにくい。 →踊りを3部構成にし、子供向け、子供と大人向け、大人向けの選曲をした構成の結果、踊りに参加する人たちが増えた。 ◆町会の協賛金等に運営費を頼っているが、住民人口の減少等で町費のやりくり問題も出てきている中、協賛金が集まりにくい。 →地域の商店や企業に協賛金のお願いをしたり、活動内容に対する支出を工夫したりして、やりくりしている。
連絡先	新豎町校下盆踊り実行委員会 ☎090-2093-1127



盆踊り



城南中吹奏楽とのコラボ（恋ダンス）

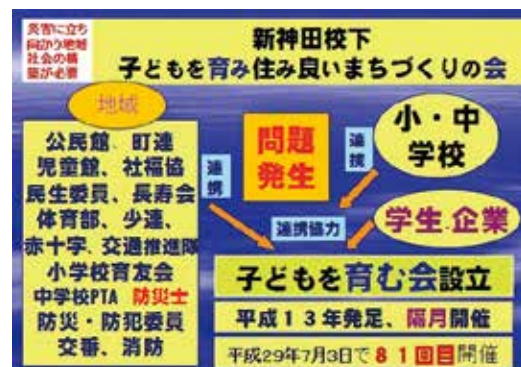
## 活動のポイント

## 地域で育む防災意識

実施主体	新神田校下子供を育み住み良い町づくりの会
学校規模	金沢市立新神田小学校（321人）、金沢市立高岡中学校（703人）
活動期日	毎年7月最後の日曜日
活動場所	新神田校下一円と高岡中学校第2体育館
参加者	地域住民、新神田小児童、高岡中学校生徒 約600名
連携団体	新神田校下子供を育み住み良い町づくりの会（公民館、町連など各種団体で組織）、小中学校
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の各種団体や学校等が連携して、地域全体での「避難訓練」や「シェイクアウト訓練」を通じて防災意識の向上を図ると共に、地域の「環境美化」に努めている。</li> <li>・地域の様々な団体が協力することで親子、地域、学校との繋がりを深めることを目的としている。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	1997年の「阪神淡路大震災」を契機に、地域防災の必要性を強く感じ、「新神田校下防災対策委員会」を発足させた。「委員会」は防災会長（町連会長）、副会長（公民館長）など地域の各種団体長で組織される。
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各自の家から町会の集合場所に集まり、集団で避難訓練して高岡中学校に集合する。このとき、人数把握など情報収集を行い、高中に待機している情報班長に申告する。</li> <li>○全員集まり、「シェイクアウト訓練」を行う。その後全員でラジオ体操する。</li> <li>○情報収集した内容を情報班長から訓練本部長に報告する。</li> <li>○終了後ゴミ袋を渡し、各自ゴミを拾いながら各町会へ帰り、所定のゴミステーションに置くものとする。</li> </ul>
よかった点・参加者の感想など	◇校下全体で、防災訓練・シェイクアウト訓練を行うことで、地域住民の防災意識が高まるとともに、地域の安全・安心につながっている。
改善したらよい点・苦勞した点など	<p>◆継続してきた活動ゆえ、内容のマンネリ化が起こる。</p> <p>→毎年、新しい訓練を積極的に取り入れている。例えば、女性防災士の視点からの避難所運営のあり方研究や各町会の防災委員用の地区防災計画立案のためのタイムラインによるたたき台の作成など。そして、訓練後ただちに反省会を実施し、次回に生かしている。</p>
連絡先	新神田公民館長&新神田校下防災対策委員会 ☎076-291-0025



防災訓練



連携協力体制

## 活動のポイント

## さまざまな団体が連携・協力し合う文化祭・フェスタ

実施主体	金沢市金石町公民館・金沢市立金石町小学校育友会
学校規模	金沢市立金石町小学校（314人）
活動期日	平成29年10月22日（日）
活動場所	金石町小学校
参加者	地域住民
連携団体	金石町校下婦人会協議会・金石町壮年会・金石町青年団・金石町子供会連合会・金石町少年団協議会・金石町伝承芸能振興協議会・金石地区交通安全協会
活動のねらい	・未来を担う子供たちに、金石の文化を伝える機会をもつ事を狙いに、公民館と育友会が主催となり、文化祭・フェスタを開催している。
活動を始めたきっかけ	文化祭（公民館）、フェスタ（小学校）など、個々の団体がそれぞれ行事をやっていたが、地域のつながりを大切にしたいという思いから、行事を一体化して10年前ぐらいから、「金石町公民館文化祭・フェスタかないわ」という形になった。
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○金石の伝承芸能を次の時代に受け継ぐ事を目指し、金石町伝承芸能振興協議会が小学生に踊りやよさこいを教え、当日披露。</li> <li>○西警察署によるシートベルト体験車の体験、パトカー・白バイの試乗。</li> <li>○歴史を知る会による金石の歴史にまつわる紙芝居コーナー。</li> <li>○青年団協力による、児童の餅つき体験。</li> </ul>
よかった点・参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇各種団体が協力しあい、進めることで絆が深まり、いろいろな場面で連携協力ができるようになってきた。</li> <li>◇高齢者施設の作品を展示する事で、施設の入所者にも生きがいを感じてもらえた。</li> </ul>
改善したらよい点・苦労した点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆たくさんの協力団体があるので、連携協力体制を作ることが必要。 →普段から「公民館運営審議会」の場で、各団体が行事予定や行事への協力依頼など、情報交換や連携をしている。</li> <li>◆小学校が隅にあるので、高齢者にバスを出すという目標が実現できないている。 →現実的に難しいので、今後別の方法を考えていく。</li> </ul>
連絡先	金沢市金石町公民館 ☎076-267-2774



金石の伝承芸能



餅つき

## 活動のポイント

## 小学校のふるさと教育と地域づくり活動がマッチング

実施主体	七尾市能登島公民館 能登島地域づくり協議会 七尾市立能登島小学校
学校規模	七尾市立能登島小学校（116人）
活動期日	平成28年8月26日
活動場所	能登島小学校 1F 食堂
参加者	能登島小学校4～6年生、地域づくり協議会委員
連携団体	能登島公民館 能登島地域づくり協議会 能登島小学校
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校のふるさと学習の充実を図る。</li> <li>・地域の将来ビジョンについて、島の未来を担う子供たちにも考えてもらい、地域づくり活動に反映させていくことを目的とする。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	ふるさと学習を大切にしている学校側の思いと、子供たちがこの地域に住み続けたいと思ってくれるような取組を行いたいという公民館側の思いとが、合致した。
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○能登島小学校5年生、6年生が小グループに分かれ、地域課題を解決するために「能登島でやりたいこと、能登島にあつらいと思うもの」についてまとめ、夏休みのサマースクールの時間を使って発表した。</li> <li>○地域づくり協議会から役員である会長、部会長（＝各種団体長）、委員（＝地域での実践活動者など）が出席し、講評を行った。</li> <li>○来年の参加者となる4年生も後ろの席でオブザーバーとして参加した。</li> </ul>
よかった点・参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇子供たちの「能登島大好き!!」の思いが伝わる発表だった。</li> <li>◇子供たちの地域に対する課題意識と解決方法が新鮮だった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①課題：空き家増 → 解決方法：古民家カフェ</li> <li>②課題：人口減少 → 解決方法：告白大作戦！</li> </ul> </li> </ul>
改善したらよい点・苦労した点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小学生の意見を聞いた地域が、聞きっぱなしにせず、この案をどう実現させていくかが課題。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→29年度も引き続き開催予定で、秋のイベント時に実現させる予定である。</li> </ul> </li> <li>◆小学校教員の負担にならないよう、地域として事前準備段階でもっと関わっていくことが必要。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→29年度は学校の要望に応じて、子供たちに地域課題を提示したり、発表準備を放課後に地域主導で実施したりするなど、役割分担を明確にして取り組んでいる。</li> </ul> </li> </ul>
連絡先	七尾市能登島公民館 ☎0767-84-1110



地域づくり協議会役員の前で発表



自分たちの思いを発表

## 活動のポイント

## 地域が企画・実施する子供の体験合宿

実施主体	輪島市内18公民館（各公民館が実施）
学校規模	河井小学校（236人）、鳳至小学校（281人）、鶴巣小学校（18人）、大屋小学校（131人）、三井小学校（22人）、河原田小学校（45人）、南志見小学校（16人）、町野小学校（38人）、門前東小学校（73人）、門前西小学校（34人）
活動期日	毎年、5月、6月、7月、9月のうちで、3泊4日または2泊3日
活動場所	公民館
参加者	主に公民館対象区域内の小学生
連携団体	地区婦人会、地区区長会、小学校、PTA
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年の違う子供たちが、公民館で寝食をともにし、通学することで子供たちの自主性や協調性を高め、また親と離れることで、日頃の親子関係を見直す機会づくりにもなる。</li> <li>・地域の団体やボランティアが協力することで地域と子供のつながりを再構築する。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	輪島市で、子供の自主性を育み、地域と子供のつながりを再構築する事業を新たに考える中で、河北郡七塚町の公民館事業を参考に、平成14年6月に市内4館で実施した。
活動の概要	<p>○公民館に宿泊し、学校に通学する。放課後は公民館に戻り、放課後及び夜の時間を利用した様々な学習活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権や男女共同参画の学習</li> <li>・みんなで宿題・勉強会</li> <li>・避難訓練</li> <li>・エコボードで部屋作り、宿泊</li> <li>・ホタルの観察会</li> <li>・星空観察会</li> <li>・和紙作り</li> <li>・昔ばなしの会</li> <li>・トランポリンやニュースポーツ など</li> </ul>
よかった点・参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇子供、地域のボランティアや学校の先生、公民館職員が楽しそうに活動を行っていることから、子供と学校・地域を結びつける重要な事業になっている。</li> <li>◇地域のボランティアとの交流や郷土学習を通して、地域を知ることになり、地域の活性化や郷土愛の定着につながっている。</li> </ul>
改善したらよい点・苦労した点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域の各種団体やボランティアの高齢化が進行し、協力者の確保が難しい。 →小さなことでも活動自体が楽しいと思ってもらい、事業の協力者を増やす。</li> <li>◆内容のマンネリ化 →他公民館との情報交換を行い、他の公民館の取り組みを参考に内容を検討する。</li> <li>◆子供たちが自主的に活動する部分が少なく、公民館主事やボランティアの負担が大きい。 →子供たちも単なる参加者ではなく、自分たちで準備することも考えていく。</li> </ul>
連絡先	輪島市教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 0768-23-1176



エコボードで部屋作り



男女共同参画の紙芝居

## 活動のポイント

## コミュニケーションを深める知的書評合戦

実施主体	白山市立松任中学校PTA、生徒会ほか
学校規模	白山市立松任中学校（781人）
活動期日	年間を通して2～3回 放課後の時間帯
活動場所	松任中学校図書館等
参加者	松任中学校 在校生、卒業生、保護者、教職員ほか 毎回60人程
連携団体	中学校、PTA等
活動のねらい	・書籍紹介コミュニケーションゲームであるビブリオバトルを、松任中学校では、生徒だけではなくPTAの保護者も一緒になって実施している。中学生同士、あるいは中学生と保護者がコミュニケーションをより深めていくために、ビブリオバトルを通して、交流を深め、人と人とのつながりを活性化させる一助とする。
活動を始めたきっかけ	PTAが、保護者と生徒が、本を紹介し合いながら、互いの思いや考えを伝え合う機会にしたいと考え、始めた。
活動の概要	○年に2～3回、生徒と保護者が一緒になって開催する。 通常、生徒3人、保護者2人が1回の活動で書籍を紹介している。 観戦者は在校生、保護者、教職員のほか、卒業生や他校の生徒、教職員、図書館職員等も加わり、毎回60～70人程度になっている。 ○この活動を参考にして、中学校の図書委員会主催で生徒だけのビブリオバトルの開催や、市立図書館主催の中学生大会の開催など、活動が広がりを見せている。
よかった点・参加者の感想など	◇ビブリオバトルを通して、生徒と保護者の交流、生徒同士の交流が生まれてきている。 ◇生徒からは、「どれもおもしろそうで読みたくなる!」「自分もいろいろな本を読んで、紹介したい!」、保護者からは、「生徒さんが伝えたいことがしっかり伝わってきました!」「大人と子供が同じ目線でバトル出来て素晴らしい!」といった感想が毎回寄せられている。
改善したらよい点・苦勞した点など	◆「ビブリオバトル」を見たことがない生徒がほとんどのため、周知する必要がある。 →PTA役員が、デモンストレーションを行うなど、広める工夫をしている。 生徒が自主的に実施する動きもあるため、学校にも全面的に協力してくれるようPTAから依頼している。
連絡先	白山市教育委員会事務局生涯学習課 ☎076-274-9572



本を紹介する保護者



保護者と生徒の会話

## 活動のポイント

## 「じわもん」を知ろう 学校、PTA、地域の連携で食育推進

実施主体	白山市立松南小学校、白山市立松南小学校 PTA
学校規模	白山市立松南小学校（375人）
活動期日	平成28年11月6日
活動場所	松南小学校 各教室、及び体育館
参加者	松南小学校の児童と保護者、地域住民 約800人
連携団体	学校、PTA、地域の生産者、市役所地産地消課の職員、松任お話し会の会
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、家庭、生産農家や関係機関等と連携を図ることで、地域の特色である農産物を学び、食育の可能性を広げることができる。</li> <li>・自分たちが開発した地域の食材を使った献立を発信し食べてもらうことで、地域を誇りに思い、地域の食文化を継承していく担い手となることができる。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	平成26年度に文科省から「スーパー食育スクール事業」の指定を受け、学校、PTA、地域が連携して食育に取り組むこととなった。
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○低学年では、生活科で作ったピーマンやトマトをピザやクッキーにして食べた経験を活かし、食べ物の絵本の読み聞かせをしてもらった。また、生産者さんからの「不思議な野菜クイズ」授業では野菜への興味がさらにわいてきた。</li> <li>○中学年では、梨農家や市役所地産地消課の職員から白山市の特産品やその生産にまつわる気候風土、歴史などを学んだ。白山市のじわもんがなぜこの地域に生産するのかを理解した</li> <li>○5年生は、学校農園での稲作づくりを体験し収穫するまでの様子を発表し、餅つきをして収穫の喜びを味わった。自分の体を通すことで農家の人の苦勞も感じることができた。</li> <li>○6年生は、家庭科で学んだ調理を活かし、地元の農林水産物（白山市のじわもん）を食材とした献立白山ジオレシピを考案し、発表した。その活動を通して地域の食材に誇りをもち、ふるさとの食として守り育てていこうという思いを伝えることができた。</li> </ul>
よかった点・参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇子供たちの学習発表により、保護者自身も地域の食材について知ることができた。</li> <li>◇6年生の白山ジオレシピを実際に家で作った保護者もいて、学校の食育の取組が家庭に次第に広がっていることがわかる。</li> <li>◇各種団体やPTAがかかわることで、子供たちの学びの意欲の向上に繋がり内容がより深まる。特に生産者さんとのかかわりを持つことで、野菜に関する知識と農産物に対する深い愛情を学ぶことができた。</li> </ul>
改善したらよい点・苦勞した点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆食育の最終目標である、自分で食を選ぶ力、自己管理能力をつけることにどうつなげていくか。</li> <li>→食育は地域、保護者と連携してこそ定着すると考えられるので、PTAがどの部分を担うのか、保護者の出場をどのように作っていくのかを考えていく。</li> </ul>
連絡先	白山市立松南小学校 PTA ☎ 076-276-1264



「じわもん」についての学習



「じわもん」を使った「白山ジオレシピ」

## 活動のポイント

## 家庭・学校・地域が連携して元気な「あがたっ子」を育てる

実施主体	津幡町立英田小学校PTA
学校規模	津幡町立英田小学校（221人）
活動期日	平成27年度～
活動場所	英田小学校校区
参加者	英田小学校PTA、及び地域の方々
連携団体	津幡町PTA連合会
活動のねらい	・子供たちが基本的な生活習慣を身につけ、朝から元気なあいさつを交わせる子、家庭学習にもしっかりと取り組める子になってほしいという願いが込められている。
活動を始めたきっかけ	地区別の事例発表をすることになったため、学校の問題点について考えたところ「生活習慣の改善・あいさつ・家庭学習」について取り組もうということになり、PTAが発案した。
活動の概要	<p>早寝・早起き・朝ご飯、あいさつ、家庭学習について、アンケートを実施して実態を把握したうえで、実践活動に取り組んでいる。</p> <p>○「夏休み早寝チャレンジ」と銘打って、就寝時刻を低学年は21時30分まで、高学年は22時までとして早寝に取り組む。</p> <p>○給食栄養士の先生に、朝ご飯の効果や朝ご飯レシピについて紹介していただく。</p> <p>○あいさつについては、登下校時の見守り活動のときにあいさつ運動を実施。校内では先生からあいさつの指導を行うほか、あいさつの標語を貼り、児童に意識させている。</p> <p>○家庭学習については、毎月10日を「ノートの日」とし、保護者が子供のノートを見てコメントを書く。</p>
よかった点・参加者の感想など	<p>◇学校も保護者も目指す方向を明確にして取り組み、様々な成果が得られた。取り組みについて地域全体で学び合えたことは大変よかった。</p> <p>◇早寝チャレンジや朝ご飯のレシピ紹介については参加者の意識付けに効果があった。朝ご飯レシピ紹介では「朝ご飯による脳の働きの変化に驚いた」といった声があった。</p> <p>◇あいさつ運動では、見守り隊の感想として「少しずつだが子供たちからあいさつをしてくれた」というものがあり、子供たちの中に「自分たちからあいさつをしよう」という思いが高まっていると考えられる。</p> <p>◇家庭学習について、保護者が子供たちの学習の様子を知るよい機会となっている。</p>
改善したらよい点・苦勞した点など	<p>◆事例発表がきっかけの取り組みであるため、発表が終わったことで参加者のやる気が低下する可能性がある。</p> <p>→今後も継続していくことが重要であると、参加者に呼びかけていく。</p>
連絡先	津幡町立英田小学校 ☎076-288-8533



学校の玄関前であいさつ



構内に貼られたあいさつの標語



## 活動のポイント

## 子供と地域の人たちが集う場所をみんなで守ろう

実施主体	内灘町立清湖小学校PTA
学校規模	内灘町立清湖小学校(301人)
活動期日	平成27年9月～現在
活動場所	清湖小学校運動場
参加者	清湖小学校児童、保護者、地区住民、運動場使用団体
連携団体	学校、各地区町会、運動場使用団体
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちの外遊びが減り、家の中でゲーム機による一人遊びが多くなっている中、子供達が外を駆け回り、子供同士や地域の人たちがコミュニケーションを図る場づくりを目的とした。</li> <li>・芝生化は、子供たちの体力向上や周辺地域への砂埃の抑制といった狙いもある。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	校庭の芝生化は、町の教育委員会の方針である。水まきのボランティアについては、行政・学校・PTA・町会の代表が集まる会議で、町の教育委員会が、PTAと町会に提案したものである。
活動の概要	<p>○学校運動場の芝生化に伴い、平成27年6月に地域の方々や多くの保護者、児童、教職員が参加し、3万2千株の芝苗を植えた。(450名の参加)</p> <p>○水はけのよい土地柄、芝生を維持するためにはこまめな水まきが欠かせない。PTAや各町会が連携して、ボランティアとして平日や休日の水まきを実施している。各町会では平日の早朝に、PTAは休日の朝に水まきを実施している。さらに、運動場を使用するスポーツ団体が中心となり、週に一度の芝生刈、また肥料まきや冬芝の種まきなども毎年行っている。</p>
よかった点・参加者の感想など	<p>◇児童だけでなく、親子連れやお年寄りの散歩コースになっていたりと、地域住民も積極的に利用している。</p> <p>◇学校では、休み時間の運動場の利用率が上がった。また、運動場でケガをする児童の数も大幅に減少している。「芝生は転んでも痛くないからいい。」「寝転がって遊べるからうれしい。」「裸足になっても痛くないからいい。」などの感想が寄せられている。</p>
改善したらよい点・苦勞した点など	<p>◆水はけがよい土地であるため、特に夏場の水まきが大変である。水まきのボランティアの参加人数を増やす活動が必要である。(水まきは夏場は2日に1回、肥料やりは月に1回、芝刈りは週に1回)</p> <p>→町会の回覧板やPTA会報などで、年間を通してボランティア活動への参加を呼びかけることを強化していきたい。</p>
連絡先	内灘町立清湖小学校 ☎076-237-9911



芝生の運動場で元気に遊ぶ子供たち



水まきの様子

## 活動のポイント

## 中学生が地域貢献、親子で取り組むボランティア活動

実施主体	かほく市立河北台中学校 P T A 河北台中学校 学校運営協議会
学校規模	かほく市立河北台中学校 (334人)
活動期日	平成29年 2月4日(日)
活動場所	河北台中学校区内の7公民館
参加者	生徒、教職員、学校コーディネーター、町会区の区長など
連携団体	P T A、河北台中学校 学校運営協議会、校区内の町会区、公民館
活動のねらい	・町会区と連携して、生徒が地元公民館の清掃などを行うことにより、地域の一員としての自覚を促すとともに、地域の大人が中学生に関わることを通じて、地域全体で次代の担い手を育てることを目指す。
活動を始めたきっかけ	以前から、冬季降雪時には、生徒が独居老人宅の除雪を行っていたが、さらに中学校と地域が連携し地域に貢献する活動ができないかと考え、P T Aが中心となり取組を始めた。
活動の概要	○町会区と連携し、生徒と保護者が校区内7箇所の公民館の清掃を実施。 ○生徒の出身地区ごとにグループ分けし、出身地区の公民館で、町会区長や公民館長の指導のもと、保護者と一緒に、モップ掛けやガラス拭きなど1時間程度の作業を実施。 ○その他、冬季降雪時には、町会区等と連携して、生徒が独居老人宅の除雪を実施。
よかった点・参加者の感想など	◇保護者が生徒たちに掃除の仕方を指導することで、手際よく活動する姿が見られた。 ◇中学生からは「自分の地域の施設を掃除するのは当然。ぜひまたやりたい。」との頼もしい声も聞かれ、地域の施設を大切にしようとする姿勢が見られた。 ◇町会区長や公民館長からもたいへん助かったとの言葉や、子供たちに地域や公民館を知ってもらいたい機会になったとの声も聞かれた。
改善したらよい点・苦勞した点など	◆町会区、公民館のほか、広く地域の方々に声をかけ、参加してもらえるように工夫したい。また、この活動のほかにも、元気な中学生の様子を地域にP Rしたい。 →ちらし、回覧板、おたよりなどを使い、地域に広報し、周知・P Rを図る。
連絡先	かほく市立河北台中学校 ☎ 076-285-0262



公民館の窓ふき



親子で公民館清掃

## 活動のポイント

# 集団生活を通して子供の自主性・協調性を育む

実施主体	能登町立松波小学校PTA
学校規模	能登町立松波小学校（103人）
活動期日	平成29年9月28日（木）～9月30日（土）の2泊3日
活動場所	能登少年自然の家
参加者	松波小学校児童53名及び保護者約40名
連携団体	松波小学校
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビやゲームのない生活をする中で、自分達の力で生活する体験を子供にさせる。</li> <li>・集団生活や縦割り班活動によって協力し合うことで、互いに思いやる心を持たせる。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	子供部屋にテレビが入るようになって崩れてしまった生活リズムを取り戻すために、学校が始めた。また、共同生活の中でコミュニケーションを学ぶ機会にもなると考えた。
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校前広場に集合し、集団下校で自然の家に移動する。</li> <li>○「自然の家」を家庭として、入浴・学習・ベッドメイキングなどを、ボランティアの保護者の支援を受けながら子供たち自身で行う。</li> <li>○学校へは、自然の家から登校する。</li> </ul>
よかった点・参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇子供が、リーダーシップや協力し合うことを学べて、頼もしくなって帰ってきたように感じられるし、何よりも、子供自身がとても楽しかったと大満足だったことがよかったという意見が保護者から出ていた。</li> <li>◇子供たちにとっても、リーダーの役割の大変さなどを実感することができてよい経験になっている。</li> </ul>
改善したらよい点・苦勞した点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆実施までに3回ほど事前打ち合わせをしていたが、2回に減らし効率化を図る。</li> <li>◆支援スタッフ（保護者）の各時間帯での役割分担を明確にする。また、引継ぎの仕方を周知徹底する。</li> <li>◆保健事前調査の個人情報をごとまで支援スタッフに伝え、共通理解するかが毎年の課題。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→子供の安全のためにスタッフ全員に伝えることを、該当の保護者に理解してもらえよう徹底する。</li> </ul> </li> <li>◆教員は事務的な書類・資料の準備、保護者は夜間も含め児童への指導に苦勞する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→児童への教育効果を周知して、理解を得られるようにする。</li> </ul> </li> </ul>
連絡先	能登町立松波小学校 ☎ 0768-72-0051



自然の家で勉強する



掃除も子供たちが行う

## 活動のポイント

## 学校や放課後児童クラブとの細やかな連携

実施主体	すずかけ塾（動橋地区ボランティア団体）
学校規模	加賀市立動橋小学校（211人）
活動期日	年間
活動場所	小学校等
参加者	小学校1～6年 1回あたり平均21人
連携団体	放課後児童クラブ
活動のねらい	・「すずかけ塾」で宿題を行う児童を、地域から募集したボランティアの先生が見守り、指導（家庭教育の補完）を行う。平日放課後毎日実施することで児童の学習習慣を定着させ基礎学力の向上をめざす。
活動を始めたきっかけ	当時、地区の中学校において生徒の問題行動が目立っていたが、その原因は中学校の授業についていけないことにあると思えた。そこで、小学校低学年時に学習習慣を定着させることに取り組もうと考えた。
活動の概要	○平日は、学童クラブに行く前に、すずかけ塾で宿題をしてから行き、夏休みは、学童クラブからすずかけ塾に参加し、終了後は学童クラブに戻る。 ○学校の全面的な協力を得て、平日放課後（夏休み期間中以外）は、空き教室にて開催。夏休み期間中は冷暖房設備の完備した地区会館で平日20日間程度開催。
よかった点・参加者の感想など	◇ボランティア会議にて注意すべき事や意見を出し合い取り組むことで、よりよい活動になっている。 ◇担任の先生とボランティアの先生との意見交換の実施、下校時間の変更、行事等での日程変更・集団下校等の連絡など、学校との連携を密にすることで、活動が円滑に行われている。
改善したらよい点・苦労した点など	◆ボランティアの先生の確保。 →チラシや広報誌での募集及び関係団体等知り合いへの声かけを行う。 ◆特別な支援が必要な児童への対応。 →児童の様子等の情報交換を密にし、共通した指導を心がける。
連絡先	動橋地区まちづくり推進協議会 ☎0761-74-1529



2・3年生の学習の様子



ボランティアの会議

## 活動のポイント

## 読み聞かせを通じた地域と学校の連携

実施主体	小松市立今江小学校図書ボランティアお話ポッケ
学校規模	小松市立今江小学校（323人）
活動期日	年間
活動場所	小学校各教室、しろやま会館（今江公民館）
参加者	今江小学校児童
連携団体	学校、PTA、婦人会、公民館
活動のねらい	・学校、各種団体が連携して、我が町の大切な子供たちに読書を通して、感性豊かで笑顔いっぱいの子供たちを育てたい。
活動を始めたきっかけ	従来は各自で行っていた、PTAの「七夕とクリスマス会の読み聞かせ」と図書ボランティアお話ポッケの「朝の読み聞かせ」を、連携・協力して行っていく。
活動の概要	○毎月「小松市民読書の日」を中心に、お話ポッケのメンバー17名が交代で、1年～6年全クラスに入り、朝の読み聞かせを行っている。（内容）語り、絵本、紙芝居など。 ○7月（七夕）、12月（クリスマス）は、しろやま会館においてお話会を開催。PTAがクイズで盛り上げ、公民館の方が切ってきた笹に親子で願い事を書き、短冊を飾る。
よかった点・参加者の感想など	◇低・中学年の子供たちは目を輝かせ、お話を夢中になって聞いている。 ◇高学年の図書委員は、図書ボランティアの方の読み聞かせの仕方を参考に自分たちで工夫をして、低・中学年の子供たちに読み聞かせをしている。
改善したらよい点・苦勞した点など	◆ボランティアの中には、子供が卒業と同時に活動を止める方もいる。人のやりくりに苦勞する。 → 入学説明会や育友会総会で、地道に声掛けをし、ボランティア参加を募る。 PTAだけでなく、祖父母の立場で参加してくださる方も出てきた。
連絡先	小松市校下女性協議会 ☎ 090-1636-8820



PTAによるクイズ



お話ポッケによる読み聞かせ

## 活動のポイント

## 雑木林に集う子供たち 自由に遊ぶ自然活動

実施主体	白山麓ぶなもり自然塾
学校規模	白山市立白嶺小学校（43人）
活動期日	平日放課後、週末
活動場所	白嶺小学校裏の雑木林ほか
参加者	市内小学生とその家族 毎回10～20人
連携団体	小学校、地域住民等
活動のねらい	・地域に広がる自然の中での子供たち自らの発想による遊びをねらいとしている。大人がきっかけを作り、子供が考えて遊ぶという姿勢により、子供たちは自由な発想で遊びを作り出し、主体的に活動に取り組んでいる。
活動を始めたきっかけ	地元の人たちが、小学校のすぐ近くの雑木林を子供たちが集う場所にしたいと考えた。
活動の概要	○小学校のすぐ近くにある雑木林に、子供と大人と一緒に、ツリーハウスを作った。 ○ツリーハウスを基地にして定期的に遊ぶ空間や時間を確保するため、住民による「白山麓ぶなもり自然塾」を結成し、毎週水曜日の放課後及び週末に月1・2回程度、子供たちと地元の人たちとが関わりながら自由に遊ぶ活動を展開している。 ○主な活動として昆虫採集や木の実集め、木の家作りなどが挙げられる。これらの活動を通して、季節の移り変わりを敏感に感じ取っている様子である。また、週末の活動ではフィールドを拡大しホテルやギフチョウ、アサギマダラなど地域に棲む生き物の観察などを行っている。
よかった点・参加者の感想など	◇子供たちが自分で考えて活動に取り組むように仕向けていることから、子供たちに自主性や主体性が生まれてきている。 ◇異学年の友だちと遊ぶことにより、社会性や道徳性も育まれている。 ◇地元の自然に触れる活動を通して、子供から親や他の友だちにその良さが伝えられ、参加している子供自身だけではなくその家族もこのフィールドを訪れるようになり、多くの人が地元の自然に愛着を持つようになってきている。
改善したらよい点・苦労した点など	◆地域の子供が少なくなってきていることから、高学年から低学年へ「遊びのノウハウ」が伝わりにくくなってきている。 ◆地域全体で子供を見守る雰囲気やさらに醸成していくことが求められる。 →関わる地域の大人と子供たちが接する機会を増やす。
連絡先	白山市教育委員会事務局生涯学習課 ☎076-274-9572



雑木林で遊ぶ子供たち



焼き上がるのを待つ子供たち

## 活動のポイント

## 子供たちの主体性を大切にした交流活動

実施主体	たくましい白山っ子を育てる会
学校規模	市内全域
活動期日	平成29年10月15日
活動場所	白山市鶴来総合文化会館クレイン
参加者	地域住民
連携団体	高校、中学校、小学校、市子ども会連合会、児童館、青少年ボランティアグループ、商工会ほか
活動のねらい	・子供が主体となって運営や発表を行う「まつり」を施設を貸し切って実施し、子供たちの元気な姿を見せ、交流を深めることを目的とする。
活動を始めたきっかけ	町民会議（たくましい鶴来っ子を育てる会議）において、子供たち主体の活動を企画したいと考えた。
活動の概要	たくましい白山っ子まつり ○おまつりホール（H29・出演13団体） 幼児、小学生、中学生、高校生による発表 ○おまつりヨコチョウ（H29・参加8団体） お茶席、作品展示、作って遊ぼう体験コーナー、館内クイズラリー ほか ○おまつりイチバ（H29・参加6店舗、1館） あきんど道場ほか 屋台、雑誌リサイクル市
よかった点・参加者の感想など	◇「人前で発表できたことが嬉しい」「自分たちで作ったものを売ることができて、楽しさもわかった」など、子供自身が主体的に関われたことによる感想が多い。
改善したらよい点・苦労した点など	◆白山市の鶴来地域で開催していたものを平成27年度から少しずつ白山市全域に対象を広げている。そのため、他地域からの参加者は増えているが、出演団体はなかなか増えない状況である。しかし、会場や時間などの関係で改善策はなかなか見つからない。
連絡先	白山市教育委員会事務局生涯学習課 ☎076-274-9572



ステージ発表



お店の準備

## 活動のポイント

## 子供たちが受け継ぐ地域の食文化

実施主体	四十万校下婦人会
学校規模	金沢市立四十万小学校（506人）
活動期日	平成28年10月11日（火）
活動場所	四十万小学校
参加者	四十万小学校五年生79人 保護者51人 婦人会会員12名 計142人
連携団体	四十万小学校（五年生）
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋祭りに行事食として各家庭で作られ食されていた郷土食である笹寿司を、地域の伝承の授業の一環として実施。</li> <li>・地域の婦人会が伝承の一環を担うという事で、数年前から親子教室として実施。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	学校側が、地域の伝承についての授業をやりたいということで婦人会に呼びかけて始まった。
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○笹は、金沢市内でその年の6月に採取し、冷凍保存したものを使用する。</li> <li>○婦人会の方の指導を受けながら、親子で笹寿司づくりに取り組む。</li> <li>○婦人会の方は、笹寿司作りに必要な専用器具がなくともつくれる方法についてのアドバイスをしてくれる。</li> </ul>
よかった点・参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇難しいと考えられていた笹寿司が工夫次第で簡単に作ることができると分かり、「家庭でも作ってみたい」という声が多数あった。</li> <li>◇地域の伝統食であったことや、地元の笹を利用した地産地消であったという認識が深まった。</li> </ul>
改善したらよい点・苦労した点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆参加者が笹の採取と冷凍保存ができれば、地域の山の様子や特性が理解できるし、昔の人の苦勞や食する幸せを感じることができるようになる。しかし、学校側の負担が大きく実現できていない。</li> <li>→よい活動であれば負担とは感じないと思うので、この活動の意義（地域の文化の伝承、食育など）をもっと理解してもらえるように広報をしていきたい。</li> </ul>
連絡先	石川県婦人団体協議会 ☎ 076-298-6435



笹寿司の作り方の説明を受ける



親子で笹寿司をつくる



## 活動のポイント

## 子供の安全を地域で守っていこう

実施主体	花園地域組織活動育成クラブ（母親クラブ）
学校規模	金沢市立花園小学校（152人）
活動期日	平成27年6月27日
活動場所	花園小学校周辺の通学路
参加者	花園小学校児童・小学校教諭・母親クラブ会員・育友会員
連携団体	花園児童館、花園小学校育友会、見守り隊
活動のねらい	・親や教員など通学路にかかわる人々が、地域団体とのつながりを深め、一緒に安全確認をする。
活動を始めたきっかけ	児童館と母親クラブが行っていた企画だが、子供たちへの安全指導のため学校側も危険箇所等を把握することが有効だと考え、参加することになった。
活動の概要	○児童館に集合して、交通安全に関する紙芝居を見る。 ○いくつかの方面別の班に分かれて、保護者・見守り隊の方と一緒に、学校から集団登校の集合場所までの道のりの安全点検をする。 ○児童館に戻り、危険箇所を記した安全マップを作成し、危ない場所を親子で確認する。 ○完成したマップは児童館に掲示する。
よかった点・参加者の感想など	◇子供にしか見えない部分や、大人にしか分からない危険な場所を確認できて、心配が減った。 ◇危険箇所を実際に目で見て確認できたこと、大人と子供で危険箇所を共有できたため、気をつけようという意識が強くなったことがよかった。 ◇見守り隊の方々にも感謝できた。
改善したらよい点・苦勞した点など	◆低学年は必ず保護者同伴として土曜日に開催したが、休日でも仕事をしている保護者がいるのでやはり参加者は減ってしまった。 →作成したものを家に持ち帰ることができるようなイベントだと参加者が多い傾向があるので、作成したマップを各自が持ち帰ることを検討したい。
連絡先	花園児童館 ☎ 076-258-0028



危険な場所をみんなで確認



安全マップをつくる

## 活動のポイント

## 共同生活によって、自律心や周りの人たちへの感謝の思いを育む

実施主体	羽咋市子供会育成会
学校規模	羽咋市内6小学校（羽咋小 398人、粟ノ保小 68人、西北台小 87人、邑知小 140人、余喜小 55人、瑞穂小 144人）、2中学校（羽咋中 399人、邑知中 105人）
活動期日	平成29年9月24日（日）～30日（土）
活動場所	曹洞宗 永光寺
参加者	市内小学校4年生から中学校3年生までの児童・生徒（11名参加）
連携団体	羽咋市教育委員会、小中学校、PTA、羽咋市青年団協議会、食生活改善推進員
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同生活・集団生活を通して、子供たちの自律心を養うとともに、生活習慣、協調性・責任感・社会性を身に付ける。</li> <li>・地域の大人が協力することにより、人と人とのつながりを強め、地域全体で子供を育む意識を高める。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	羽咋市教育委員会生涯学習課が、「学社融合」を図るため、学校教育と社会教育が一体となって子供を育む活動に取り組むたいと考え、平成10年度から実施している。
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学生が6泊7日にわたり、家庭から離れ、永光寺を宿泊場所として、共同生活しながら通学する。</li> <li>○合宿中では、子供たちが協力しながら生活するとともに、座禅・写経の体験、青年団とのきもだめし体験なども行い、地域の方々とも交流する。</li> </ul>
よかった点・参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇参加した子供たちの感想には、普段と違う生活をすることによって、改めて家族の大切さ、恵まれた環境のありがたさを感じたものが多かった。その他、各々が何かを感じ、学び、成長したことがわかる言葉を残してくれた。</li> <li>◇家庭における生活とは違う不便さ（テレビやゲームがない、食事の準備や洗濯は自分たちでするなど）により、子供たちの絆が一層深まり、子供たちの自主性や協調性などを育むことができた。</li> </ul>
改善したらよい点・苦労した点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆合宿生活を支えるため連携団体や育成会役員の協力が欠かせないが、平日であり宿泊も伴うため負担も多く、人材確保に苦慮する。 →日程を調整するなど、できるだけ参加協力しやすい体制づくりを図る。</li> <li>◆登下校の送迎や時間帯の調整等の配慮が必要な場合がある。 →市内全域から参加するため、登校時には市のマイクロバスで各校へ送っている。下校時は原則として路線バスや徒歩であるが、学校行事で遅れる事もあるため、学校へ迎えに行くこともある。</li> </ul>
連絡先	羽咋市教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 0767-22-9331



食事の準備



座禅体験

## 活動のポイント

## お年寄りとふれあい、地域に愛される保育所を目指す

実施主体	千里浜町老人会・千里浜地域活動クラブ
学校規模	千里浜保育所（80人）
活動期日	平成29年5月10日
活動場所	千里浜保育所広場
参加者	千里浜保育所年長児童・千里浜町老人会・保護者会 約30名
連携団体	地区老人会・保護者会
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さつまいもに興味・関心を持つ。さつまいもの植え方を知る。</li> <li>・千里浜町老人会の方々との交流、親睦を深める。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	地域密着型の保育所ということで、保育所より地域との交流を深めようと千里浜老人会に声かけをして始まった。
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育所がさつまいもの苗を準備して、畑の土づくり・畝づくりは老人会の方で、畑をやっている方が行う。</li> <li>○老人会の方と園児と一緒に苗植えを行い、さつまいもが実るまでは、園児が中心になって水やりを行う。</li> <li>○さつまいもが実ったら、老人会の方と一緒に収穫を行い、園児手作りのさつまいもスイーツをたべてもらう「ありがとう会」を開くなどして、交流を深めている。</li> </ul>
よかった点・参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇交流の場を持つことで、地域の方に千里浜保育所のことを知っていただく機会になった。</li> <li>◇地域の方々との交流を通して「地域の方に愛されている」ということを園児達を知るよい機会だと思ふ。</li> </ul>
改善したらよい点・苦労した点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆老人会との日程調整が難しい。保育所と老人会それぞれに行事があり、双方が都合のよい日程を組むのに苦労する。</li> <li>→年間行事としてあらかじめ日程が分かる行事もあるので、老人会側と話し合いを重ねてうまく調整していきたい。</li> </ul>
連絡先	千里浜保育所 ☎0767-22-0764



老人会の方と苗を植える



手作りスイーツをごちそうする「ありがとう会」

## 活動のポイント

## 地域の人との交流を通じて育む郷土愛

実施主体	直婦人会、直長生会
学校規模	珠洲市立直小学校（67人）
活動期日	1月下旬から2月上旬
活動場所	直公民館
参加者	直小学校の4年生（豆腐づくり）、1・2年生（昔遊び）
連携団体	直公民館
活動のねらい	<p>〈4年生〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農場体験で収穫した大浜大豆を使って、豆腐作りを体験するなど、地域の特産品について学習することを通して、地域の良さや先人の知恵と苦労に気づき、自分たちの地域に誇りと愛着の心を持つ。</li> </ul> <p>〈1・2年生〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔遊びを教えていただきながら、お年寄りとの温かな交流を図る。</li> <li>・冬の自然を生かした遊びや昔からの遊びを楽しむことを通して、身近な冬の様子に気付くとともに、自分の生活も見直し、工夫して楽しく生活することができるようにする。</li> <li>・身の回りにある材料を利用して、みんなと協力しながら簡単な仕組みで動くおもちゃを工夫して作り、その面白さや見えない力の不思議に気付くことができるようにする。</li> </ul>
活動を始めたきっかけ	学校が、地域の方々に指導していただき学習の充実を図るとともに、地域の方々との交流を深める機会として、この活動を始めた。
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大浜大豆を使い、豆腐づくり体験を行う。</li> <li>○コマや竹とんぼなどの昔遊びを通じて、お年寄りと交流を図る。</li> </ul>
よかった点・参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域の特産品である大浜大豆から、豆腐を作ることで、先人の豆腐にして食すという知恵を実感することができた。</li> <li>◇子供たちが老人会の皆様に温かく指導していただき、楽しく学習する機会となった。</li> </ul>
改善したらよい点・苦労した点など	<p>〈4年生〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆学習課題に対して児童がより主体的に追究していくように工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→課題追究の過程で、児童に考えさせたり、調べたりさせる場を工夫する。</li> </ul> </li> </ul> <p>〈1・2年生〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆お年寄りと交流する機会を増やし、知恵や工夫を学ぶ機会を増やす。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→学校行事や公民館行事と関連させて、お年寄りと関わる機会をつくる。</li> </ul> </li> </ul>
連絡先	珠洲市立直小学校 ☎ 0768-82-0313



自分達で栽培した大浜大豆での豆腐作り



地域の方々に昔遊びの指導を受ける児童

## 041

## 青少年健全育成大会

実施主体	小松市教育委員会事務局青少年育成課		
活動期日	平成29年 2月11日	活動場所	こまつ芸術劇場うらら 大ホール
参加者	小・中・高校生、保護者、学校関係者、青少年健全育成推進団体、協賛団体関係者（約800人）		
連携団体	小松市立小・中・高等学校、青少年健全育成推進団体、協賛団体（139団体）		
活動のねらい	<p>（子 供）思いやりの心や規範意識・社会貢献意欲の育成          （保護者）青少年の健全育成に関する問題意識の共有と家庭の教育力の向上          （地 域）学校・家庭・地域の連携強化とボランティア活動の機運の醸成</p>		
活動の概要	<p>○青少年の健全育成に関する各表彰式の実施          ・スマイルハート賞…子供たちが主体的に取り組む善行を表彰          ・社会教育賞…学校・地域における青少年健全育成等の長年にわたる継続的取組を表彰</p> <p>○大人も子供も参加できる          基調講演の開催</p>		
連絡先	小松市教育委員会事務局青少年育成課 ☎0761-24-8128		



## 042

## 放課後子ども教室

実施主体	放課後子ども教室実行委員会		
活動期日	平成28年6月～平成29年2月	活動場所	市内小学校地域開放スペース、公民館など6箇所
参加者	市内小学1～3年生 計148名		
連携団体	小学校、放課後児童クラブ		
活動のねらい	放課後に子供たちが安心・安全に過ごし、多様な体験・活動を行うことが出来る居場所づくりを行う。		
活動の概要	<p>○放課後の時間等に、市内の6教室で折り紙、工作、体操、クッキング、昔遊びなどの多様な体験活動を実施。</p> <p>○地域の方々には講師となっただくことで、子供たちと地域の方々とのふれあう場ともなる。</p>		
連絡先	野々市市教育委員会事務局生涯学習課 ☎076-227-6117		



## 043

## 金沢子ども週間「絆」フェア

実施主体	金沢市教育委員会事務局生涯学習課		
活動期日	平成28年10月9日	活動場所	キゴ山ふれあい研修センター及び周辺施設
参加者	親子を中心とした一般市民		
連携団体	子供会、婦人団体、ボーイスカウト等の青少年団体		
活動のねらい	金沢子ども条例に基づき、子供と大人のふれあいを通して、子供を育てる役割の大切さを改めて考える。		
活動の概要	<p>○屋内外にて、親子で体験できる各種イベントブースを開設。  (例) ふれあい動物園、いかだあそび、工作体験、たこあげ体験、笹寿しづくり教室、巨大シャボン玉づくり 等</p>  		
連絡先	金沢市教育委員会事務局生涯学習課 ☎076-220-2441		

## 044

## 青少年の国際交流

実施主体	宝達志水町教育委員会事務局生涯学習課		
活動期日	平成28年8月12日～22日 (11日間)	活動場所	オーストラリア連邦 サンシャインコースト市(ヌーサ)
参加者	宝達中学校生徒9名、宝達高等学校生徒1名 計10名		
連携団体	宝達中学校、宝達高等学校、グッドシェパード・ルーゼラン校		
活動のねらい	町の将来を担う青少年を海外に派遣し、外国の人々との親善交流や海外生活などを通して、青少年の国際感覚を養うとともに、国際化に対応できる人材の育成を図る。		
活動の概要	<p>○平成26年度から今回で3回目を迎え、派遣団員10名をオーストラリアのヌーサへ派遣。  ○参加した生徒は、英会話に対する苦手意識をなくし、外国人とのコミュニケーションの取り方を学ぶことができた。また、これまでより積極的に物事に取り組む生徒が増えた。  ○ホストファミリーとメールや手紙などで継続的な交流のきっかけづくりにもなった。</p>  		
連絡先	宝達志水町教育委員会事務局生涯学習課 ☎0767-29-8320		

## 045

## わらべうたの会

実施主体	宝達志水町立図書館		
活動期日	毎月第1水曜日と最終水曜日	活動場所	町内子育て支援センター
参加者	乳幼児とその保護者		
連携団体	子育て支援センター		
活動のねらい	わらべうたやことば遊び等を通して乳幼児の心とことばの発達を促しながら、本の世界へ入る土台作りをする。また、その過程において親子のスキンシップを十分に盛り込み、語りかけや読み聞かせの大切さを保護者へ伝えていく。		
活動の概要	<p>○子育て支援センターへ図書館職員が出向き、乳幼児とその保護者を対象に、パネルシアター、歌、手遊び、読み聞かせ等を実施。</p> <p>○参加型のスタイルで、気軽に、好きな時に参加してもらう。保護者同士のコミュニケーションも見られる。</p>		
連絡先	宝達志水町立図書館 ☎ 0767-29-8350		



## 046

## わいわい元気あそびフェスティバル

実施主体	中能登町教育委員会事務局		
活動期日	平成29年6月18日(日)	活動場所	スポーツセンターろくせい
参加者	児童、保護者		
連携団体	七尾市レクリエーション協会、世界ゆるスポーツ協会、石川県立鹿西高等学校、中能登町スポーツ推進委員		
活動のねらい	遊びやニュースポーツを通じて、親子の触れ合いの機会を設ける。		
活動の概要	<p>○ニュースポーツを仲間や親子でスタンプラリー形式で体験する「わいわいスタンプラリー」、スポーツ弱者を世界からなくすために作られた新しいスポーツの体験「ゆるスポーツ体験」、豆つまみ運び・スリッパとばし・大縄跳びなどを仲間・親子・グループで記録に挑戦する「みんなでチャレンジ」を実施し、スポーツなどを通して、仲間や親子がのふれ合う機会とする。</p>		
連絡先	中能登町教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 0767-76-1900		



## 047

## 図書館ボランティア活動

実施主体	野々市市立図書館		
活動期日	年間を通して	活動場所	図書館、公民館、女性センター等
参加者	野々市市女性協議会会員等		
連携団体	放課後児童クラブ、食生活改善推進員等		
活動のねらい	図書館の活動を援助するとともに、活動を通して地域の子供たちとのつながりを深める。また、各施設において図書館活動の普及を図る。		
活動の概要	<p>○放課後児童クラブなど各施設において、読み聞かせや工作などの活動を実施。</p> <p>○図書館主催の行事・イベントのお手伝いや、各施設の図書整理を実施。</p> <p>○読み聞かせを行うことにより、子供たちに読書に親しみを持ってもらい、各施設の図書の利用が大幅に増えた。</p>		
連絡先	野々市市女性協議会 ☎ 090-3290-6054		



## 048

## 山中漆器で卒業証書入れを作ろう

実施主体	加賀市立河南小学校		
活動期日	平成29年 2月中旬	活動場所	河南小学校 図工室
参加者	河南小学校6年生 山中漆器組合の方 保護者 23名		
連携団体	山中漆器組合		
活動のねらい	毎年6年生は、地域の伝統産業である山中漆器に関する学習を進めている。木地挽体験や工房見学、その最終段階として、山中漆器の蒔絵技術を生かした「卒業証書入れ」を作り、卒業制作の一品としている。地域の伝統産業に触れるとともに、大切な思い出作りとなっている活動である。		
活動の概要	<p>○地域の漆器組合の方、保護者の方で蒔絵に関わっている方の協力・指導で蒔絵を施した「卒業証書入れ」を作成。</p> <p>○デザイン・下絵写し・彩色の工程を体験。</p>		
連絡先	加賀市立河南小学校 ☎ 0761-78-0836		





## 049

## お魚調理教室

実施主体	加賀市立橋立中学校		
活動期日	平成29年1月25日	活動場所	橋立中学校調理室
参加者	橋立中学校1年生16名、地元水産業者職員3名		
連携団体	地元の業者（やまは水産）		
活動のねらい	地元の水産業者にご協力をいただき、地元で獲れる魚を使った調理実習に取り組むことで、橋立町の主要産業である漁業について生徒達の理解を深める。		
活動の概要	<p>○地元水産業者の方を講師に迎え、鰯の手開きの実演を行ってもらい、その後4班に分かれて手開きに挑戦。</p> <p>○魚が苦手な人でも食べられるメニューを班で考えて調理。</p> <p>○できあがった料理は、講師と校長が試食・講評。</p>		
連絡先	加賀市立橋立中学校 ☎0761-75-2112		



## 050

## 保育実習

実施主体	加賀市立錦城中学校		
活動期日	平成29年6・7月、3学期	活動場所	地域の保育園（聖光保育園）
参加者	錦城中学校3年生、聖光保育園（園児と担当職員）		
連携団体	聖光保育園		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>直接的な体験を通して、幼児への関心を深めるとともに、幼児との関わりかたについて課題をもって取り組む。</li> <li>幼児の発達の状況に応じた関わりを考え、実践できるようにする。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○1学期（6・7月）は保育園に出向いて実習。</p> <p>○3学期は幼児を学校に招いて交流。</p>		
連絡先	加賀市立錦城中学校 ☎0761-72-1515		




## 051

## 職場体験活動

実施主体	加賀市立錦城中学校		
活動期日	夏期休業中（8月下旬）	活動場所	各事業所
参加者	錦城中学校2年生と地域の事業所		
連携団体	地域の事業所		
活動のねらい	キャリア教育として働く喜びや苦勞を知り、望ましい職業観・勤勞観の形成を図る。		
活動の概要	<p>○2～4名のグループとなって地域の事業所において3日間の職業体験を実施。 ○事後学習として感想やお礼状を書き、感想文集を作成。</p> 		
連絡先	加賀市立錦城中学校 ☎0761-72-1515		



## 052

## 環境教室

実施主体	加賀市立山中中学校		
活動期日	平成29年6月7日(水)	活動場所	体育館
参加者	全校生徒、保護者、加賀市生活安全課、環境エコロジーリサイクル事業協同組合		
連携団体	加賀市生活安全課、環境エコロジーリサイクル事業協同組合		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみや廃食用油の有効活用を学ぶことにより、環境問題に主体的に取り組む態度を育む。</li> <li>・廃食用油の回収ステーションとなっている学校に、地域の方、保護者に足を運んでもらうことにより、地域への情報発信機能を併せ持った学校づくりを目指す。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○加賀市の「バイオマスタウン構想」を知り、生ごみからたい肥の作成、廃食用油からバイオディーゼル燃料の精製など、有効利用の仕組みや、その活用の方法について学ぶ。</p> <p>○本校が廃食用油の回収ステーションとなっていることの意義を理解し、生徒一人ひとりが各家庭でのエコ活動に主体的に取り組む。</p> 		
連絡先	加賀市立山中中学校 ☎0761-78-1134		

## 053

## 目指せ あいさつ5万人（運動）

実施主体	能美市立浜小学校（まさご児童会）		
活動期日	5月22日～24日	活動場所	小学校周辺及び校内
参加者	小学校児童、教職員、PTA、見守り隊 他		
連携団体	PTA、見守り隊		
活動のねらい	PTAの全面協力のもと、家庭・地域が一体となって、児童の気持ちのよい挨拶の習慣化を目指す。		
活動の概要	<p>○能美市の人口（5万人）を目標として、起床から登校までの時間に家族・友人・地域の方々（見守り隊など）への挨拶を全校児童で取り組む。</p> <p>○PTAに協力いただき、児童会とともに玄関前での挨拶運動を行い、全校児童に広めた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
連絡先	能美市立浜小学校 ☎ 0761-55-0116		

## 054

## 体験学習講座

実施主体	能美市立寺井中学校		
活動期日	平成28年7月6日	活動場所	中学校及び関連施設
参加者	中学校生徒、地域の方々		
連携団体	地域の方々		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃ふれる機会の少ない文化活動の場を設定し、体験を通して子供たちの文化への意識を高める。</li> <li>・地域の方々との交流を通して、地域を理解し、社会性を育てる。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○地域の方々に講師となっただき、押し花、書道、ちぎり絵、郷土伝承料理、粟生獅子舞など22講座の文化体験講座を実施。</p> <p>○文化体験を通して、伝統文化に親しむとともに、地域の方々との交流も図られた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
連絡先	能美市立寺井中学校 ☎ 0761-57-0246		

## 055

## 学校支援ボランティア活動

実施主体	能美市立辰口中央小学校		
活動期日	平成29年4月6日～	活動場所	小学校等
参加者	小学校児童		
連携団体	地域の方々、見守り隊、PTA、更生保護女性会、老人会など		
活動のねらい	読み聞かせや登下校の見守りを通して、地域の方々とふれ合い、子供たちと地域の方々とのつながりを深める。		
活動の概要	<p>○毎月2回、図書ボランティア（地域住民7名程度）が、朝のスキルタイムに読み聞かせを実施。 ○登下校の時間を中心に、通学路における見守りや集団登校児童と一緒に登校。</p> 		
連絡先	能美市立辰口中央小学校 ☎0761-51-2009		

## 056

## 大豆づくり・稲作指導

実施主体	津幡町立津幡小学校		
活動期日	平成28年5月～9月	活動場所	小学校の学級園
参加者	小学校3年生・5年生、地域の方々		
連携団体	地域の方々		
活動のねらい	家庭・学校・地域社会が協力・連携を深め、多くの大人が子供たちとの関わりを持つ取組を行うことで、将来津幡町を担う子供たちの豊かな心を育む。		
活動の概要	<p>○3年生：地域の方の指導の下、大豆を植え・育て・収穫を体験。JAの方の指導により、収穫した大豆で味噌作りを体験。 ○5年生：JAの方の指導により、田植え・稲刈りを体験。</p> 		
連絡先	津幡町教育委員会事務局生涯教育課 ☎076-288-2125		

## 057

## 道徳「みまもり隊」での講話

実施主体	津幡町立太白台小学校		
活動期日	平成29年1月18日	活動場所	小学校2年教室
参加者	小学校2年生		
連携団体	交通安全ボランティア		
活動のねらい	家庭・学校・地域社会が協力・連携を深め、多くの大人が子供たちとの関わりを持つ取組を行うことで、将来津幡町を担う子供たちの豊かな心を育む。		
活動の概要	<p>○道徳の授業で、13年間交通安全ボランティアを続けている方のお話を聞く。直接お話を聞くことを通して、安心して登校できることを感じ、自分たちができることを考える。</p> 		
連絡先	津幡町教育委員会事務局生涯教育課 ☎076-288-2125		

## 058

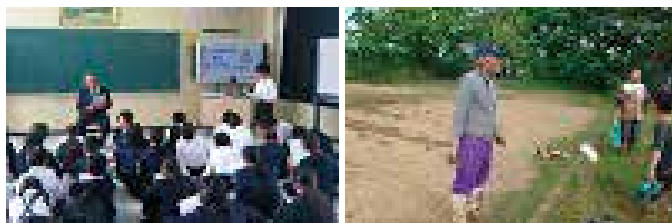
## 農作業体験

実施主体	津幡町立井上小学校		
活動期日	平成28年11月17日	活動場所	小学校家庭室及び体育館等
参加者	小学5年生		
連携団体	地域の方		
活動のねらい	家庭・学校・地域社会が協力・連携を深め、多くの大人が子供たちとの関わりを持つ取組を行うことで、将来津幡町を担う子供たちの豊かな心を育む。		
活動の概要	<p>○地域の方の指導により、米作りを体験。 ○米作りについて学習したこと・体験したことの発表や、地域の方とともにおにぎり作りを実施。</p> 		
連絡先	津幡町教育委員会事務局生涯教育課 ☎076-288-2125		

059

## ビニル水田作り

実施主体	内灘町立向粟崎小学校		
活動期日	4月中旬～11月中旬	活動場所	小学校の作物栽培用花壇
参加者	小学校5年生（59名）		
連携団体	西荒屋の川辺俊一氏、JA石川かほくの職員		
活動のねらい	砂丘地に位置する内灘町が漁業が衰えた後、どのように人々が食糧生産のために苦労や工夫を重ねたかを「ビニル水田による稲作体験」等を通して学ぶ。今日の内灘の礎を作った人々の生き方を考えることを通して、内灘町の一員として地域・社会とのかかわりを深める。		
活動の概要	<p>○砂地に「ビニル水田」を作り、稲作に励んだ頃の話を地元の体験者から聞き、当時の人々の願いや苦労について知る。稲作体験をすることで、食糧生産の大変さや喜びを味わう。</p> <p>○4月～5月 ビニル水田作り (JA石川かほくの協力)</p> <p>5月～10月 田植え、稲刈り、収穫祭 (川辺 俊一氏の協力)</p>		
連絡先	内灘町立向粟崎小学校 ☎ 076-238-3054		



060

## 朝読書時の読み聞かせ

実施主体	内灘町立内灘中学校		
活動期日	各学期 1回（年間3回）	活動場所	各教室
参加者	1・2年各学級生徒及び読み聞かせのボランティア		
連携団体	学校図書ボランティア・お話の会「がらがらどん」（内灘町）		
活動のねらい	読み聞かせ活動を通して、読書に親しむとともに、豊かな表現力や語彙を身に付けていく一助とする。		
活動の概要	<p>○1年生7学級・2年生8学級で、朝読書時（8:15～8:30）に読み聞かせを実施。</p> <p>○読み聞かせの本を図書室に借りに来る生徒もあり、読書活動の推進や豊かな表現力、語彙数を増やす一助となっている。</p>		
連絡先	内灘町立内灘中学校 ☎ 076-286-0017		



061

## 児童劇団 三郎左衛門一座

実施主体	かほく市高松公民館 かほく市立高松小学校 高松小学校 学校運営協議会		
活動期日	5月～翌年3月	活動場所	高松産業文化センター
参加者	小学1年生～6年生（約15名）、保護者、学校コーディネーター、地域住民		
連携団体	高松小学校 学校運営協議会 高松小学校 高松公民館 演劇指導者（かほく市文化協会所属）		
活動のねらい	郷土の偉人を題材とする劇の練習・上演を通じて、児童の表現力、やりぬく粘り強さや社会性を身につけるとともに、お世話して下さる地域の方々との交流を通して郷土愛を育む。また、地域での公演で、地元の来場者が児童のがんばる姿に触れることを通じて、地域全体で子どもたちを見守っていく意識を啓発する。		
活動の概要	<p>○5月に小学校で劇団員を募集。劇の指導、衣装作り、公演当日のお世話など劇団の運営は、高松公民館を拠点とし、地域の方々が協力し、放課後の練習など小学校と緊密に連携をとって実施。</p> <p>○公演の機会として、学校のほか、社会福祉協議会との連携により高齢者・障がい者団体の行事、町会区・商工会など地域の各種団体とも連携して公演を実施。</p>		
連絡先	かほく市立高松小学校 ☎076-281-0068		



062

## 地域の宝 学校林伐採見学ツアー

実施主体	かほく市立大海小学校 大海小学校 学校運営協議会		
活動期日	平成28年11月26日	活動場所	大海小学校 学校林
参加者	児童、教職員、学校コーディネーター、高松中学校生徒（大海小卒業生）、区長、地域住民		
連携団体	大海小学校 学校運営協議会、大海小PTA、金沢森林組合、大海小教育後援会		
活動のねらい	大海小学校の学校林の歴史は古く、大海小学校出身者であればほとんどの人が関わっている。学校林の整備について、児童、保護者の他に、地域の方に呼びかけて参加してもらうことで、児童の郷土愛を育む。また、地域に広く発信することで、校区住民に地域のシンボルとしての大海小学校、学校林を再認識し、学校と地域の関係性を深める。		
活動の概要	<p>○学校林の木を切り出し、ベンチ等を製作し、地域に貢献する事業を計画。</p> <p>○11/26(日)に樹木伐採を見学・体験するツアーを実施。当日、参加者は、木の伐採見学し、毎年下草刈りなどの整備をしている林道を登り、頂上で滑車を使った樹木の引き上げ作業を体験した。</p>		
連絡先	かほく市立大海小学校 ☎076-281-0270		



## 063

## 木津桃の里プロジェクト

実施主体	かほく市立七塚小学校 七塚小学校 学校運営協議会		
活動期日	平成29年3月～	活動場所	七塚小学校 観察園
参加者	校区内の造園業者、児童、教職員、学校コーディネーター、学校支援ボランティア、老人クラブ、地域住民		
連携団体	七塚小学校 学校運営協議会、七塚小学校区の老人クラブ、町会区など		
活動のねらい	木津桃は、現在では栽培が少なくなったが、江戸時代から七塚地区で盛んに栽培され、地域で愛されている果樹である。木津桃を後世に伝えようと奮闘される方々の協力を得て、児童が木津桃を育て、地域の方々と交流することを通じて、児童が地域に学び、また、地域が元気になることを目指す。		
活動の概要	<p>○小学5年生が地域の造園業者と、木津桃を守る活動を行う地域の方々の指導により、学校の観察園に苗木4本を植栽、木津桃の歴史を学習。以後、地域の方が剪定などの管理、児童が水やりなどの世話を実施。</p> <p>○4月の木津桃の開花時には、日頃お世話になっている学校支援ボランティアの方々や老人クラブの方々に招いた花見会を行い、児童と交流。その他、学校内の掲示に木津桃コーナーを設置し、直近の写真を掲示。</p>		
連絡先	かほく市立七塚小学校 ☎076-285-0022		



## 064

## 特産ぶどうを地域の人と一緒に育てよう

実施主体	かほく市立高松中学校 高松中学校 学校運営協議会		
活動期日	平成29年2月～	活動場所	高松中学校 中庭
参加者	生徒、教員、学校コーディネーター、地域住民		
連携団体	高松中学校 学校運営協議会、生徒、教員、ぶどう農家、地元造園業者		
活動のねらい	校舎中庭に植えた高松特産のぶどう（デラウェア）を、生徒が地域の農家の方々に教わりながら育てることを通じて、ぶどう農家の方々の苦労や工夫、努力、地域に生きる姿を学ぶ。		
活動の概要	<p>○校舎中庭の一部を土壌改良してぶどう棚を設置し、2本の苗を植栽。以降、農家の方が剪定などの管理をし、生徒は発育について学習。</p> <p>○普段、生徒が除草や水やりなどを実施。ぶどうの発育の様子や生徒と農家の方々との交流について、おたよりやHPなどにより広報。</p>		
連絡先	かほく市立高松中学校 ☎076-281-0221		






## 065

## 履き物そろえ

実施主体	かほく市立宇ノ気小学校 宇ノ気小学校 学校運営協議会		
活動期日	平成28年4月～	活動場所	校区内の公共施設等
参加者	児童、教職員、学校コーディネーター、公民館、スポーツ教室指導者 など		
連携団体	公民館、スポーツ少年団、校区内の町会区 など		
活動のねらい	学校では、教員、児童同士の声掛けにより履き物揃えが浸透しており、学校外でも、地域の方と連携し、児童に声掛けすることによって児童の注意を促す。地域からの声掛けをきっかけとして、児童にとっては、履物のみならず、身だしなみや規範について、校外でも意識を高める。また、地域の方にとっては、地域全体で子どもたちを見守っていく意識を高める。		
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校で履物揃えのポスターを製作し、校区の公民館や公共施設のほか、銀行や書店などに依頼して掲示。</li> <li>○学校運営協議会委員から、委員の所属する町会区や子ども会など各種団体の会合などで、活動への協力・参加の呼びかけ。</li> <li>○スポーツ少年団の総会において、各教室でも積極的に指導するよう協力を依頼。</li> </ul>		
連絡先	かほく市立宇ノ気小学校 ☎ 076-283-0014		

## 066

## 金津の森FABプロジェクト

実施主体	かほく市立金津小学校 金津小学校 学校運営協議会		
活動期日	平成28年12月～	活動場所	金津小学校 金津の森（学校林）
参加者	児童、教職員、学校コーディネーター、学校運営協議会委員、地域住民 など		
連携団体	金沢森林組合、金津小学校 学校運営協議会、協力企業(株)クリパリンク（最新技術を使ったものづくり指導） など		
活動のねらい	学校林を題材として、児童が木材加工の最新技術に触れたり、ものづくりの楽しさを体感したり、地域の方々や様々な職業の方と交流することを通じて、より豊かな学びをする。		
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高学年は、彫刻刀と紙やすりを使って木製マイスプーンを製作。協力企業である(株)クリパリンクのFAB ディレクターから最新技術の加工機械の説明を受けたのち、児童一人ひとりが、レーザーカッターでマイスプーンに自分の名前が焼きつけられるところを見学。</li> <li>○低学年は、マイ箸と箸置きを製作し、レーザーカッターによる名前の焼付けを見学。地域のボランティアが作業を補助。</li> <li>○金沢森林組合職員により、学校林を伐採。全学年で伐採の様子を見学したのち、輪切りにした木片の香りを嗅いだり、職員から伐採や木材の話聞く。伐採した木材は次年度の新たなプロジェクトに活用。</li> </ul>		
連絡先	かほく市立金津小学校 ☎ 076-285-0216		

## 067

## 地域の歴史文化・ふるさと学習

実施主体	宝達志水町内の各小中学校		
活動期日	平成28年9月7日、9月13日、11月1日	活動場所	小中学校の教室及び体育館
参加者	小中学校児童生徒 252名		
連携団体	宝達志水町文化財保護審議会		
活動のねらい	町の歴史である「末森合戦」を知らない子供たちが多くみられたことから、学校における地域学習などの機会に、ふるさとの歴史を伝え、ふるさとに愛着を持つ子供たちを育成する。		
活動の概要	<p>○町文化財保護審議委員を講師として、町内の小中学校を対象に「末森合戦」に関する授業を実施。</p> <p>○末森合戦の内容やその時代背景について、日本地図や城の模型を用いるなど、子供たちにもわかりやすく説明した。</p> <p>○末森合戦や末森城跡について紹介VTRを作成する学校も見られ、地域の歴史を学習するきっかけとなった。</p>		
連絡先	宝達志水町教育委員会事務局生涯学習課文化財室 ☎0767-28-5180		



## 068

## 版画教室

実施主体	志賀町立志賀小学校		
活動期日	平成28年6月30日～9月29日	活動場所	志賀小学校
参加者	2年生（紙版画）、4年生（木版画）		
連携団体	志賀町版画協会		
活動のねらい	版画協会の方々の指導により、版画技法の習得を図るとともに、地域の方々とより多く触れ合う。		
活動の概要	<p>○小学校の図画工作の学習の時間に、地元の志賀町版画協会の方々の指導により、紙版画（2年生）・木版画（4年生）を実施。</p> <p>○版画協会の方々に細かな指導を受けることができるとともに、交流もでき楽しく活動できた。</p>		
連絡先	志賀町教育委員会事務局生涯学習課 ☎0767-32-9350		



## 069

## 育てて食べる活動

実施主体	羽咋市立粟ノ保小学校		
活動期日	年間を通して	活動場所	小学校
参加者	粟ノ保小学校全校児童 68名		
連携団体	小学校, JA羽咋, 老人会, 地域のボランティアの方々		
活動のねらい	学校と各種団体・地域のボランティアの方々連携した、野菜を育てて食べる活動を通して、「野菜を大切に育てる心」「自然を愛する心」「感謝する心や自然を愛する心」を育むとともに、「野菜作りの工夫」「地域の様子やよさ」について学ぶ。		
活動の概要	<p>○畑の先生(地域の方々)、JA職員などから、野菜作り(1～4年生)・バケツでの稲作(5年生)・サツマイモ作り(6年生)のお世話の方法を学習。</p> <p>○収穫後、調理。特に、6年生はお世話になった老人会の方々をお招きし、感謝祭を開催。</p> <p>○各種団体や地域のボランティアの方々と連携することで、地域の結びつきが強まった。</p>		
連絡先	羽咋市立粟ノ保小学校 ☎ 0767-22-0243		



## 070



## ひとり暮らし ふれあいの集い

実施主体	中能登町立鹿島小学校		
活動期日	平成28年10月29日	活動場所	鹿島小学校ランチルーム
参加者	鹿島小学校1年生・3年生・4年生、地域のお年寄り		
連携団体	民生委員		
活動のねらい	地域のお年寄りとの交流を通して、子供たちの思いやりの心を育む。		
活動の概要	<p>○地域のお年寄りを学校に招待し、4年生は練習してきた歌を披露。1年生は昔の遊びをお年寄りと一緒に楽しみ、交流。3年生は、自分が作成したプレゼントを手渡した。</p>		
連絡先	中能登町教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 0767-76-1900		



071

## わく・ワーク職場体験学習

実施主体	中能登町立中能登中学校		
活動期日	平成29年7月4日～6日	活動場所	羽咋市、中能登町、七尾市にある会社・公共施設・販売店など
参加者	中能登中学校2年生 178名		
連携団体	中能登中学校PTA、羽咋市・中能登町・七尾市にある会社・公共施設・販売店など		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にある様々な企業を知り、職業を体験することで、将来の進路を考える一つのきっかけにする。</li> <li>・働く人の姿勢や心構えを学び、正しい礼儀作法を身につける。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○羽咋市、中能登町、七尾市にある会社・公共施設・販売店などに協力をいただき、3日間の職場体験を実施。</p> <p>○体験後、学んだことを報告書としてまとめる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
連絡先	中能登町立中能登中学校 ☎ 0767-74-8080		

072

## 防犯パトロール

実施主体	能登町立鵜川小学校		
活動期日	交通安全週間、毎月第2、第4金曜日	活動場所	鵜川小学校周辺、鵜川小学校区
参加者	鵜川小学校教職員、うかわっ子を守る会会員		
連携団体	鵜川小学校PTA、珠洲警察署		
活動のねらい	地域と学校、駐在所が連携して、鵜川小学校児童の防犯・安全のために見守り活動を行う。		
活動の概要	<p>○春や秋の交通安全週間に、児童の登校時刻に合わせて、地域・学校・警察から数名ずつ参加し、見守り活動を実施。</p> <p>○毎月第2・第4金曜日に、児童の下校時刻に合わせて、地域・学校・PTAから数名ずつ参加し、見守り活動とスクールバスの乗降指導を実施。また、地域の方々には、日常的に学校周辺・校区内の児童の安全のために活動していただいている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
連絡先	能登町立鵜川小学校 ☎ 0768-67-1122		


073

## 穴水小学校・地域合同防災訓練

実施主体	穴水町立穴水小学校・穴水町教育委員会事務局		
活動期日	平成29年6月30日(金)	活動場所	穴水小学校・弘誓寺
参加者	穴水小学校児童・職員、地域住民		
連携団体	地域町内会、穴水消防署		
活動のねらい	災害時に速やかに避難できるよう、学校と地域が連携し合同訓練を行う。		
活動の概要	<p>○地震発生を想定し、第1次避難(学校:運動場、地域:各指定場所)から第2次避難(弘誓寺)まで避難を実施。</p> <p>○地域・学校が合同で訓練を行うことにより、連携して避難することができた。</p>		
			
連絡先	穴水町教育委員会事務局 ☎ 0768-52-3720		

074

## 働く職業人からの講話

実施主体	穴水町立穴水中学校・穴水町教育委員会事務局		
活動期日	平成29年2月14日(火)	活動場所	穴水中学校
参加者	穴水中学校1年生		
連携団体	地域で働く保護者や住民		
活動のねらい	ふるさとで働く職業人の話を聞き、将来の仕事やふるさとについて考える機会とする。		
活動の概要	<p>○生徒は前半の部と後半の部に別れ、2つの職業についての講話を聴く。講師は、保護者や地域の異業種の職業人6名。</p> <p>○日頃接することが少ない方々のお話を聴くことは、子供たちにとって良い刺激になり、道徳的価値を理解したり、自分で職業について考えたりすることができた。</p>		
			
連絡先	穴水町教育委員会事務局 ☎ 0768-52-3720		

075

## 地域の史跡めぐり

実施主体	穴水町立穴水中学校・穴水町教育委員会事務局		
活動期日	平成28年7月1日(金)	活動場所	穴水町内
参加者	穴水中学校3年生		
連携団体	穴水町ふるさと案内人の会		
活動のねらい	穴水町の史跡等を巡り、穴水の良さや改善点を考える機会とする。また、町の中学生議会の提言の参考にする。		
活動の概要	<p>○町内の史跡等4箇所をグループにわかれ、ふるさと案内人の会会員の案内で散策。          ○穴水町の名所について理解するとともに、ふるさとのよさを再発見することができた。</p> 		
連絡先	穴水町教育委員会事務局 ☎0768-52-3720		

076

## のとてまり栽培

実施主体	穴水町立穴水中学校・穴水町教育委員会事務局		
活動期日	平成29年3月15日(水)	活動場所	穴水中学校
参加者	穴水中学校1年生		
連携団体	日本きのこセンター、奥能登原木しいたけ活性化協議会		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとの特産物の1つである「のとてまり」について知り、栽培の体験をする。</li> <li>・自分たちで植菌した「のとてまり」を収穫し、食育体験を行う。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○地域の方から特産物の「のとてまり」について話を聞き、菌打ち体験・収穫体験などを実施。          ○収穫後、「のとてまり」を使った調理実習を実施。          ○地域の自然にふれる貴重な経験になるとともに、能登の活性化のために頑張っている方々の取組を学び、ふるさとへの愛着心が育まれた。</p> 		
連絡先	穴水町教育委員会事務局 ☎0768-52-3720		

077

## 能登ワイン収穫体験

実施主体	穴水町立穴水中学校・穴水町教育委員会事務局		
活動期日	平成29年2月7日(火)	活動場所	能登ワイン株式会社
参加者	穴水中学校3年生		
連携団体	能登ワイン株式会社		
活動のねらい	能登ワインぶどうの収穫体験を通じて、町の産業を学び、ふるさとの良さを見直し、ふるさと回帰につなげる。		
活動の概要	<p>○能登ワインの特色を学び、ワイン醸造所見学、ぶどう収穫体験を実施。</p> <p>○ワインボトルのラベルをデザインし、オリジナルワインボトル作りを実施。</p> <p>○自分が作成したオリジナルボトルのワインは成人式で開封するため、中学校卒業後も改めて地元での体験を思い出すことができる。</p>		
連絡先	穴水町教育委員会事務局 ☎ 0768-52-3720		



078

## 親子でボラ茶漬け

実施主体	穴水町立穴水小学校・穴水町教育委員会事務局		
活動期日	平成28年7月9日(土)	活動場所	穴水小学校
参加者	穴水小学校3年生		
連携団体	穴水町新崎・志ヶ浦地区里海里山推進協議会		
活動のねらい	穴水町のシンボルである「ボラ待ち橋」や、古くから伝わるボラ漁について学習するとともに、ボラを実際に親子で調理・試食することで、地元の特産品をより身近に感じてもらう。		
活動の概要	<p>○ボラ漁を復活させた穴水町新崎・志ヶ浦地区里海里山推進協議会の岩田氏による「ボラ待ち橋」・「ボラ漁」・「ボラ」についてのお話を聴く。</p> <p>○保護者によって調理された「ボラの照り焼き」でボラ茶漬けを試食する。</p>		
連絡先	穴水町教育委員会事務局 ☎ 0768-52-3720		




079

## 農業体験

実施主体	穴水町立穴水小学校・穴水町教育委員会事務局		
活動期日	平成28年5月24日(火)・10月1日(土)	活動場所	穴水町下唐川地区
参加者	穴水小学校5年生・保護者		
連携団体	下唐川地区の地域の方々		
活動のねらい	世界農業遺産に認定された能登の里山、その土地で行う米作りについて学び、感謝の気持ちを育む。		
活動の概要	<p>○地域の方々から米作りの話を聴き、田植え・稲刈りなどを体験。</p> <p>○普段何気なく食べているお米の作り方を学び、感謝の気持ちを持つことができた。</p> 		
連絡先	穴水町教育委員会事務局 ☎ 0768-52-3720		

080

## ランプシェード作り

実施主体	穴水町立穴水小学校・穴水町立向洋小学校・穴水町教育委員会事務局		
活動期日	平成28年6月4日(土)・9日(木)	活動場所	穴水小学校・向洋小学校
参加者	穴水小学校6年生、向洋小学校4・5年生		
連携団体	曽良の盆灯実行委員会		
活動のねらい	学校のふるさと学習の一環として、地域のイベントである「曽良の盆灯」における盆灯を作成・展示し、ふるさとのよさを体感する。		
活動の概要	<p>○地域の方々の指導により、ランプシェードを製作。完成作品は、「曽良の盆灯」に飾られた。</p> <p>○粘土での物づくりの楽しさとともに、このイベントを始めた地域の方々の思いについて知ることができた。</p> 		
連絡先	穴水町教育委員会事務局 ☎ 0768-52-3720		



## 081

## トマト栽培・収穫、調理

実施主体	穴水町立向洋小学校・穴水町教育委員会事務局		
活動期日	平成28年5月19日(木)・8月3日(水)	活動場所	向洋小学校
参加者	向洋小学校1・2年生		
連携団体	地元トマト生産者		
活動のねらい	野菜作りの大変さや楽しさを知ってもらい、食べ物大切さを学習する。		
活動の概要	<p>○地元でクラシック音楽を聴かせながらトマトを栽培する生産者に栽培方法を教わり、児童たちも元気な歌を聴かせながら育てた。</p> <p>○夏にトマトを収穫し、トマトを使った調理実習を実施。</p> <p>○自分で育てたトマトを使い調理したことで、普段トマトを食べられない児童もおいしく食べることができた。</p>		
連絡先	穴水町教育委員会事務局 ☎ 0768-52-3720		



## 082

## かきの養殖見学

実施主体	穴水町立向洋小学校・穴水町教育委員会事務局		
活動期日	平成28年3月2日(木)	活動場所	穴水町中居湾
参加者	向洋小学校3年生		
連携団体	地域のかき生産者		
活動のねらい	<p>・穴水町の特産品である「かき」について学習し、ふるさとの産業を学ぶ。</p> <p>・養殖にかかせない栄養豊富な山水やきれいな海について知り、ふるさとの里山里海大切さを学習する。</p>		
活動の概要	<p>○生産者の船に乗船し、かき棚へ行き、かきの養殖の様子を見学。かきの生態や養殖方法について話を聞く。</p> <p>○かきを販売する営業所においてかきを保存したり、剥いたりする様子を見学したり、実際にかき剥きを体験。</p> <p>○実際に船でかき棚や養殖の現場を見ることにより、ふるさとの里山里海大切さを感じることができた。</p>		
連絡先	穴水町教育委員会事務局 ☎ 0768-52-3720		



## 083

## 鹿波獅子太鼓体験

実施主体	穴水町立向洋小学校・穴水町教育委員会事務局		
活動期日	平成28年11月29日(火)	活動場所	向洋小学校
参加者	向洋小学校4年生		
連携団体	鹿波獅子太鼓保存会		
活動のねらい	地域の郷土芸能を学び、体験することで、ふるさとを愛する心や誇りに思う心を育む。		
活動の概要	<p>○保存会のメンバーから太鼓の構え方、打ち方、リズムなど指導してもらう。 ○6年生を送る会で練習の成果を発表するため、より熱心に練習し、深く郷土芸能を体験することができた。</p> 		
連絡先	穴水町教育委員会事務局 ☎ 0768-52-3720		

## 084

## かぶら寿しづくり

実施主体	穴水町立向洋小学校・穴水町教育委員会事務局		
活動期日	平成29年1月16日(月)・19日(木)	活動場所	向洋小学校
参加者	向洋小学校5年生		
連携団体	曾良かぶら生産組合、地域住民		
活動のねらい	伝統的な食文化を体験することで、地域の良さを知ってもらい、ふるさとを愛する心を育む。		
活動の概要	<p>○下漬け・本漬けの2日に分けて、麴の素材や、かぶらの切り方・漬け方を指導してもらい、体験。 ○その後、自分で漬けたかぶら寿しを試食。</p> 		
連絡先	穴水町教育委員会事務局 ☎ 0768-52-3720		

## 085

## 中居鋳物づくり、中居たたら唄

実施主体	穴水町立向洋小学校・穴水町教育委員会事務局		
活動期日	平成28年10月17日・31日、11月30日	活動場所	向洋小学校、能登中居鋳物館
参加者	向洋小学校6年生		
連携団体	中居民謡保存会		
活動のねらい	町無形民族文化財に指定された「中居たたら唄」を学び、学校の校章を作成し、郷土の歴史・文化を体験、学習する。		
活動の概要	<p>○地域の保存会の方々から、「たたら唄」の歌詞の意味・唄い方を教えていただき、唄や動作を指導していただいた。また、町文化祭で練習の成果を発表。</p> <p>○「たたら唄」に関係の深い「鋳物づくり」について説明を受け、実際に体験した。</p> <p>○鋳物づくりの際に唄われていた「たたら唄」と「鋳物づくり」を体験することで、ふるさとの歴史を体験することができた。</p>		
連絡先	穴水町教育委員会事務局 ☎0768-52-3720		



## 086

## 新1年生の下校指導

実施主体	穴水町立穴水小学校		
活動期日	平成29年4月6日(木)～5月19日(金)	活動場所	穴水小学校から児童自宅付近
参加者	小学校児童、穴水婦人会役員 10名		
連携団体	穴水婦人会、地域こども見守り隊		
活動のねらい	新1年生が交通事故や犯罪等に巻き込まれないよう見守り、安全な下校指導を行う。		
活動の概要	<p>○婦人会役員の方々、児童の下校時刻に合わせ、学校玄関前に集合。</p> <p>○同じ方面ごとの児童に付き添い、道路の歩き方・信号の渡り方等の交通ルールを指導しながら、自宅に入るまで見守った。</p> <p>○地域の方々、児童に付き添いながら学校での話をするなど、子供たちと交流していた。</p>		
連絡先	穴水町連合婦人会 ☎0768-52-0065 (穴水町立穴水小学校)		



## 087

## 小学校・地区レクリエーション大会

実施主体	輪島市立鶴巣小学校、地区レクリエーション大会実行委員会、輪島市立鶴巣公民館		
活動期日	平成29年5月28日(日)	活動場所	鶴巣小学校
参加者	鶴巣地区住民、鶴巣小学校の児童、鶴巣保育所の園児		
連携団体	鶴巣地区区長会、鶴巣保育所		
活動のねらい	小学校運動会と地区レクリエーション大会を合同で開催することにより、子供からお年寄りまで、普段なかなかふれあえない住民同士の親睦・活性化を図る。		
活動の概要	<p>○実行委員を中心として、競技内容の検討や準備を実施。地区対抗戦を行うなど、地域住民のふれあいの場となっている。</p> <p>○子供からお年寄りまで幅広い年代層が集まり、地区ごとに団結して交流を深めることが出来た。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
連絡先	輪島市立鶴巣公民館 ☎0768-22-2237		

## 088

## きりこ太鼓教室

実施主体	珠洲市立蛸島小学校		
活動期日	6月～9月	活動場所	珠洲市立蛸島小学校 体育館
参加者	珠洲市立蛸島小学校 全校児童32名 と太鼓指導者2名		
連携団体	太鼓グループ「弁天夢太鼓」		
活動のねらい	地域の祭り太鼓の伝承を教育活動に取り入れ、郷土愛を育むとともに、将来の祭り文化の担い手である意識を育てる。		
活動の概要	<p>○地域の祭りであたたく「きりこ太鼓」の指導者が、全校児童にたたき方を指導。低学年はきりこ太鼓の基礎を身に付け、3年から実際にきりこであたたく本格的な技能を身に付ける。</p> <p>○練習の成果は、8月の「太鼓と踊りの夕べ」や9月の地域の祭礼で披露。</p> <p>○地域文化の伝承を、小学校のふるさと学習を通して身に付けることができ、児童は地域の文化の伝承者として、地域に誇りを持ち、郷土愛を育むことにつながっている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
連絡先	珠洲市立蛸島小学校 ☎0768-82-0524		

089

## 地震・津波 避難訓練

実施主体	珠洲市立みさき小学校、珠洲市立三崎公民館、粟津保育所		
活動期日	平成28年9月6日(火)	活動場所	みさき小学校運動場(一次避難所) → 学校裏山避難所(二次避難所)
参加者	みさき小学校児童・職員、粟津保育所園児・職員、三崎地区自主防災組織(三崎公民館関係)、地区住民		
連携団体	三崎地区自主防災組織		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震やそれにもなう津波の際に、落ち着いて敏速に避難するための行動を身につける。</li> <li>・家や学校が海に近く、常に津波の被害にあう危険があることを理解する。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○昼休み時間に避難訓練を実施。保育所、小学校、地域が連携し、第1次避難から第2次避難まで行う。</p> <p>○避難の手順や注意すべきことが体験を通してよく実感でき、地域の方の協力もあり、集中して真剣に訓練をすることができた。</p>		
連絡先	珠洲市立みさき小学校 ☎ 0768-88-2019		



090

## わく・ワーク職場体験

実施主体	珠洲市立緑丘中学校		
活動期日	平成29年7月25日(火)～27日(木)	活動場所	珠洲市内 各事業所
参加者	緑丘中学校 2年生		
連携団体	珠洲市内 各事業所		
活動のねらい	中学生に社会の一員としての自覚を促すとともに、望ましい社会性や勤労観・職業観を育成する。		
活動の概要	<p>○生徒がそれぞれの事業所を訪問し、仕事の内容や諸注意等の確認など事前打ち合わせを実施。</p> <p>○3日間の職場体験を実施。</p> <p>○職場体験後、振り返りを行うとともに、事業所へのお礼状を作成、御礼に訪問。</p>		
連絡先	珠洲市立緑丘中学校 ☎ 0768-82-0250		



## 091

## 青年団とそばづくり

実施主体	珠洲市立宝立小中学校		
活動期日	毎年8月～12月	活動場所	学校及び周辺の畑
参加者	宝立小中学校9年生、宝立町青年団		
連携団体	宝立町青年団、地域の方々		
活動のねらい	地元で行われているそばづくりを通して、地元の農業や地域の方々の生き方を学ぶ。		
活動の概要	<p>○青年団・地域の方々とともに畑の耕作から始め、種まき・収穫・脱穀・乾燥までの作業を実施。          ○収穫した「そばの実」を使い、そば打ちを体験。          ○年間を通して農業を体験することで、作業の大変さとともに仕事の充実感などを実感させることができた。</p> 		
連絡先	珠洲市立宝立小中学校 ☎ 0768-84-1106		

## 092

## ビオトープ田での稲作

実施主体	珠洲市立宝立小中学校		
活動期日	5月～10月	活動場所	宝立ビオトープ
参加者	宝立小中学校8年生、弘法の里保存会		
連携団体	弘法の里保存会		
活動のねらい	ビオトープ田での米づくりや水生生物観察を通して、自然の豊かさや地域の方々の生き方を学ぶ。		
活動の概要	<p>○ビオトープでの水生生物観察を行った後、米作りを実施。          ○地元保存会に協力いただき、5月に田植え、10月に稲刈りを行った。          ○地域の方々に教えていただき、機械を使用せず、田植え・稲刈り、はさ掛けを行うことにより、昔ながらの米作りを学ぶとともに、地域の方々との交流も図ることができた。</p> 		
連絡先	珠洲市立宝立小中学校 ☎ 0768-84-1106		

## 093

## 田んぼづくり

実施主体	志賀町立富来小学校、富来小学校PTA		
活動期日	平成28年4月上旬～12月下旬	活動場所	富来小学校プレールーム、借用田
参加者	富来小学校5年生、富来小学校PTA生活部		
連携団体	JA志賀富来営農センター、地域の人々		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田んぼづくりの事業を通し、地産地消を体験し、お米ができるまでの苦労を学ぶ。</li> <li>・地域の人々や学校が連携した取組に地域の様々な人々や団体が協力することで、親子の絆はもちろんのこと、地域の方々とのつながりを深める。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○JA志賀・地域の方々に指導していただき、田植え・カカシ作り・稲刈りを親子で体験。 ○収穫したお米で赤飯を作り、見守り隊など、日頃お世話になっている地域の方々に感謝のメッセージを添えて配布し、子供たちが感謝の気持ちを伝えることができた。</p> 		
連絡先	志賀町立富来小学校PTA ☎0767-42-0074（志賀町立富来小学校）		

## 094

## 茶道教室

実施主体	白山市立光野中学校		
活動期日	毎週火、木曜日（週2回）	活動場所	中学校和室
参加者	光野中学校茶道部		
連携団体	白山市茶道指導者 ボランティア		
活動のねらい	地域の方々の指導により、茶道を通じて礼儀作法を身につけるとともに、地域の方々との交流を図る。		
活動の概要	<p>○放課後に茶道部の活動を地域の方々に指導していただく。 ○年数回、学校や校区の公民館、小学校の文化祭に出向き、お茶会を開催。</p> 		
連絡先	白山市立光野中学校 ☎076-276-8823		

## 095

## イカ釣り船団見送り

実施主体	能登町立小木小学校		
活動期日	平成29年6月7日	活動場所	小木漁港
参加者	小学生、職員及び地域住民 約150名		
連携団体	小木漁協、地域の方々など		
活動のねらい	イカ釣り船団の見送りを通して、地域の産業に興味・関心を持つとともに、地域を愛する心を育む。		
活動の概要	<p>○全校児童と職員が漁船乗組員の家族や地域住民等とともに、航海の無事と大漁を願い、出航を見送った。</p> <p>○イカ釣り船団の見送りを通して、地域に愛着と誇りをもつことができた。</p> 		
連絡先	能登町立小木小学校 ☎ 0768-74-0040		

## 096

## 宇出津っ子ロードレース

実施主体	能登町立宇出津小学校		
活動期日	毎年10月15日	活動場所	宇出津新町商店街 周回コース
参加者	宇出津小学校全児童		
連携団体	PTA、町役場、警察、町商工会、商店街振興組合、町交通推進隊、町陸上競技協会		
活動のねらい	児童の体力向上を目的に開催しているマラソン大会を学校、保護者、地域が連携して行うことにより、地域全体で子供を育むことを意識づけるとともに、商店街で開催することで地域の活性化も図る。		
活動の概要	<p>○商店街での「まんなか市」に併せて、商店街～警察～町庁舎を周回するコースで全校児童が参加するマラソン大会を開催。</p> <p>○保護者、買い物客、町長はじめ町役場職員、警察署員、地域の方々など大勢が応援してくれるので、子供たちも勇気づけられている。</p> 		
連絡先	能登町立宇出津小学校PTA ☎ 0768-62-0037 (能登町立宇出津小学校)		



097

## よさこいで地域を盛り上げよう

実施主体	能登町立柳田中学校		
活動期日	平成28年10月16日・11月13日	活動場所	柳田植物公園、柳田山村開発センター
参加者	柳田中学校3年生 28名		
連携団体	柳田公民館、秋の味覚市実行委員会・ふるさと振興課		
活動のねらい	地域の方々に指導いただいた「よさこい」を地域行事で披露することで、行事を盛り上げるとともに、地域との交流を図る。		
活動の概要	<p>○地域行事である「秋の味覚市・全国風あげ能登大会」(10/16)や「柳田文化まつり」(11/13)に参加し、「柳中よさこい」を披露。</p> <p>○多くの来場者の前で披露することで、地域の方々との交流を図ることができた。また、地域の方や保護者から、「よかった」「元気づけられた」などの感想をいただき、子供たちも満足していた。</p>		
連絡先	能登町立柳田中学校 ☎0768-76-1215		



098

## 針伏山ウォーキング

実施主体	能登町立柳田中学校		
活動期日	平成28年11月10日	活動場所	針伏山
参加者	柳田中学校2年生 25名、小木中学校2年生 16名、地域の方々		
連携団体	岩井戸公民館、小木中学校		
活動のねらい	地域の山に残るブナの原生林にふれ、地域の自然を守り育て、ふるさとを愛する心を育むとともに、近隣の小木中学校との交流を図る。		
活動の概要	<p>○事前に生徒がブナや針伏山について調べ学習をした後、ウォーキングを実施。岩井戸公民館長の案内で、ブナの原生林まで登山。</p> <p>○子供たちは要所でブナの原生林にまつわる話を聞いたり、ブナの木肌にふれ感触を確かめたり、小木中の生徒と活動・交流したりするなど、ふるさとの自然を感じとっていた。</p>		
連絡先	能登町立柳田中学校 ☎0768-76-1215		



実施主体	能登町立柳田中学校		
活動期日	平成29年2月7日・10日	活動場所	中学校調理室
参加者	中学校1年生 24名・2年生 25名、食生活改善推進協議会委員		
連携団体	食生活改善推進協議会		
活動のねらい	いしり料理やあえのこと料理の調理体験を通して、ふるさとの味・郷土料理について学び、ふるさとの食文化を理解する機会とする。		
活動の概要	<p>○地域の食生活改善推進協議会委員に指導していただき、地域の調味料「いしり」を使った料理やお椀に盛り付けられた「あえのこと料理」を調理し、試食した。</p> <p>○田の神様の儀式である「あえのこと」は最近行うことが少なくなっており、子供たちが地域の文化を知る良い機会となった。</p>		
連絡先	能登町立柳田中学校 ☎0768-76-1215		



実施主体	能登町立柳田中学校		
活動期日	平成29年3月28日	活動場所	柳田中学校
参加者	中学校1・2年生 49名、教職員、柳田地区老人会・婦人会 11名		
連携団体	猿鬼大会実行委員会、柳田地区老人会、柳田地区婦人会		
活動のねらい	各種団体や学校等が連携して、「猿鬼歩こう走ろう健康大会」を盛り上げるためにカカシづくりに取り組み、地域の方々とのつながりを再構築する。		
活動の概要	<p>○事前に実行委員長から応援カカシづくりの趣旨や依頼について話を聞き、生徒は自分が作りたいカカシのデザインを考案。</p> <p>○老人会や婦人会の方々とともに、30体のカカシを製作。</p> <p>○カカシづくりを通して、地域行事の盛り上げに貢献しようとする意識が高まるとともに、地域の方々とのふれあいにより地域とのつながりが深まった。</p>		
連絡先	能登町立柳田中学校 ☎0768-76-1215		




## 101

## おはなしパレット

実施主体	加賀市立河南小学校		
活動期日	第2・第4水曜日の朝(8:15～8:25)	活動場所	1～6年生の教室
参加者	小学校児童、保護者・地域住民（H29登録者 25名）		
連携団体	小学校、地区婦人会、まちづくり協議会		
活動のねらい	読書活動への興味・関心を高め、地域の方々と交流することにより、地域とのつながりを深めるきっかけづくりとする。		
活動の概要	<p>○朝の時間に、教室で読み聞かせを実施。          ○各学期に1回、昼休みに時間に「読みます隊」として、児童が希望する本の読み聞かせを実施。          ○地域の方々は普段の子供たちに接することができ、子供たちにも顔を覚えてもらい、交流も深めることができた。</p> 		
連絡先	加賀市女性協議会 ☎ 0761-78-0836（加賀市立河南小学校）		

## 102

## 寺井地区クリーンデー

実施主体	寺井地区公民館		
活動期日	平成29年7月9日	活動場所	道路、用水、公共施設等
参加者	中学生、PTA、老人会、壮年団、女性会		
連携団体	中学校、PTA、老人クラブ連合会、壮年団、女性会		
活動のねらい	地域とともに環境美化ボランティア活動を行い、住みよい町づくりを推進する。		
活動の概要	<p>○地域全体で、道路・用水・学校を含む公共施設等周辺など、個人では清掃しにくい場所の環境整備を実施。</p> 		
連絡先	能美市立寺井中学校 ☎ 0761-57-0246		

## 103

## 地域全体での資源回収

実施主体	内灘町立鶴ヶ丘小学校PTA		
活動期日	通年	活動場所	小学校校下全域
参加者	小学4～6年生、小学校PTA、地域公民館		
連携団体	地域公民館		
活動のねらい	地域の資源を回収することで、リサイクルの意識を高めると共に、子供たちが育つ地域との連携を図る。		
活動の概要	<p>○小学校校下にある3つの地区公民館と連携し、年2回（春、秋）資源回収を実施。</p> <p>○玄関先に出された古新聞や空き瓶等を子供と保護者が台車で回収。地域の家々に声をかけ、子供たちが地域の方々と顔見知りになる良い機会にもなる。</p>		
			
連絡先	内灘町立鶴ヶ丘小学校 ☎ 076-286-0001		

## 104

## 新春書初め席書大会

実施主体	志賀町立富来地域公民館、志賀町子ども会連絡協議会		
活動期日	平成29年1月8日（日）	活動場所	志賀町富来活性化センター大ホール
参加者	志賀町内の小学生		
連携団体	志賀小学校PTA、富来小学校PTA		
活動のねらい	町内小学生が、新年を迎え心新たに、書初めに取り組むことにより、互いの毛筆技量を競い合い文化交流を深める。		
活動の概要	<p>○新春を迎えるにあたり、児童が一堂に会し、心新たに書初めに取り組む。</p> <p>○毛筆の技能向上を図るとともに、町内小学生の交流を深めた。</p>		
			
連絡先	志賀町子ども会連絡協議会事務局 ☎ 0767-32-1111		

## 105

## 金ヶ崎地区 新入生歓迎会

実施主体	七尾市金ヶ崎公民館		
活動期日	平成29年4月23日	活動場所	金ヶ崎公民館
参加者	金ヶ崎子ども会の児童・園児・保護者、協力企業の社員、公民館職員 50名		
連携団体	金ヶ崎子ども会、地元企業、地元作家、金ヶ崎公民館		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田鶴浜小学校に入学した金ヶ崎地区の新1年生を招待して、早く学校や子ども会に慣れるよう交流を深める。</li> <li>・活動の中で金ヶ崎地区敬老会のプレゼント作りを行ない、高齢者を敬う心を育てる。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○新入生歓迎会の実施。</p> <p>①新一年生の紹介・②歓迎の言葉・③インタビュー・④その他児童の自己紹介 ⑤手作りのプレゼント贈呈・⑥新しく子ども会に仲間入りした児童の紹介(転入)</p> <p>○金ヶ崎子ども会会員の保護者が勤める企業に協力を依頼し、出前講座(電子オルゴールづくり・ロボット実演&amp;体験会)を実施。</p> <p>○金ヶ崎子ども会会員の保護者である輪島塗の沈金作家に依頼し、敬老会のプレゼント作りを実施。</p>		
連絡先	七尾市金ヶ崎公民館 ☎0767-68-3114		



## 106

## 公民館地域間交流

実施主体	七尾市熊木公民館・金沢市新神田校下少年連盟		
活動期日	平成28年7月23～24日・平成28年7月30～31日	活動場所	金沢市・七尾市
参加者	小学校3年生～中学生及び保護者 98名(小・中学生 46名、大人 24名、学生・社会人ボランティア 28名)		
連携団体	親子でつくろう経験の和実行委員会		
活動のねらい	子供たちが地域間交流で、お互いに心を通い合わせ、理解を促すことで視野を広め、また、様々な体験をすることで地域の新たな魅力を体感することを目的とし、生きる力を育む。		
活動の概要	<p>○金沢市新神田校下少年連盟の子供たちが熊木地区を訪れ、地元の子供たちと交流。高校生や大学生を含む地域の方々がボランティアで協力し、地元の竹を材料とした水鉄砲作りや流しソーメンを行った。</p> <p>○多くの地域ボランティアの協力により、内容が充実し、子供たちの交流も深まり、心も通い合う体験ができた。</p>		
連絡先	七尾市熊木公民館 ☎0767-66-1567		




## 107

## まんだらウォーク

実施主体	七尾市熊木公民館		
活動期日	平成28年11月12日(土)	活動場所	七尾市中島上町地内
参加者	中島小学校6年生児童と地域住民 56名(小学生 34名 引率教員 4名 一般参加者 18名)		
連携団体	中島小学校、くまき里山愛好会、なかじまスポーツクラブ内歩俱樂部(あるくらぶ)		
活動のねらい	各種団体や学校等が連携して地域の歴史を学び、様々な実践活動で人と人が交流する場を構築し、地域資源活用型コミュニティを考え実践する。		
活動の概要	<p>○健康作りと併せて史跡探索を行う「まんだらウォーキング」を開催。</p> <p>○地域住民と小学校5・6年生が郷土の歴史探索を通じて、地域の子供と大人が交流する機会ができ、郷土に愛着を持つ心を育むことができた。</p> 		
連絡先	七尾市熊木公民館 ☎ 0767-66-1567		

## 108

## 朝の声かけ運動

実施主体	輪島市立輪島公民館		
活動期日	毎週月曜日7時~8時	活動場所	河井小学校校門前・輪島高校近くの横断歩道
参加者	声かけ運動メンバー・河井小学校児童と保護者		
連携団体	河井小学校		
活動のねらい	朝の挨拶を交わすことで子供との交流を図るとともに、児童・生徒等の安全確保と正しい横断について指導することで、地域ぐるみで子供を育む。		
活動の概要	<p>○1年を通して(夏休み・冬休み・春休み等は除く)毎週月曜日7時~8時までの1時間、河井小学校の校門に立ち、登校して来る児童や、石川県立輪島高校の生徒に声かけを実施。</p> <p>○小学校と輪島高校付近の交差点で、声をかけながら、児童・生徒たちを事故から守る活動を実施。</p> <p>○声かけ運動を継続してきたことで、子供たちも挨拶ができています。中にはきちんと立ち止まって挨拶できる児童もいます。</p> 		
連絡先	輪島市立輪島公民館 ☎ 0768-22-2226		

## 109

## 河原田ジュニア検定

実施主体	輪島市立河原田公民館		
活動期日	平成29年2月27日・3月6日	活動場所	河原田小学校図書室
参加者	河原田小学校4年生～6年生		
連携団体	地域ボランティア		
活動のねらい	子供たちに郷土の歴史や文化について知識を深めてもらうために、勉強会を行い、「河原田ジュニア検定」と称した検定を行うことで、郷土愛を育む機会をつくる。		
活動の概要	<p>○「ふるさとかるた」をもとに作成した資料を活用し、事前勉強会を行い、「河原田ジュニア検定」と称した検定を実施。</p> <p>○勉強して地元の歴史が分かって良かったという子供の意見が多く聞かれた。また、満点の子供たちが多く、自分たちの住む地域の歴史・文化を知る良い機会となった。</p>		
連絡先	輪島市立河原田公民館 ☎ 0768-22-2235		



## 110

## お年寄りとの交流

実施主体	珠洲市立飯田公民館 珠洲市立飯田小学校		
活動期日	学級で年1回（基本第3火曜日）	活動場所	飯田公民館
参加者	飯田町長寿会のメンバー 飯田小学校児童（各学年順番に）		
連携団体	飯田町長寿会		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のお年寄りと児童の世代間交流を図る。</li> <li>・子供たちの豊かな心の育成と、高齢者の健康な体づくり・生きがいのづくり、社会参加の促進を図る。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○お年寄りと一緒に、伝承遊び、児童が作ったゲームやクイズ、梅干し作りなどを行い、子供たちとの交流を実施。</p> <p>○地域のお年寄りから褒めてもらえることで、子供たちの意欲が高まったり、お年寄りが校区の子供たちのことを知り、日頃子供たちに声をかけてくれたりするなどの効果がみられる。</p>		
連絡先	珠洲市立飯田小学校 ☎ 0768-82-0044		



## 111

## 若山 庭まつり・キリコと盆踊りの夕べ

実施主体	珠洲市立若山公民館		
活動期日	平成29年6月11日／8月14日	活動場所	若山の庄／若山小学校前庭
参加者	1～6年児童40名 職員7名／全校児童43名 職員5名		
連携団体	学校、若山青年団、若山婦人会		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若山の伝統行事を知り、地域の方と交流を深める。</li> <li>・若山地区で昔行われていた農耕作業やちよんがり節などを伝承する。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○地域の行事である「庭まつり」で児童が農耕の唄の実演やちよんがり踊りを披露。また、「盆踊りの夕べ」では子どもキリコに参加。</p> <p>○地域行事に参加することにより、子供たちは、地域を知り、大人たちと触れ合い、地域社会の一員であることを自覚することができた。</p>		
	 		
連絡先	珠洲市立若山小学校 ☎0768-82-0240		

## 112

## 親子凧作り教室・さわやかなのろし凧揚げまつり

実施主体	珠洲市立日置公民館		
活動期日	平成29年5月13日(土)・14日(日)	活動場所	直公民館、祿剛埼灯台台地
参加者	直小学校の児童と保護者、教職員 約50名 その他 地域の連携団体の方々		
連携団体	直小学校、PTA、直公民館、狼煙義生団、狼煙女性部、横山婦人会、狼煙観光協会、横山新生会、狼煙明日の町づくり維新協議会、横山振興会、祿剛長寿会		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の伝統行事への参加を通して、地域の方々とのつながりを構築する。</li> <li>・親子で凧作りを体験し、凧揚げまつりに参加することで、親子の絆を深める。</li> <li>・日置公民館・直公民館を中心に様々な団体が、子供を育成する。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○凧は、子供たちが図工の時間に絵を仕上げ、直公民館での親子凧作り教室で仕上げた。凧作り教室では、地域の方に、作るときのコツを教えてください、親子で作成。</p> <p>○親子で、伝統の凧作りを学ぶことができ、ゆっくり楽しいひと時を持つことができた。また、PTAの体験活動として、保護者どうしのつながりを深めることができた。</p>		
	 		
連絡先	珠洲市立直小学校 ☎0768-82-0313		



## 113

## 宝立キリコ太鼓

実施主体	宝立キリコ太鼓保存会		
活動期日	毎年6月～8月	活動場所	宝立公民館
参加者	宝立小中学生, 宝立キリコ太鼓保存会		
連携団体	宝立小中学校		
活動のねらい	笛・太鼓教室を通して、伝統文化の伝承と郷土を愛す心を育む。		
活動の概要	<p>○地元の保存会の指導により、太鼓教室を実施。          ○地域の要請に応じて、キリコ太鼓の演奏を披露。          ○児童生徒のほか、卒業生も加わり、地域の祭りも活性化している。</p> 		
連絡先	珠洲市立宝立小中学校 ☎ 0768-84-1106		

## 114

## 子ども和太鼓教室

実施主体	金沢市湯涌公民館		
活動期日	通年	活動場所	芝原中学校柔道場 他
参加者	受講生（湯涌小学校の児童）		
連携団体	金沢百萬石太鼓、湯涌芝原小中学校		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湯涌地区の伝統芸能の継承と健全育成を通じて地区への愛着心を深める。</li> <li>・単に技術の向上だけでなく、礼儀や挨拶などを中心としたしっかりとした人格の形成を目指す。</li> <li>・活動を通じ自主性や向上心・体力も養う。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○毎週2回、地域の方々に指導していただき、練習を実施。湯涌芝原小中学校との合同文化祭などの学校行事や地域行事で披露。また、依頼に応じ、高齢者施設等での慰問演奏など、市内外各地で演奏。</p> <p>○異世代の交流の機会として、また地域の文化資源として、子供たちの健全な育成に役立っている。</p>  		
連絡先	金沢市湯涌公民館 ☎ 076-235-1852		

## 115

## 二俣いやさか踊り

実施主体	二俣いやさか踊り保存会		
活動期日	通年	活動場所	二俣町医王山改善センター等
参加者	金沢市立医王山小中学校児童 約40名		
連携団体	金沢市立医王山小中学校、二俣町会、二俣いやさか踊り保存会		
活動のねらい	石川県指定無形民俗文化財「二俣いやさか踊り」について、地域の子供たち及び医王山小中学校に通学している児童への地域の伝統芸能を継承を図る。		
活動の概要	<p>○二俣いやさか踊り保存会の指導を受け、練習を実施。</p> <p>○年に3回（紙すきの里まつりなど）披露する機会があり、男子は「太刀踊り」「鈴踊り」「管笠踊り」、女子は「手踊り」「扇踊り」「菅傘踊り」「傘踊り」の七種類の踊りを、年齢が上がるごとに習得する。</p> <p>○学校の文化祭でも披露しており、地域の保存会の方が何度も練習会を設け、指導されている。</p>		
連絡先	二俣いやさか踊り保存会 ☎ 076-236-1233		



## 116

## 左義長

実施主体	羽咋市立富永公民館（富永まちづくり推進協議会）		
活動期日	平成29年1月16日	活動場所	わたぼうし倶楽部高齢者向け住宅「みずほ」前広場
参加者	全校児童、保護者、富永まちづくり推進協議会の皆さん		
連携団体	小学校、PTA		
活動のねらい	地域に根ざした伝統的な行事に触れるとともに、子供たちと地域の方々の交流を図る。		
活動の概要	<p>○文化的行事の一環として、公民館主催の左義長に子供たちが参加。</p> <p>○各家庭のしめ飾りや古いお札の他に、校内で掲示した書き初めも併せて大きな松明を高く積み上げた。神社の神主さんによるお祈りの後、協議会の皆さんと児童代表の子供たちが松明に火を入れた。</p> <p>○年々左義長を行う地区が減ってきており、こうした地域に根差した伝統的な行事に触れることは子供たちにとって大変貴重な経験となっている。</p>		
連絡先	羽咋市立瑞穂小学校 ☎ 0767-22-0005		



## 117

## 親子クッキング

実施主体	加賀市立錦城小学校PTA 家庭教育委員会		
活動期日	平成28年6月18日(土)	活動場所	錦城小学校 家庭室
参加者	児童と保護者		
連携団体	まちづくり推進協議会社会福祉部		
活動のねらい	地元の特産物を知り、自然の恵みに感謝するとともに、親子でパフェを作りながら食の大切さを感じる。		
活動の概要	<p>○地元の方(「くいもん家ふるさと」鴨出氏)を講師にお招きし、加賀パフェについての説明を受けた。</p> <p>○20組の親子が集まり、和やかにパフェの盛りつけを行った。</p> <p>○その他、どら焼き・ゴマせんべい・れんこん餅等も作成。</p>		
連絡先	加賀市立錦城小学校 ☎0761-72-0269		



## 118

## 学校周辺でのあいさつ運動

実施主体	加賀市立錦城中学校PTA		
活動期日	毎週水曜日	活動場所	生徒玄関前
参加者	錦城中学校生徒会役員とPTA各委員 60名		
連携団体	加賀市立錦城中学校		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登校する生徒へ挨拶を交わすことで、学校と地域とのつながりを深める。</li> <li>・学校のようなすを保護者に知ってもらう機会とする。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○PTA各委員会で当番月を決め、毎週水曜日の登校時(7:30~8:20)に生徒玄関前で、生徒会執行部と協力して登校する生徒と挨拶を交わす。</p>		
連絡先	加賀市立錦城中学校 ☎0761-72-1515		



## 119

## 体験講話

実施主体	加賀市立錦城中学校PTA		
活動期日	2・3年生：6月、1年生：1月	活動場所	教室、講堂など
参加者	全校生徒、学校職員、PTA役員、保護者（希望参加）		
連携団体	加賀市立錦城中学校		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で活躍されている方々の体験談を通して知識や文化、生き方を学ぶ。</li> <li>・生徒の見識を深めることから、その成長とこれからの地域の発展を展望する。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○クラス毎に講師を招いて、生き方や体験について講演（50分）を実施。  ○講師の人選はPTA教養委員会が中心となって行なう。  ○学校公開の機会に実施し、保護者の方にも参加を呼びかけている。</p> 		
連絡先	加賀市立錦城中学校 ☎0761-72-1515		

## 120

## 環境整備作業

実施主体	作見小学校PTA		
活動期日	平成29年6月11日（日）	活動場所	作見小学校運動場等
参加者	4～6年児童 保護者 児童センター所員 学校施設使用者		
連携団体	加賀市立作見小学校、学校施設使用団体		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の敷地内や放課後使用している施設を整備し、児童が学習・活動しやすい環境づくりを図る。</li> <li>・親子や地域の方と作業することで、結びつきを深める。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○保護者・児童（4～6年）・学校職員・学校施設使用団体が協力し、運動場の草刈り・体育館の清掃等を実施。  ○親子や地域の方々とともに作業することで、地域のつながりを深める良い機会となる。</p> 		
連絡先	加賀市立作見小学校 ☎0761-74-0164		

## 121

## 丘の子サタデー

実施主体	加賀市立南郷小学校PTA		
活動期日	平成29年6月17日	活動場所	南郷地区会館
参加者	児童、PTA母親・成人教育部委員、保護者、学校職員		
連携団体	市役所健康課(管理栄養士)、保健推進員		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と地域の団体が連携して食育を行うことで、自分の食生活を見直し、自らの健康を守ろうとする態度を育てる。</li> <li>・親子クッキングをして、楽しい時間を過ごす。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○「おやつについて考えよう」をテーマとして、栄養士によるおやつや飲み物に含まれる糖分に関する学習の実施。</p> <p>○栄養士から栄養バランスを考えた食事のメニューや調理の仕方の説明後、高学年・低学年が、保護者とともに、学年に応じた内容で調理実習を実施。その後、保護者や地域の方とともに会食。</p>		
連絡先	加賀市立南郷小学校 ☎0761-72-1894		



## 122

## 親子地引き網体験

実施主体	珠洲市立みさき小学校PTA、珠洲市立三崎中学校育友会		
活動期日	平成29年7月30日(日)	活動場所	三崎町森腰付近の海岸
参加者	みさき小学校と三崎中学校の児童生徒、保護者、職員 約200名		
連携団体	学校、三崎町青年団他(漁師さんの指導、地域の方々の協力)		
活動のねらい	ふるさとの豊かな自然の中で、古来より生業として伝承されてきた地引き網漁を親子で体験する中で、地域の人たちと親子がふれ合い、ふるさとのよさを再発見し、豊かな心を持つ子供の育成を目指す。		
活動の概要	<p>○みさき小学校PTA役員・三崎中学校育友会役員が中心となり、学校・地元の青年団と連携し、親子参加の地引き網を実施。</p> <p>○網にかかった魚の紹介を地元の「魚博士」に解説していただき、その後ふかし芋やつみれ汁、刺身など食事をしながら、小中学生・保護者・地域の方々がふれ合う機会となっている。</p> <p>○児童生徒は地域の方々や保護者に感謝するとともに、ふるさとのよさをあらためて実感している。</p>		
連絡先	珠洲市立三崎中学校 ☎0768-88-2423		



## 123

## 親子見附海岸ボランティア活動

実施主体	珠洲市立宝立小中学校PTA		
活動期日	平成29年7月8日(土)	活動場所	見附海岸一帯
参加者	小中学生・小中学校PTA・見附島観光協会員、商店島会会員、NPO法人おらっちゃんの里山里海会員		
連携団体	宝立小中学校、見附島観光協会、見附島商店会		
活動のねらい	宝立町そして能登半島のシンボルである見附海岸清掃活動を通してボランティア精神を培い、郷土を愛する意識を高める。		
活動の概要	<p>○地域の方々と連携し、親子で海岸清掃活動を実施。</p> <p>○1～6年生とその保護者は海岸周辺の空きかん及びごみ拾い、7～9年生とその保護者はトイレ・脱衣場の清掃や草刈りを行った。</p> <p>○親子で参加するボランティア活動を通して、郷土を愛する心を育むことにつながった。</p>		
連絡先	珠洲市立宝立小中学校 ☎ 0768-84-1106		



## 124

## 学校周辺環境整備

実施主体	宝立小中学校PTA		
活動期日	8月下旬	活動場所	宝立小中学校
参加者	宝立小中学校PTA 宝立小中学校児童生徒 宝立小中学校職員		
連携団体	宝立小中学校		
活動のねらい	親子で学校周辺の環境整備を行うことにより、親子のふれ合いの機会を提供するとともに、愛校心の醸成を図る。		
活動の概要	<p>○親子で、学校内の窓ふき・グラウンド周辺の草刈りを実施し、学校内外の環境を整備。</p> <p>○親子共同で作業を行い、親子のふれ合いの機会になっている。また、愛校心を醸成する機会にもなっている。</p>		
連絡先	珠洲市立宝立小中学校 ☎ 0768-84-1119		



## 125

## 読み聞かせボランティア

実施主体	珠洲市立宝立小中学校PTA		
活動期日	毎月第1月曜日	活動場所	1～6年教室
参加者	宝立小中学校の児童 約50名 読書ボランティアグループ		
連携団体	宝立小中学校、読書ボランティアグループ		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせをすることで、子供たちに読書に興味を持たせる。</li> <li>・読書好きの子供を育てる。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○毎月第1月曜日に読書ボランティアグループが学校を訪れて、各教室で本の読み聞かせを実施。 ○子供たちは、毎回とても集中して読み聞かせを聞いており、本好きな児童や読書好きな児童が増えている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div>		
連絡先	珠洲市立宝立小中学校 ☎ 0768-84-1119		

## 126

## 金沢子ども竹灯り2016

実施主体	子ども竹灯り実行委員会		
活動期日	平成28年10月10日・15日	活動場所	馬場小学校並びに馬場校下全域
参加者	市内の小学校(11)、中学校(1)、幼稚園・保育園・子ども園(5)の子供 133名、 大人 68名、スタッフ(学生ボランティア、地域ボランティア) 125名		
連携団体	金沢星稜大学人間科学部池田ゼミナール、金沢大学人間社会学域地域創造学類雪かきボランティア馬場支部、金沢市立馬場小学校、金沢市立馬場小学校PTA、金沢市立小將町中学校、馬場校下町会連合会、金沢市馬場公民館、馬場子ども会連合会、東山大通りまちづくり協議会、玄門寺幼稚園、ひがしやま子ども園、金沢市立馬場児童館、ばば児童クラブ、金沢市子ども会連合会シニア委員会		
活動のねらい	金沢市内中心部において少子高齢化が進む中、金沢の歴史と伝統文化を高齢者から壮年者・子供たちへ伝承し、竹の保全作業を通して子供たちに将来のまちづくりを見つめ考えてもらう。		
活動の概要	<p>○10/10の制作交流会では、10名程度で一つの班となり、保護者と子供あるいは上級生と下級生が協力しあいながら「平和への祈り」をテーマとした竹灯ろうを制作。子供たちにより近い世代である大学生が各班にリーダー(進行役)として加わることによって、地域だけではできない若い世代との交流も深めることができた。</p> <p>○10/15には、小將町中学校吹奏楽部による吹奏楽演奏や馬場子ども会連合会太鼓部による和太鼓演奏などの発表交流会と、地域の方々(町会連合会)のご協力で、町中に竹灯ろうを設置し火を灯した中で、町中交流ラリーを実施。また、馬場小学校グラウンドには大学生たちが竹灯ろうを並べて作った『元気』という文字を子供たちが屋上から眺め、東北や熊本に向けての想いをはせた。</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
連絡先	子ども竹灯り実行委員会 ☎ 076-252-1905		

## 127

## 校庭キャンプ

実施主体	松小おやじの会		
活動期日	平成28年8月20日～21日	活動場所	松任小学校の運動場及び体育館
参加者	松任小学校の児童及び保護者 約120人		
連携団体	松任小学校、松任小学校PTA、松任校下子ども会連絡協議会、松任みどりの少年団		
活動のねらい	野外活動やもの作り体験などを通して、子供たちと父親たちとの交流を図る。		
活動の概要	<p>○小学校の運動場や体育館を利用して一泊二日のキャンプを親子で体験。イワナつかみ、宝探し、カレーコンテスト、夜の学校探検などを実施。</p> <p>○日ごろ、PTA活動や子ども会活動には父親の参加が少ないが、校庭キャンプなら子供と一緒に参加してみようと思う父親が多く、参加した父親にも役割を分担してもらい活動したことで、父親同士の交流を深めることができた。また、学年の違う子供たちが協力しながら活動することができた。</p>		
連絡先	松小おやじの会 ☎076-276-1261（白山市立松任小学校）		



## 128

## 1キロ大作戦

実施主体	七尾市立徳田小学校PTA		
活動期日	1年を通して	活動場所	小学校周辺通学路ほか
参加者	児童と保護者		
連携団体	小学校、地区防犯委員会、見守り隊		
活動のねらい	登下校時における保護者の送迎が多くなってきたことによる、肥満などの子供たちの健康問題を解決するため、徒歩による登下校を推進する。		
活動の概要	<p>○学校を中心とした半径1キロは歩いて登下校する「1キロ大作戦」を実施。</p> <p>○子供たちは早起きになったり、肥満児の割合が低くなったり、玄関前の車の渋滞が回避されたりするなどの改善が見られた。</p>		
連絡先	七尾市立徳田小学校PTA ☎0767-57-1529		





## 129

## 親子奉仕作業

実施主体	PTA（保健・教養委員会）		
活動期日	平成29年8月27日	活動場所	学校グラウンド及び周辺
参加者	全校生徒、保護者、学校職員		
連携団体	能登町立松波中学校PTA、松波中学校		
活動のねらい	親子で協力して学校グラウンド及び周辺の環境整備を行い、日頃と違った活動を通して親子のつながりを深める。		
活動の概要	<p>○親子（生徒、保護者）、教職員でグラウンドを中心に草刈り作業を実施。 ○参加しやすい夕方の時間帯に設定し、多くの親子が参加した。</p> 		
連絡先	能登町立松波中学校 ☎ 0768-72-0004		

## 130

## 登校時の安全指導

実施主体	楽々会（地域の見守り隊）		
活動期日	月曜日から金曜日の毎日	活動場所	錦城中校区内の通学路
参加者	楽々会メンバー 5名程度		
連携団体	加賀市立錦城中学校		
活動のねらい	登校時の児童生徒の安全を指導するとともに、挨拶などの声かけを行い、子供たちの登校マナーの向上を図る。		
活動の概要	<p>○横断歩道や交差点など通学路の危険箇所において、児童生徒の安全指導や挨拶などの声かけを実施。</p> 		
連絡先	加賀市立錦城中学校 ☎ 0761-72-1515		

## 131

## 読み聞かせ・劇の上演

実施主体	読み聞かせグループ「お話どんどん」		
活動期日	月2回	活動場所	小学校各教室・体育館等
参加者	小学校児童		
連携団体	加賀市立錦城東小学校		
活動のねらい	児童への読み聞かせや、劇の上演を通して、情操を育む。		
活動の概要	<p>○月2回、始業前の絵本の読み聞かせを実施（紙芝居や楽器演奏も交えて）。</p> <p>○夏休みの「平和集会」時に、戦争と平和に関する劇の上演、春には卒業・入学の記念に劇を披露し、卒業生には手づくりのしおりをプレゼントする。</p>		
連絡先	加賀市立錦城東小学校 ☎ 0761-72-3234		



## 132

## 美川っ子教室（はりんこ教室）

実施主体	美川自然人クラブ		
活動期日	年間通して5回（日帰り）	活動場所	安産川（やすまるがわ） （白山市美川地域）
参加者	小学生		
連携団体	小学校、町内会、地域団体、大学等		
活動のねらい	手取川とその周辺に生息するはりんこ（トミヨ）に代表される魚や動植物、鳥類などの観察を通じ自然に親しむことで健全な人間性を育む。		
活動の概要	<p>○年間5回、はりんこ自然教室を実施。 （①はりんこ観察と水質調査、②カブトムシの飼育講座、③親子ふれあい自然観察会、④サケの産卵観察、⑤野鳥観察）</p> <p>○その他、安産川清掃活動などのはりんこが生育できる環境整備を実施。</p>		
連絡先	白山市教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 076-274-9572		



## 133

## 本の読み聞かせ

実施主体	野々市市立館野小学校図書ボランティア		
活動期日	毎週月曜日の長休み、読書週間中の朝読書、夏季休業	活動場所	小学校和室、各教室、マルチパーパス
参加者	館野小学校の児童		
連携団体	小学校		
活動のねらい	子供たちが本に親しむ機会を提供し、子供の読書活動を推進する。		
活動の概要	<p>○長休み、朝読書の時間、夏季休業中に、図書ボランティア（地域の方々）が本の読み聞かせや紙芝居などを実施。</p> <p>○毎回、学年を問わず、たくさんの児童が参加している。</p>		
			
連絡先	野々市市立館野小学校 ☎ 076-248-0622		

## 134

## 下校時の見守り活動

実施主体	館野小学校区の見守り隊		
活動期日	児童の下校時間	活動場所	各町内の通学路
参加者	館野小学校の児童		
連携団体	野々市市立館野小学校		
活動のねらい	下校時の児童の安全を見守るとともに、挨拶などの声かけを行い、子供たちの規範意識の向上を図る。		
活動の概要	<p>○見守り隊の方々が、下校時の見守りを実施。</p> <p>○1年生対象の交通安全教室や3年生対象の自転車教室にも協力いただいている。</p>		
			
連絡先	野々市市立館野小学校 ☎ 076-248-0622		

## 135

## わら細工に挑戦

実施主体	地域のお年寄り		
活動期日	平成29年1月27日	活動場所	押野公民館
参加者	野々市市立館野公民館		
連携団体	小学校、押野公民館		
活動のねらい	米を育てる「わら」を使った工作に取り組むことで、稲のわらも昔の人にとっては大事な原料であることを知る。		
活動の概要	<p>○5年生が育てた稲の「わら」を使い、地域のお年寄りからわら縄づくりを教わり、わら細工に挑戦した。</p> <p>○わら細工に挑戦しながら、お年寄りの技や知恵にふれ、地域の方々との交流もできた。</p> 		
連絡先	野々市市立館野小学校 ☎ 076-248-0622		

## 136

## 昔遊び体験

実施主体	地域のお年寄り		
活動期日	平成29年2月9日	活動場所	小学校1年教室、マルチパーパス
参加者	野々市市立館野小学校1年生		
連携団体	小学校		
活動のねらい	昔遊びに関心を持つとともに、高齢者と楽しく交流する。		
活動の概要	<p>○地域のお年寄りから、竹とんぼ・コマ・けん玉、あやとり、おはじきなどを教わった。</p> <p>○日頃することのない遊びに、子供たちは興味を持って取り組み、地域の方々とも楽しく交流することができた。</p> 		
連絡先	野々市市立館野小学校 ☎ 076-248-0622		

## 137

## 子どもを褒めて育てる地域づくり

実施主体	各学校子褒め委員会		
活動期日	平成28年4月1日～ 平成29年3月13日	活動場所	市内各所
参加者	児童生徒、地域の子褒めサポーター及びボランティア、保護者		
連携団体	小・中学校、地域の子褒めサポーター及びボランティア、家庭（保護者）		
活動のねらい	子供たちが学校や地域で行われる様々な体験や活動を通して、自分に対する自信・自己肯定感・自己有用感を育んでいく。		
活動の概要	<p>○子褒めサポーターが学校子褒め委員会のニーズを把握し、保護者や地域住民等の支援ボランティアの協力により、様々な体験や活動を実施。学校・家庭・地域が連携した体験や活動を通して、子供たちの自己肯定感を育む。</p> <p>H28 活動例：地域の清掃活動、赤ちゃんふれあい授業 など</p>		
連絡先	金沢市教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 076-220-2441		



## 138


## 子ども提灯太鼓行列

実施主体	金沢市子ども会連合会		
活動期日	平成29年6月2日	活動場所	金沢市役所周辺
参加者	小学5年生以上の子ども会会員と引率者		
連携団体	金沢市教育委員会事務局、金沢市経済局、石川県警		
活動のねらい	金沢市最大のイベントである百万石まつりの一環として、子供たちが参加することで、金沢市民としての自覚を高める契機とする。		
活動の概要	<p>○各子ども会毎に、提灯をもって金沢市歌にあわせて太鼓をたたきながら、金沢市役所周辺を行進する。</p>		
連絡先	金沢市教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 076-220-2441		



## 139

## 放課後子ども教室

実施主体	津幡町教育委員会事務局生涯教育課		
活動期日	水曜日・土曜日	活動場所	井上コミュニティプラザ
参加者	井上地区内に在住する小学生		
連携団体	小学校、地区各種団体（ちょんがり保存会、高齢者サークル等）		
活動のねらい	地域の幅広い人材を指導者に迎え、学校では体験できない文化活動や地域住民との交流活動などを通して、心豊かで健やかな子供たちを育む。		
活動の概要	<p>○放課後等に、地域の方々を講師として、ちょんがり踊り、イモ巾着づくり、昔遊びなどの体験を実施。</p> <p>○地域の方々に教えてもらい、交流することで、より一層地域の絆が生まれ、連携が図られた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
連絡先	津幡町教育委員会事務局生涯教育課 ☎ 076-288-2125		

## 140

## 登下校時安全指導

実施主体	内灘町立大根布小学校安全ボランティア隊、宮坂交通安全ボランティア、白帆台防犯パトロール隊		
活動期日	4月～3月、原則月曜日～金曜日	活動場所	大根布小学校周辺の通学路、宮坂地区、白帆台地区
参加者	学校安全ボランティア隊 64名		
連携団体	内灘町立大根布小学校及びPTA		
活動のねらい	登下校時の児童の安全を見守る。		
活動の概要	<p>○毎日の登下校時の安全指導の実施。</p> <p>○その他、学校安全ボランティアさんの紹介の会、2年生児童との交流会、6年生を送る会へ参加していただいている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
連絡先	内灘町立大根布小学校 ☎ 076-286-3111		

## 141

## 小中学校登下校安全指導

実施主体	宝達志水町青少年育成町民会議		
活動期日	1年間通して活動	活動場所	宝達志水町全域
参加者	地域の方々、各小中学校 PTA 保護者・教職員 約200名		
連携団体	小学校、PTA、地域の方々		
活動のねらい	地域住民の方々に、子供たちとのふれあいを通して、子供たちや学校への理解を深めてもらう。		
活動の概要	<p>○地域住民の方々が、「地域ぐるみで見守る」をモットーに活動し、子供たちの安全を確保し、地域全体で新たなコミュニケーションの機会を設け、ひいては子どもたちの規範意識の向上にもつなげる。</p> 		
連絡先	宝達志水町教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 0767-29-8320		

## 142

## 加茂っ子キャンプ教室

実施主体	加茂子ども会		
活動期日	平成28年8月6日～7日	活動場所	旧加茂保育園
参加者	加茂子ども会会員		
連携団体	小学校、保護者、地域の方々		
活動のねらい	体験活動を通じ、児童が助け合い、共同で生活することにより健全な身体と精神を養う。		
活動の概要	<p>○釜炊き、流しソーメン、昔の遊び、テント泊などの体験活動を実施。 ○普段できない経験を通じて、子供たちや保護者など地域の交流ができ、地域の絆を再認識できた。</p> 		
連絡先	志賀町教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 0767-32-9350		

## 143

## 羽咋市子ども相撲大会

実施主体	羽咋市羽咋地区青年団・羽咋市相撲連盟・羽咋市子ども会育成会		
活動期日	平成29年6月11日(日)	活動場所	羽咋市唐戸山相撲場
参加者	市内小学校4年生から小学校6年生までの児童 (個人の部 143人、団体の部 28チーム参加)		
連携団体	羽咋市教育委員会事務局		
活動のねらい	日本の国技としての相撲を通じて、礼を重んじ心身を鍛えると共に、羽咋市内各小学校児童が、交流を深める。		
活動の概要	<p>○羽咋市は古来より相撲が盛んな地域であることから、羽咋の歴史や風土を感じ、由緒ある唐戸山相撲場で取組を実施。</p> <p>○郷土への愛着と相手に対する礼節を養い、心身ともに健全な羽咋っ子を育てることができた。また、小学校から相撲に親しむことにより、中学・高校での相撲大会出場への道筋をつけることができた。</p>		
連絡先	羽咋市教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 0767-22-9331		



## 144

## キッズ大冒険 in 立山

実施主体	羽咋市子ども会育成会		
活動期日	平成29年8月1日(火)～2日(水)	活動場所	国立立山青少年自然の家・立山
参加者	市内小学校1年生から小学校3年生までの児童(20名参加)		
連携団体	羽咋市教育委員会事務局		
活動のねらい	市内の各校区子ども会育成会の連携を図るとともに、子供たちの相互の交流と健全な育成を図る。		
活動の概要	<p>○小学校低学年が親元を離れ、集団宿泊と立山登山を体験。</p> <p>○初めての登山を体験することで達成感を得たり、友達との宿泊で交流を深めたりすることができた。</p>		
連絡先	羽咋市教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 0767-22-9331		





## 145

## 消防団との交流会

実施主体	中能登町消防団鹿西分団		
活動期日	平成29年6月10日(土)	活動場所	鹿西小学校グラウンド
参加者	鹿西小学校の児童、教諭		
連携団体	鹿西小学校、中能登消防署		
活動のねらい	子供たちとの交流を通して、地域の消防団に親しみを持ってもらうとともに、子供たちの防災意識の向上を図る。		
活動の概要	<p>○消防車乗車体験(1年生) 小型消防車体験・子供防火服試着体験(2年生)、水消火器・山火事用消火器具体験(3・4年生)、放水体験、防火服試着体験(5・6年生)などの交流体験を実施。また、消防団員5名・児童代表5名での対抗競技「バケツ放水競技」も実施。</p> <p>○交流会も18年目を迎え、楽しく体験しながら防災意識の向上を図ることができた。</p>		
連絡先	中能登町教育委員会事務局生涯学習課 ☎0767-76-1900		



## 146

## お話ボランティアによるお話会

実施主体	おはなしグループのんたん、ピノキオ、ボランティアーズ		
活動期日	毎月1回土曜日	活動場所	中能登町生涯学習センター「ラピア鹿島、ふるさと創修館、カルチャーセンター飛翔」
参加者	子供と保護者など		
連携団体	中能登町立図書館		
活動のねらい	近年子供の本との関わりが不足していることから、子供に絵本の読み聞かせや物語を伝えることにより、子供たちに本や図書館を好きになってもらう。		
活動の概要	<p>○主に絵本の読み聞かせ、紙芝居、ストーリーテリング、工作などを実施。</p> <p>○お話会を始める際は、わらべうたや手あそびを行い、子供が集中しやすいような工夫を行っている。</p> <p>○地域のボランティアで実施することにより、地域と子供たちのつながりが生まれている。</p>		
連絡先	中能登町教育委員会事務局生涯学習課 ☎0767-76-1900		



## 147

## 朝読書タイムの読み聞かせ

実施主体	図書館読み聞かせボランティア		
活動期日	毎月1回（毎月読書の日の23日前後に実施。学校により開催月の変動あり）	活動場所	中能登町立小・中学校
参加者	児童・生徒		
連携団体	中能登町立図書館		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒に絵本の読み聞かせを通して、本に興味をもってもらう。</li> <li>・日々勉強や部活動で慌ただしい子供たちに向け、癒しの時間を届ける。</li> <li>・図書館でのお話会に参加できない子供たちにも学校に出向くことにより、本の楽しさを伝える。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○学校の依頼により、図書館ボランティアを派遣。毎月23日の読書の日を中心に学校から要望された日に、4～6名が出向き、朝読書タイムの15分間に読み聞かせなどを行っている。</p> <p>○ボランティアと町立図書館職員でボランティア交流会を行い、意見交換を行い、改善を図っている。</p>		
連絡先	中能登町教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 0767-76-1900		



## 148

## 春休み宿題合宿

実施主体	能登島地区社会福祉協議会 七尾市能登島公民館		
活動期日	平成29年3月26日	活動場所	能登島地区コミュニティセンター
参加者	能登島小学校生徒、保育園年長児（4月入学予定者）		
連携団体	能登島小学校、能登島地区民生児童委員、能登島老人クラブ連合会		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長児においては、翌週に控える入学を前に、先輩小学生との交流を図る。</li> <li>・小学生においては、家では進まない宿題を友達や地域の大人と教え合いながら進める。</li> <li>・地域の大人（民生児童委員、老人クラブ会員）においては、認知症予防も含め、脳の活性化を図る。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○地区社協と公民館共催で、小学校を通じて配布したチラシで応募してくれた生徒約20名と、地域の大人と一緒に宿題に取り組んだ。</p> <p>○入学を控えた園児はひらがなの練習や折り紙、温泉たまご作り、小学生は低・中・高学年でそれぞれテーブルに分かれて宿題を実施。地域の方々も混ざり、同じ問題に取り組んだ。</p> <p>○昼食に皆でカレーライスを食べ、親交を深めた。</p>		
連絡先	七尾市能登島公民館 ☎ 0767-84-1110		



## 149

## 下校時などの安全見守り

実施主体	地域住民（穴水町学校支援地域本部）		
活動期日	毎週水曜日午後3時、学校行事（運動会・マラソン大会）の警備	活動場所	町内小学校周辺・駅、バス停等
参加者	老人クラブ・セーフティードライバーズクラブ会員 120名		
連携団体	学校、地区婦人会		
活動のねらい	地域と学校等が連携して児童の安全確保を図るとともに、地域の方々とのつながりを持ち、児童の地域とのコミュニケーションを構築する。		
活動の概要	<p>○毎週水曜日、町内各小学校周辺や駅・バス停など街頭に立ち、児童の下校時の安全を見守り。また、学校行事（運動会・マラソン大会など）の警備としてグラウンドの見守り、街頭での交通整備などを実施。</p> <p>○見守り活動を円滑に行えるよう、新学期には、見守り隊員と児童の対面式を実施。</p>		
連絡先	穴水町教育委員会事務局 ☎ 0768-52-3720		



## 150

## 社会体育大会

実施主体	輪島地区社会体育大会実行委員会		
活動期日	平成28年9月25日（日）	活動場所	鳳至小学校
参加者	輪島地区の住民		
連携団体	区長会、河井小学校、鳳至小学校、子ども育成会連絡協議会、公民館3館、保育所、幼稚園		
活動のねらい	地区総合参加の伝統あるレクリエーション行事で、老若男女が親睦を深め、協力し合うことで地域住民と子供たちのつながりを再構築する。		
活動の概要	<p>○紅白玉入れ、パン食い競争、じゃんけん大会、リレーなど、各種地区対抗や誰でも参加できる競技を実施。</p> <p>○市内の幼稚園や保育所の園児達のお遊戯や鼓笛などもプログラムに取り入れている。</p>		
連絡先	輪島市教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 0768-23-1176		



## 151

## 防犯サツマイモづくり

実施主体	蛸島地区防犯委員会		
活動期日	5月下旬～10月中旬まで	活動場所	珠洲市立蛸島小学校近くの防犯農園
参加者	珠洲市立蛸島小学校 全校児童32名、防犯委員会、珠洲警察署、蛸島公民館、婦人会、長生会、蛸島保育所、少年補導員、蛸島町見守り隊		
連携団体	珠洲市立蛸島小学校、珠洲警察署、蛸島公民館、蛸島地区社会福祉協議会、婦人会		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯農園で多くの団体の人と触れ合いながらサツマイモを育てることにより、地域と共に防犯に対する意識を高める。</li> <li>・水やりや草むしりを通して、地域防犯の一員である意識を育てる。</li> <li>・収穫の喜びを味わい、児童が地域の福祉施設に届け、喜びを共有する体験を通して、ボランティア精神を養う。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○防犯農園で様々な団体と共にサツマイモの苗植えを実施。水やりや草むしりを小学校の縦割り班活動で行い、10月に収穫。</p> <p>○収穫したサツマイモは、参加者全員で分けた後、市内福祉施設に届けたり、給食で使用したりして、収穫の喜びを共有する。</p> <p>○蛸島町の多くの団体に関わることで、地域の結びつきが強くなり、防犯の意識が育っている。</p>		
連絡先	蛸島公民館 ☎0768-82-3202		



## 152

## 山野草を食べる会

実施主体	上戸知ろう会		
活動期日	平成29年5月14日(日) 8:00～13:00	活動場所	黒峰城址近辺
参加者	上戸小学校児童とPTA 約50名		
連携団体	上戸知ろう会、上戸公民館、上戸婦人会		
活動のねらい	地域・保護者の方々と一緒に山菜を採る・調理する・食べることを通して、自然に触れる楽しさを味わうとともに、地域・保護者の方々への感謝の気持ちを育み、子供たちの健全育成を図る。		
活動の概要	<p>○目的地である黒峰城址近辺まで移動しながら、途中数か所でワラビ・フキ・ウバミソウなどの山菜を採る。</p> <p>○目的地では、採った山菜をてんぷらや和え物などに調理し、みんなで一緒に食べる。</p> <p>○山野草に触れることを通して、子供たちが能登の豊かな自然や文化を守り育てていこうとする心の育成を図る。</p>		
連絡先	珠洲市立上戸小学校 ☎0768-82-0168		



## 153

## 経念の虫送り

実施主体	経念区会		
活動期日	平成29年6月17日	活動場所	古麻志比古神社・経念地区
参加者	小学校3～6年児童17名 職員2名		
連携団体	小学校		
活動のねらい	若山の伝統行事を知り、地域の方と交流を深める。		
活動の概要	<p>○地域の伝統行事である「虫送り」に参加。松明をもって害虫を追いながら、経念地区の田んぼのあぜ道を巡行。</p> <p>○地域行事に参加することにより、子供たちは、地域を知り、大人たちと触れ合い、地域社会の一員であることを自覚することができた。</p>		
連絡先	珠洲市立若山小学校 ☎0768-82-0240 		

## 154

## 本の読み聞かせ

実施主体	読書ボランティア「かたつむり」		
活動期日	毎月第2・第4の金曜日、夏のおはなし会、冬のおはなし会	活動場所	直小学校の教室、なかよしルーム
参加者	直小学校の児童（67名）と教職員（約10名）		
連携団体	小学校		
活動のねらい	読み聞かせを通して、児童の読書活動の推進と豊かな心の育成を図る。		
活動の概要	<p>○読み聞かせボランティアが、朝読書の時間や夏休み・冬休みに読み聞かせを実施。</p> <p>○子供たちは、読み聞かせを楽しみにしており、読書への興味関心も高まっている。</p>		
連絡先	珠洲市立直小学校 ☎0768-82-0313 		

## 155

## 親子ホタル観察会

実施主体	地域の環境保護団体「岡田ホタルの里」および正院小学校		
活動期日	6月下旬	活動場所	正院町岡田地区
参加者	正院小学校児童と保護者		
連携団体	岡田ホタルの里、正院小学校、正院小学校PTA		
活動のねらい	校区に生息するホタルを観察することを通して、ホタルのふしぎや美しさ、自然のすばらしさを知り、地域の自然を大切にしようとする心を育む。		
活動の概要	<p>○小学校低学年の授業で、ホタルが棲息する岡田地区をたずね、「岡田ホタルの里」の方の説明を聞き、幼虫の住む水路などを観察。</p> <p>○夜間、岡田集会所に児童が保護者とともに集まり、ホタル観察会を実施。専門家による解説の後、観察しながら、親子で散策。</p> <p>○地域に居住しながら、実際に光を放って飛び交うホタルを見たことのない子も多く、自然の面白さや環境保護の大切さを親子で実感できた。</p>		
連絡先	珠洲市立正院小学校 ☎ 0768-82-0404		



## 156

## 登下校の見守り活動

実施主体	宝立地区老人会（柏原老人会 鵜飼宝寿会 鵜島長生会）		
活動期日	年間を通じて	活動場所	宝立地区各地
参加者	宝立地区老人会（柏原老人会 鵜飼宝寿会 鵜島長生会）		
連携団体	宝立小中学校		
活動のねらい	児童の登下校時に各地に立って、不審者等から児童を守る。		
活動の概要	<p>○登下校時に児童の安全を見守るとともに、交通ルールやマナーの指導を実施。</p> <p>○宝立地区で児童に対しての不審者の声掛け事案がほとんどなく、子供たちの安全が守られている。</p>		
連絡先	珠洲市立宝立小中学校 ☎ 0768-84-1119		



## 157

## 里山の環境教育

実施主体	 加賀市三谷地区活性化推進協議会		
活動期日	毎年1回（秋頃）	活動場所	三谷小学校近くの里山「通称 ホーソの森」、三谷小学校教室
参加者	小学校児童、活性化推協の役員		
連携団体	三谷小学校		
活動のねらい	子供たちが里山の自然を体験し、自然と触れ合う活動を通して、地域の魅力と地域の資源を伝承する。		
活動の概要	<p>○三谷小学校児童を対象に里山教室を開催。里山の間伐材を利用して、SL 機関車・バイクを組み立てたり、間伐材（クヌギ等）を利用して椎茸の植菌を行ったりした。</p> <p>○その他、子供たちとともに里山に向き、樹木名盤を取り付けて樹木の名前を勉強する林間教室や、食べられる・食べられない山野草を三谷小学校敷地内及び付近の山で採取して目と手で触れる里山教室も実施。</p>		
連絡先	加賀市立三谷公民館 ☎ 0761-72-1762		



## 158


## 西谷すぎのこ塾

実施主体	西谷まちづくり推進協議会		
活動期日	毎週金曜日	活動場所	西谷地区会館
参加者	西谷地区から山中小学校に通う児童		
連携団体	山中小学校		
活動のねらい	放課後の時間を有効に使い、学習とスポーツを通じて、すべての学年の児童が親睦を深めるとともに、郷土の歴史や文化などに触れる。		
活動の概要	<p>○毎週金曜日の放課後、（16：00～18：00）西谷地区会館（西谷公民館）に集まり、宿題教室を開催。宿題が終わった子供は、ドリル学習などに取り組む。</p> <p>○宿題教室が終わった後、集まったすべての子供を対象に、ボール遊びやバドミントンなど、身体を使った遊びを実施。（雨天時は郷土カルタの作成や百人一首などを実施。）</p>		
連絡先	加賀市西谷地区まちづくり推進協議会 ☎ 0761-78-1251		



## 159

## お年寄りと子供のつどい

実施主体	東谷口地区まちづくり推進協議会		
活動期日	平成28年10月30日(日) 午前10時~午後2時30分	活動場所	東谷口地区会館
参加者	小学生を含む東谷口地区住民		
連携団体	小学校、PTA、老人会、婦人会、保育園、七友会、保健推進員、各種サークル		
活動のねらい	少子高齢化により子供の数が減少する中、地区に残っている食文化や歴史、伝承遊びなどを子供たちと学び、次世代へと伝えていくとともに、三世代の交流を図る。		
活動の概要	<p>○保育園児や小学校児童の歌や踊りの披露。お年寄りに餅つきや柿の葉寿司作りを教わり、一緒に試食。折り紙や双六・カルタ・まゆだま作り等、昔ながらの遊びで交流。一緒に読み聞かせや紙芝居、民謡などの鑑賞。子供たちやサークル、地区住民の趣味の作品展を開催。</p> 		
連絡先	加賀市立東谷口公民館 ☎ 0761-76-1172		

## 160

## 菖蒲湯祭り 代っ子みこし

実施主体	加賀市山代地区子ども会育成会		
活動期日	平成28年6月5日	活動場所	山代温泉 温泉通り
参加者	小学校4~6年児童 100名		
連携団体	山代小学校PTA、山代倶楽部OB		
活動のねらい	地域の祭りに参加し、祭りを盛り上げるとともに、子供たちの郷土愛を育む。		
活動の概要	<p>○山代地区の菖蒲湯まつりに小学校4~6年の児童約100名が参加。 ○4年生は高張り・手持ちを持ち、5年生は綱を引き、6年生は神輿を担ぎ、練り歩く。 ○子供たちが地域の祭りに参加することで、郷土愛が高まった。</p> 		
連絡先	加賀市立山代小学校 ☎ 0761-76-0146		



## 161

## 宇出津っ子見守り隊

実施主体	地域住民ボランティア		
活動期日	通年	活動場所	児童の通学路
参加者	小学校児童、地域住民ボランティア		
連携団体	宇出津小学校、宇出津小学校PTA		
活動のねらい	登下校時に、地域のボランティアの方々が子供たちの安全を見守るとともに、挨拶や交通安全指導を行い、子供との交流を深める。		
活動の概要	<p>○児童の登下校時に、通学路でのあいさつ運動、交通安全指導、見守りを実施。</p> <p>○曜日・時間帯の決め事はなく、地域住民ボランティアのご都合に合わせてできる範囲で協力いただいている。</p> <p>○地域の方々は、「子供は地域の宝」ということを意識して取り組んでいただいております、学校、保護者と見守り隊の方々との定期的な意見交換を実施するなど、活動を充実させていきたい。</p>		
連絡先	能登町立宇出津小学校PTA ☎ 0768-62-0037（能登町立宇出津小学校）		



## 162

## 地域の防災

実施主体	能美市寺島町会		
活動期日	平成29年5月21日（日）	活動場所	寺島町内
参加者	寺島町内の児童からお年寄りまで約50名		
連携団体	子ども会、地区婦人会、老人会、防災士、消防団、町内役員		
活動のねらい	自分たちの住んでいる地域の危険箇所などを共有することで、防災意識の向上を図るとともに、地域の各団体が協力することで地域住民の絆を深める。		
活動の概要	<p>○子供からお年寄りまで様々な世代の方々が町内の各班に分かれ、自分たちで歩きながら町内の危険箇所を共有。</p> <p>○今後の防災活動に役立てるよう、各班が共有した危険箇所を町内全体で再確認。</p> <p>○各種団体で協力することで、様々な世代間のコミュニケーションを図ることができ、防災意識も高めることができた。</p>		
連絡先	能美市婦人団体協議会 ☎ 0761-51-5185		



## 163

## 「かなざわ食育かるた」体験

実施主体	金沢市校下婦人会連絡協議会 四十万校下婦人会		
活動期日	平成28年10月15日(土)	活動場所	四十万小学校
参加者	放課後児童クラブの子供・保護者、地域の方々、四十万校下婦人会会員 約150名		
連携団体	小学校、育友会		
活動のねらい	小学校の学校フェスティバルでの「かなざわ食育かるた」体験を通して、地域における食育の普及・啓発を図るとともに、地域の子供たち同士の交流を推進する。		
活動の概要	<p>○H20につくられた「かなざわ食育かるた」体験を学校フェスティバルで実施。</p> <p>○金沢ならではの伝承料理、郷土食、加賀野菜の由来や思いが詰まった貴重なかるたを活用し、地域での食育を普及・啓発。</p> <p>○高学年の子供たちが読み手となって参加するなど、子供たち同士も交流することができた。</p>		
連絡先	石川県婦人団体協議会 ☎076-298-6435		



## 164

## 交通安全教室

実施主体	金沢市校下婦人会連絡協議会 四十万校下婦人会		
活動期日	平成28年4月25日(月)	活動場所	四十万小学校
参加者	小学校1年生、婦人会会員		
連携団体	小学校		
活動のねらい	新一年生が登下校時に交通事故に合わないよう、紙芝居と冊子を使っての安全教室を実施し、事故防止の抑止を図る。		
活動の概要	<p>○個々の安全について認識を促すため、婦人会会員が協力し、紙芝居と冊子を使用した交通安全教室を実施。</p> <p>○その他、入学式では、婦人会が作成した交通安全のマスコット「無事かえるちゃん」と、交通安全の約束を記載した冊子を贈呈するとともに、1年生が交通事故に合わないよう地域での見守り活動を周知した。</p>		
連絡先	石川県婦人団体協議会 ☎076-298-6435		



## 165

## こども合宿

実施主体	石川県青年団協議会（石川県子ども交流事業実行委員会）		
活動期日	平成29年3月11日（土）～12日（日）	活動場所	珠州市一円
参加者	県内小学生33名、保護者3名、スタッフ17名		
連携団体	珠州市青年団協議会、志賀町青年団協議会、羽咋市青年団協議会、金沢市青年団協議会、白山市青年団協議会、ガールスカウト石川県連盟		
活動のねらい	石川県内の子供と青年が集い、体験活動を通じて交流を深め、互いに成長する。		
活動の概要	<p>○県内の子供たちと青年団員が、地元の特産物づくりや自然体験、キリコ太鼓などの伝統文化体験などを通して交流。（1泊2日）</p> <p>○他の地域の子供たちや青年層の人たちとの交流により、子供たちの協調性や社会性を育むことができた。また、青年団員にとっても、子供たちとの接し方などを学ぶことができる機会となった。</p>		
連絡先	石川県青年団協議会 事務局 ☎076-252-7178		



## 166


## サンタ宅配便

実施主体	羽咋市青年団協議会		
活動期日	毎年12月24日	活動場所	羽咋市内一円
参加者	約10家庭、スタッフ約10名（青年団員、ボランティア）		
連携団体	市内保育所、幼稚園		
活動のねらい	サンタクロースとの出会い・会話・プレゼントを通して、子供たちの豊かな心を育む。		
活動の概要	<p>○クリスマスイブの夜、青年団員がサンタクロースやトナカイに扮し、希望のあった家庭の子供たちへクリスマスプレゼントを届ける。</p> <p>○プレゼントは家庭が用意したものを事前に預かり、子供たちの家へ持っていき、子供たちへ手渡す。</p> <p>○子供やご家族がとても喜んでくれることにより、スタッフ（青年団員）もとても嬉しい気持ちになる。加えて、自分たちの活動が地域の方に喜んでもらえるという実感につながる。</p>		
連絡先	羽咋市青年団協議会 メールアドレス：hakuishiseikyouto@yahoo.co.jp		




## 167

## 健康クラブとふれあい会

実施主体	千里浜地区婦人会 千里浜地域活動クラブ		
活動期日	平成 29 年 6 月 6 日 (火)	活動場所	千里浜公民館
参加者	羽咋小学校 1 年生と保護者 地区老人会 教職員 約 100 名		
連携団体	羽咋小学校、地区老人会、PTA、保護者会、見守り隊		
活動のねらい	学校や地域において、日頃お世話になっている地域の方々と交流することにより、感謝の気持ちを表すとともに、地域のつながりを深める。		
活動の概要	<p>○羽咋小学校 1 年生が、日頃、地域の草むしりなどで、お世話になっている老人会のところへ出向き、ダンスやゲームを一緒に行うなど交流を深めた。</p> <p>○交流活動を通して、お互いに楽しい時間を過ごすことができ、気持ちも通い合うことができた。</p>		
			
連絡先	羽咋市立羽咋小学校 P T A ☎ 0767-22-0129		

## 168

## 流しそうめん交流会

実施主体	金沢市立二塚児童館		
活動期日	平成 28 年 7 月 30 日	活動場所	二塚児童館
参加者	地域の乳幼児からお年寄りまで 約 100 名		
連携団体	二塚地域組織活動育成クラブ、二塚公民館、地域の団体等		
活動のねらい	地域で集まって「流しそうめん」を行うことにより、乳幼児からお年寄りまで三世代の交流を図る。		
活動の概要	<p>○地域の様々な団体が協力し、事前に竹を加工し、そうめんの流し台を作成。</p> <p>○当日は、乳幼児からお年寄りまで様々な世代の方々約 100 名がチームに分かれ、流しそうめんを楽しんだ。</p> <p>○順番を待つ間、簡単な工作を一緒に行うなど、地域の様々な世代がコミュニケーションを図ることができ、地域のつながりが構築できた。</p>		
			
連絡先	二塚地域組織活動育成クラブ ☎ 076-269-0272 (金沢市立二塚児童館)		

実施主体	しまっ子れんげクラブ		
活動期日	平成29年2月18日(土)	活動場所	のとじま保育園
参加者	のとじま保育園児、保護者、小学生、生き生き工房「ねねの会」 約170名		
連携団体	のとじま保育園、能登島小学校、生き生き工房「ねねの会」		
活動のねらい	地域団体と連携・協力して、杵や臼を使用した昔ながらのもちつきを体験し、親子や地域の絆を深める。		
活動の概要	<p>○地域団体の「ねねの会」の協力により、親子でもちつきを体験。</p> <p>○できたもちに、あんこやごま、きなこをつけて、もちができるまでの流れを親子で行い、最後に、みんなで輪になって試食した。</p> <p>○地域団体と協力することにより、地域の方々とのつながりができ、親子で体験することで、絆を深めることができた。</p>		
連絡先	七尾市立のとじま保育園 ☎0767-84-0123		



実施主体	わじまおしごとたいけん実行委員会・みらい子育てネット輪島		
活動期日	平成28年10月10日(月)	活動場所	輪島市ふれあい健康センター
参加者	小学生 190名、中学生・高校生(スタッフ)、ボランティア、協力団体等		
連携団体	小学校、アリエル・ヘアーデザイン、北國銀行、輪島キリモト、輪島食育応援隊、まんなか商店街振興組合、輪島高校、手づくりおもちゃの会ぐりとぐら、輪島市民生委員児童委員協議会、輪島地区更生保護女性会、輪島警察署、輪島消防署、輪島漆芸美術館、輪島市保育士会、輪島市役所、輪島市社会福祉協議会		
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちが遊びを通して働く体験をし、自分たちでまちづくりをする。</li> <li>・地域の企業・学校との連携、ボランティアの協力を得て、地域ぐるみで取り組み、世代間交流を図る。</li> <li>・「こんな輪島だったら良いな」という夢を子供自身が具体的に企画・実現し、「輪島の再発見」をできる機会とする。</li> </ul>		
活動の概要	<p>○小学生が、「住民登録」「仕事を見つける」「学ぶ」「働く・お金をもらう」「お金を使う」といったことを遊びを通して体験。</p> <p>○子供たちは仕事を教えてもらうことにより、地域の方々と交流することができた。</p>		
連絡先	みらい子育てネット輪島 ☎0768-22-3456		



---

## 參考資料

---

## 「実践事例集」に関わる石川県社会教育委員の会議での協議内容等

### 1. 平成28年度石川県社会教育委員の会議

#### 年間テーマ:「地域と学校の連携・協働の在り方」について

##### 【現状と課題】

学校では、いじめ問題の深刻化・生活習慣の乱れ、体験活動の減少など、学校や子供が抱える課題は、複雑化・多様化するとともに、学校に求められている役割が拡大しているとの指摘がある。

一方、地域では、社会教育関係団体をはじめ、既存の団体がそれぞれ活動しているが、必ずしも、連携して子供の学びを支えているとはいえない。

そのため、情報の共有化などを通して、地域住民や社会教育関係団体等が幅広く参加し、一体的・総合的な学校を支援する体制が望まれる。

#### ①〈第1回〉平成28年9月6日(火) 「地域による学校支援の現状」について

○阿部耕也教授(静岡大学)による講義 「地域による学校支援の現状 ~静岡県の事例から~」

##### 【講義から】

- ・ 学校支援には、直接的支援と間接的支援があるが、どちらも大切な支援である。地域で行われている、子供に関わる多様な教育活動は、間接的に学校を支え、だれもができる身近な支援である。
- ・ 地域が活性化していくためには、支援を受けた子供や家庭は、次のステップとして、支える側になり、循環型の支援体制を構築する必要がある。
- ・ 地域資源を活用した拠点づくりや体制整備、関係者などのネットワーク化を図ることが大切である。



#### ②〈第2回〉平成28年10月31日(月)「地域と学校の連携・協働に関する3事例」について

○かほく市立宇ノ気中学校 加賀市三木っ子いきいき塾 金沢市新神田少年連盟の実践事例発表

##### 【委員の意見】

- ・ 3つの事例はどれも特色ある良い取組ではあるが、そのまま活かせるものではなく、それぞれ地域の実態に合った形で取り組む必要がある。
- ・ 地域の行事で、学校と社会教育関係団体がタイアップしたことにより、多くの住民が集まり、地域の子供とたくさん関わることができた。
- ・ 地域や学校からの呼びかけのみならず、子供の力で地域を動かすような活動は、将来ふるさとに戻ってきたいと思う「ふるさとを愛する心」を育むことができるので大切だと感じる。

### ③〈第3回〉平成29年1月16日(月) 「地域と学校の連携・協働に関する11事例」について

#### 【委員の意見】

- ・ PTA行事と地域の行事を連携して同時開催することで、地域住民が学校へ足を運ぶきっかけができ、子供とふれあうことができて良かった。
- ・ 通学合宿では、子供と青年団が様々な体験活動を通して交流する機会になった。少し年齢が離れた、お兄さんお姉さんとして、子供と共に学ぶ機会になった。
- ・ 公民館では、地域住民や大学生、留学生を巻き込んで、小学生に様々な自然体験や異文化体験の場を提供しており、子供にとっては貴重な体験の場になっている。
- ・ 特徴のある様々な事例をもとに、地域や学校で取組の可能性を広げていくことができるとよい。
- ・ 地域での様々な世代とのかかわりは、学校教育のみならず、相手を思いやる心、コミュニケーションスキル等を身に付けていくうえで、実践的・体験的な大切な場である。
- ・ 学校支援は、地域を巻き込み、多くの住民が、子供に関わる事が大切である。



### ④〈第4回〉平成29年2月17日(金) 「協議のまとめ」

- ・ 地域の人々から支援を受けた子供や家庭は、将来、支える側となる。学校と地域の連携・協働は、学校に対する一方的な支援ではなく、地域における支援の循環を生み、地域を支える担い手の育成と活力の持続につながる。
- ・ 学校支援を通じて大人も子供と一緒に学ぶとともに、地域は、その学びの成果をいかす場ともなる。また、子供を含めた地域住民間の交流の場として、人と人とのつながりが広がり、地域全体の活性化が期待できる。
- ・ 地域の様々な団体や住民のネットワークをより一層深めてもらうため、団体等が行っている特色のある学校支援の取組を事例集としてまとめ、地域の各種団体や行政に情報提供し、それらを参考に各地域や団体に応じた形態で実践していただくことで活動の充実を図る。

## 2. 平成29年度石川県社会教育委員の会議

### 年間テーマ:「地域と学校の連携・協働の在り方」について

#### 【協議の方向性】

市町や社会教育関係団体から提供された事例をもとに作成される、実践事例集の内容を充実させ、より実効性を高めていくために、実践事例集の内容及び活用策について検討する。



### ①〈第1回〉平成29年7月5日(水)「実践事例集の内容検討」について

#### 【委員の意見】

- ・ 紹介事例を参考に、自分たちの実態に応じて行うには、学校規模が分かった方がよい。
- ・ 活動に込められた思いを明らかにするために、活動を始めたきっかけを紹介した方がよい。
- ・ PDCAサイクルのように計画して実行してみた結果や課題その改善の方向性等があるとよい。
- ・ 簡単な形であっても、紹介することで活用を促すことができるので、全ての事例について紹介するとよい。

### ②〈第2回〉平成29年10月30日(月)「地域と学校の連携・協働に関する実践事例及び実践事例集」について

○七尾市能登島公民館

白山市立松任中学校PTAの実践事例発表



#### 【委員の意見】

- ・ 学校とともに課題を共有し、実施後は改善に向けて見直しをし、また実施するというPDCAサイクルを意識して取り組んでいる。
- ・ 子供会議当日までは、学校と地域が協働する形で、学校の総合的な学習の時間を使って取り組み、それ以降は地域主導で、放課後に行うなど、役割分担を明確にして取り組んでいる。
- ・ PTA活動が、学校の教育活動の妨げにならないように学校とよく相談しながら活動している。
- ・ PTAは子供の思いを知りたい、思いを伝えたい、学校は読書への関心を高めたい、豊かな思考力や読解力を育てたい、生徒は読んでみたい本が見つかる、読書の幅が広がるというようにそれぞれ目的が異なるが、ビブリオバトルを通して「win-win-win」の関係になっている。
- ・ イベント当日だけでなく、事前事後の取組についても、把握している範囲で情報として記載することを検討してみてはどうか。
- ・ 活動の要点が分かり、読者を引きつけられるように、「活動のポイント」の部分を見直しが必要なのではないか。
- ・ 実践事例集をきっかけにして、視察を行うなど「face to face」で団体同士が情報交換を行った上で、関係者が集まり、地域の実情に応じてどのように実施していくのかを検討するといったように、地域の輪の広がりが見られるとよい。

### ③〈第3回〉平成30年2月22日(木)「実践事例集の活用について」

#### 【委員の意見】

- ・ 事例発表会の実施やホームページへの掲載等で、活用を促すとよい。
- ・ 地域が学校を支援することは、先生が子供と向き合う時間が増えることにつながるため、実践事例集の活用と先生の多忙化軽減の取組は一体のものであると捉えるべきである。
- ・ 地域の人達に学校の実情を理解してもらうことが大切であり、その上で、学校が求めている活動に支援していただけるとありがたい。

---

# 索引

---

## 活動対象の幼児・児童・生徒別索引

### 1. 幼稚園・保育園等を対象とした活動

#### (1) 幼稚園・保育園等における活動

No	活動名	市 町	ページ
050	保育実習	加賀市	56
010	地震・土砂災害時の防災訓練 ～保育園児といっしょに	白山市	21
003	保育園開放「なかよしの日」での子育て支援・相談活動	野々市市	14
039	さつまいも苗植え	羽咋市	50
089	地震・津波 避難訓練	珠洲市	76

#### (2) 地域等における活動

No	活動名	市 町	ページ
019	三木っ子いきいき塾	加賀市	30
159	お年寄りと子供のつどい	加賀市	111
001	愛のひと声こだま運動	川北町	12
035	たくましい白山っ子まつり	白山市	46
126	金沢子ども竹灯り2016	金沢市	94
168	流しそうめん交流会	金沢市	115
045	わらべうたの会	宝達志水町	54
166	サンタ宅配便	羽咋市	114
146	お話ボランティアによるお話会	中能登町	104
105	金ヶ崎地区 新入生歓迎会	七尾市	84
148	春休み宿題合宿	七尾市	105
169	もちつき会	七尾市	116
087	小学校・地区レクリエーション大会	輪島市	75
150	社会体育大会	輪島市	106

### 2. 小学生を対象とした活動

#### (1) 学校における教育活動

No	活動名	市 町	ページ
008	農林21号を育てよう	加賀市	19
048	山中漆器で卒業証書入れを作ろう	加賀市	55
101	おはなしパレット	加賀市	82
131	読み聞かせ・劇の上演	加賀市	97
033	読書を通し、地域ぐるみで子供たちを育てよう	小松市	44
053	目指せ あいさつ5万人 (運動)	能美市	58
055	学校支援ボランティア活動	能美市	59
011	春の山菜採り遠足	白山市	22
027	松南食育フェア	白山市	38
012	地域人材活用	野々市市	23
133	本の読み聞かせ	野々市市	98
135	わら細工に挑戦	野々市市	99
136	昔遊び体験	野々市市	99
013	三馬小学校学校支援地域本部事業 (三馬むかし探検)	金沢市	24
036	四十万小学校 5年生笹寿司教室	金沢市	47
114	子供和太鼓教室	金沢市	88
115	二俣いやさか踊り	金沢市	89
137	子供を褒めて育てる地域づくり	金沢市	100
164	交通安全教室	金沢市	113
056	大豆づくり・稲作指導	津幡町	59
057	道徳「みまもり隊」での講話	津幡町	60
058	農作業体験	津幡町	60

No	活動名	市 町	ページ
059	ビニル水田作り	内灘町	61
014	アサギマダラプロジェクト	かほく市	25
063	木津桃の里プロジェクト	かほく市	63
065	履き物そろえ	かほく市	64
066	金津の森F A Bプロジェクト	かほく市	64
067	地域の歴史文化・ふるさと学習	宝達志水町	65
005	志賀っ子楽習教室	志賀町	16
068	版画教室	志賀町	65
093	田んぼづくり	志賀町	78
016	花鉢プレゼント	羽咋市	27
069	育てて食べる活動	羽咋市	66
116	左義長	羽咋市	89
167	健康クラブとふれあい会	羽咋市	115
017	「中能登音頭」を親子でおどり、地域の文化を伝えていこう	中能登町	28
070	ひとり暮らし ふれあいの集い	中能登町	66
145	消防団との交流会	中能登町	104
147	朝読書タイムの読み聞かせ	中能登町	105
024	能登島子ども会議	七尾市	35
095	イカ釣り船団見送り	能登町	79
096	宇出津っ子ロードレース	能登町	79
007	きびだんご作り	穴水町	18
073	穴水小学校・地域合同防災訓練	穴水町	68
078	親子でボラ茶漬け	穴水町	70
079	農業体験	穴水町	71
080	ランプシェード作り	穴水町	71
081	トマト栽培・収穫、調理	穴水町	72
082	かきの養殖見学	穴水町	72
083	鹿波獅子太鼓体験	穴水町	73
084	かぶら寿しづくり	穴水町	73
085	中居鋳物づくり・中居たたら唄	穴水町	74
087	小学校・地区レクリエーション大会	輪島市	75
040	世代交流事業（大浜大豆で豆腐づくり、昔遊び）	珠洲市	51
088	きりこ太鼓教室	珠洲市	75
089	地震・津波 避難訓練	珠洲市	76
091	青年団とそばづくり	珠洲市	77
110	お年寄りとの交流	珠洲市	86
112	親子凧作り教室・さわやかなろし凧揚げまつり	珠洲市	87
113	宝立キリコ太鼓	珠洲市	88
125	読み聞かせボランティア	珠洲市	94
151	防犯サツマイモづくり	珠洲市	107
154	本の読み聞かせ	珠洲市	108
155	親子ホテル観察会	珠洲市	109

## (2) 地域等における活動

No	活動名	市 町	ページ
019	三木っ子いきいき塾	加賀市	30
032	すずかけ塾	加賀市	43
117	親子クッキング	加賀市	90
120	環境整備作業	加賀市	91
121	丘の子サタデー	加賀市	92
157	里山の環境教育	加賀市	110
158	西谷すぎのこ塾	加賀市	110
159	お年寄りと子供のつどい	加賀市	111
160	菖蒲湯まつり 代っ子みこし	加賀市	111

No	活動名	市町	ページ
041	青少年健全育成大会	小松市	52
162	地域の防災	能美市	112
001	愛のひと声こだま運動	川北町	12
002	感性のびのびジオ・サタデー	白山市	13
020	東日本大震災で設置された避難所の再現訓練	白山市	31
034	はくれい森の放課後	白山市	45
035	たくましい白山っ子まつり	白山市	46
127	校庭キャンプ	白山市	95
132	美川っ子教室（はりんご教室）	白山市	97
042	放課後子ども教室	野々市市	52
047	図書館ボランティア活動	野々市市	55
134	下校時の見守り活動	野々市市	98
021	絆！新豎納涼盆踊り 2016	金沢市	32
022	新神田校下 避難訓練&グリーンキャンペーン	金沢市	33
023	金石町公民館文化祭・フェスタかないわ	金沢市	34
037	通学路の安全マップ作り	金沢市	48
043	金沢子ども週間『絆』フェア	金沢市	53
126	金沢子供竹灯り2016	金沢市	94
138	子供提灯太鼓行列	金沢市	100
163	『かなざわ食育かるた』体験	金沢市	113
168	流しそうめん交流会	金沢市	115
028	元気な『あがたっ子』を育てる運動	津幡町	39
139	放課後子ども教室	津幡町	101
029	緑の芝生で楽しもう！	内灘町	40
103	地域全体での資源回収	内灘町	83
140	登下校時安全指導	内灘町	101
061	児童劇団 三郎左衛門一座	かほく市	62
062	地域の宝 学校林伐採見学ツアー	かほく市	62
004	宝たちビジネスアカデミー事業	宝達志水町	15
141	小中学校登下校安全指導	宝達志水町	102
104	新春書初め席書大会	志賀町	83
142	加茂っ子キャンプ教室	志賀町	102
038	通学合宿 in 永光寺	羽咋市	49
143	羽咋市子ども相撲大会	羽咋市	103
144	キッズ大冒険 in 立山	羽咋市	103
046	わいわい元気あそびフェスティバル	中能登町	54
146	お話ボランティアによるお話会	中能登町	104
105	金ヶ崎地区 新入生歓迎会	七尾市	84
106	公民館地域間交流	七尾市	84
107	まんだらウォーク	七尾市	85
128	1キロ大作戦	七尾市	95
148	春休み宿題合宿	七尾市	105
169	もちつき会	七尾市	116
006	能登高校魅力化プロジェクト	能登町	17
031	第33回なかよし学校	能登町	42
072	防犯パトロール	能登町	67
161	宇出津っ子見守り隊	能登町	112
086	新1年生の下校指導	穴水町	74
149	下校時などの安全見守り	穴水町	106
025	公民館体験合宿	輪島市	36
108	朝の声かけ運動	輪島市	85
109	河原田ジュニア検定	輪島市	86
150	社会体育大会	輪島市	106

No	活動名	市 町	ページ
170	おしごとたいけん	輪島市	116
111	若山 庭まつり・キリコと盆踊りの夕べ	珠洲市	87
122	親子地引き網体験	珠洲市	92
123	親子見附海岸ボランティア活動	珠洲市	93
124	学校周辺環境整備	珠洲市	93
152	山野草を食べる会	珠洲市	107
153	経念の虫送り	珠洲市	108
156	登下校の見守り活動	珠洲市	109
165	こども合宿	珠洲市	114

### 3. 中学生を対象とした活動

#### (1) 中学校における教育活動

No	活動名	市 町	ページ
049	お魚調理教室	加賀市	56
050	保育実習	加賀市	56
051	職場体験活動	加賀市	57
052	環境教室	加賀市	57
119	体験講話	加賀市	91
009	松々レンジャーズ	能美市	20
054	体験学習講座	能美市	58
010	地震・土砂災害時の防災訓練 ～保育園児といっしょに	白山市	21
094	茶道教室	白山市	78
114	子供和太鼓教室	金沢市	88
115	二俣いやさか踊り	金沢市	89
137	子供を褒めて育てる地域づくり	金沢市	100
060	朝読書時の読み聞かせ	内灘町	61
015	学びの回廊	かほく市	26
064	特産ぶどうを地域の人と一緒に育てよう	かほく市	63
067	地域の歴史文化・ふるさと学習	宝達志水町	65
071	わく・ワーク職場体験学習	中能登町	67
147	朝読書タイムの読み聞かせ	中能登町	105
018	久田和紙づくり	能登町	29
098	針伏山ウォーキング	能登町	80
099	料理教室	能登町	81
074	働く職業人からの講話	穴水町	68
075	地域の史跡めぐり	穴水町	69
076	のとてまり栽培	穴水町	69
077	能登ワイン収穫体験	穴水町	70
090	わく・ワーク職場体験	珠洲市	76
091	青年団とそばづくり	珠洲市	77
092	ビオトープ田での稲作	珠洲市	77
113	宝立キリコ太鼓	珠洲市	88
125	読み聞かせボランティア	珠洲市	94

#### (2) 地域等における活動

No	活動名	市 町	ページ
118	学校周辺でのあいさつ運動	加賀市	90
130	登校時の安全指導	加賀市	96
041	青少年健全育成大会	小松市	52
102	寺井地区クリーンデー	能美市	82
162	地域の防災	能美市	112
001	愛のひと声こだま運動	川北町	12
020	東日本大震災で設置された避難所の再現訓練	白山市	31

No	活動名	市 町	ページ
026	生徒会&PTA ビブリオバトル!	白山市	37
035	たくましい白山っ子まつり	白山市	46
022	新神田校下 避難訓練&グリーンキャンペーン	金沢市	33
043	金沢子ども週間「絆」フェア	金沢市	53
126	金沢子ども竹灯り2016	金沢市	94
168	流しそうめん交流会	金沢市	115
030	親子地域ボランティア	かほく市	41
044	青少年の国際交流	宝達志水町	53
141	小中学校登下校安全指導	宝達志水町	102
038	通学合宿 in 永光寺	羽咋市	49
106	公民館地域間交流	七尾市	84
006	能登高校魅力化プロジェクト	能登町	17
097	よさこいで地域を盛り上げよう	能登町	80
100	猿鬼大会応援カカシづくり	能登町	81
129	親子奉仕作業	能登町	96
170	おしごとたいけん	輪島市	116
122	親子地引き網体験	珠洲市	92
123	親子見附海岸ボランティア活動	珠洲市	93
124	学校周辺環境整備	珠洲市	93
156	登下校の見守り活動	珠洲市	109

#### 4. 高校生を対象とした活動

##### 地域等における活動

No	活動名	市 町	ページ
041	青少年健全育成大会	小松市	52
162	地域の防災	能美市	112
035	たくましい白山っ子まつり	白山市	46
168	流しそうめん交流会	金沢市	115
044	青少年の国際交流	宝達志水町	53
006	能登高校魅力化プロジェクト	能登町	17
170	おしごとたいけん	輪島市	116

平成30年3月発行

**石川県教育委員会**

〒920 -8575 石川県金沢市鞍月1 丁目1 番地

TEL 076-225-1837 FAX 076-225-1838

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/syougai/index.html>